

親子の別居経験についてのアンケート調査 報告書

【目次】

はじめに 問題の所在と調査の概要.....	1
問題の所在	1
調査の概要	4
文献	4
結果の概要.....	7
第1章 対象者の特性・生活状況、結婚志向・親になる志向、両親別居時の状況.....	8
最後に通った学校	8
仕事の状況	8
結婚	10
子ども	12
父母の別居時の状況.....	13
第2章 対象者の世帯特性、両親離別後の親からのケア	16
対象者世帯の所得について	16
対象者世帯の構成の変化	17
父母の関わり	18
第3章 両親離別後の同居家族、同居・別居親子関係、父母間関係、きょうだい関係	23
両親間の取り決め、子どもの意見表明、子どもの相談相手	23
父母のどちらと一緒に暮らすのか.....	27
別居後の父母間関係・親子関係	28
きょうだい関係	31
別居親との交流	34
第4章 別居親との関係評価、親の再婚、家計状況、父母間関係、家庭裁判所での経験....	37
別居親の関わりについての評価	37
別居親との交流についての評価	40
別居親との交流についての同居親からの評価	41
別居後の親の再婚	43
別居後の家計状況	44
別居後の父母の関係.....	45
家庭裁判所の関与と子どもの意見表明	47
第5章 姓の変更、自尊感情、別居前の父母間関係	51
姓（名字）の変更について.....	51
親の離婚後の両親との関わりについて	53
あなた自身について.....	53
別居前の両親の関係について	54
集計表一覧.....	55

はじめに 問題の所在と調査の概要

藤間 公太
京都大学

問題の所在

日本においては1970年代以降、離婚が増加している。図1は、男女それぞれの年齢別有配偶離婚率の推移である。有配偶離婚率とは、有配偶者1,000人当たりの離婚件数である。総じていうと、2000年代ごろまではどの年代でも離婚が増加しており、25歳未満の若い世代では比較的最近までその傾向が続いているといえる。有配偶離婚率はあくまでもある年における有配偶者数に対する離婚件数の比であるため、「ある夫婦が最終的に離婚した割合」を示すものではないことには注意が必要であるものの、先行研究では、結婚した夫婦の3割程度が最終的に離婚すると推定されている（Raymo et al. 2004）。

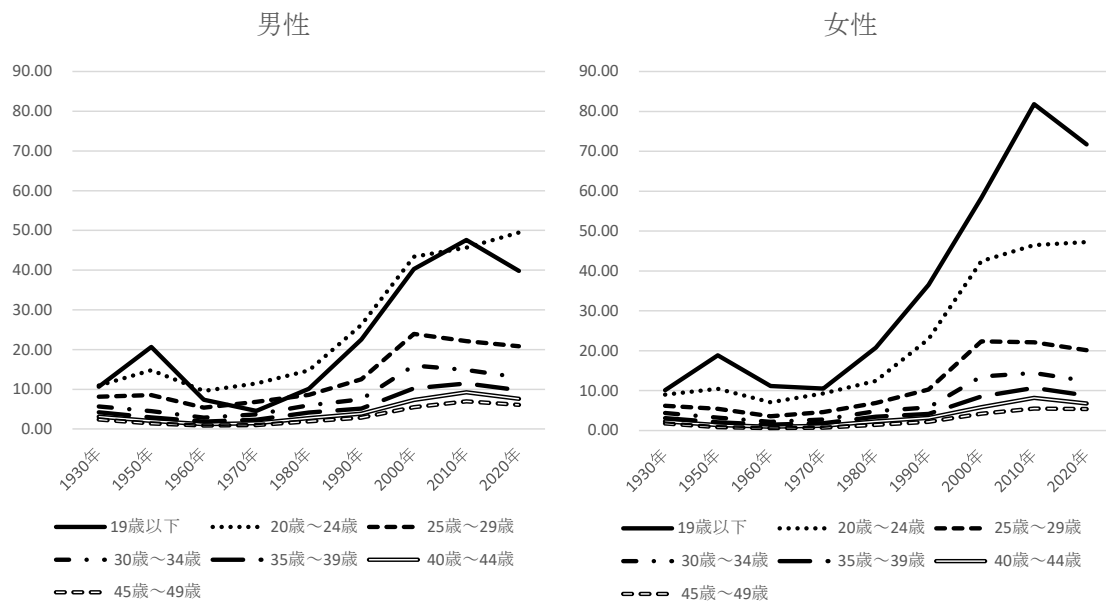


図1 年齢別有配偶離婚率の推移（単位：‰）

出典）国立社会保障・人口問題研究所「2025年版人口統計資料集」より筆者作成

離婚の増加に伴い、親の離婚を経験した子どもについても注目が集まっている。近年の離婚の特徴として、離婚の時期が結婚初期に限られなくなったことや、子どものいる夫妻の離婚件数が全離婚件数の7割近くに達していることが指摘されている（神原 2010）。図2は、

ひとり親世帯数、母子世帯数、父子世帯数の推移を示している。ひとり親世帯全体の趨勢としては、1995 年から 2005 年にかけてその数が上昇しているものの、2005 年以降は横ばいで、2015 年から 2020 年については減少している。ただしそもそも未成年の子どもがいる世帯自体が少なくなっていることも考慮に入れる必要がある。2015 年のデータでは、子どもがいる核家族世帯の約 25%、つまり 4 つに 1 つがひとり親世帯であるともいわれている（藤間 2019）。母子世帯については、ひとり親世帯全体と同じような推移で増減している。父子世帯については、1990 年以降ほぼ横倍の漸減傾向である。近年の日本では、親が離婚した場合に母親が親権者となるケースが大多数であるため、ひとり親世帯全体の趨勢と母子世帯のそれとが同じような動きとなっていると考えられる。

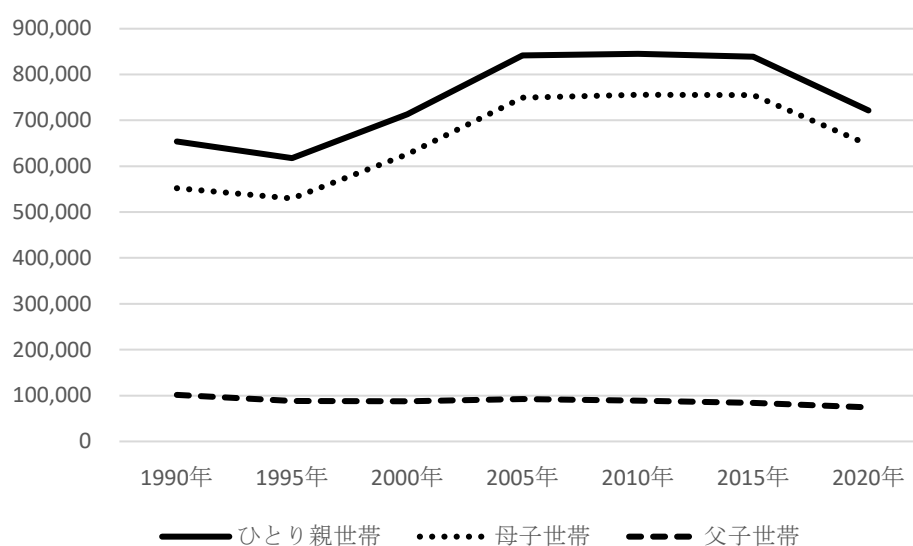


図2 ひとり親世帯数、母子世帯数、父子世帯数の推移

出典) 国勢調査データより作成

注) ひとり親世帯、母子世帯、父子世帯とは、未婚、死別又は離別の親（母、父）と、その未婚の 20 歳未満の子どものみから成る一般世帯（他の世帯員がいないもの）をいう。

日本においてはデータの制約もあり、親の離婚を経験した子どもについての研究はあまり多くなかったが、2000 年代ごろから盛んに行われるようになってきた。子どもから見て親の離婚は、定位家族における諸資源の増減を意味し、結果として自身の発達やメンタルヘルス、教育達成などに負の影響を及ぼし得るイベントである（Fomby and Cherlin 2007; Cavanagh and Fomby 2019; 稲葉 2016）。たとえば、ひとり親世帯出身者は教育達成や教育アスピレーションの面で不利を経験することは、多くの研究によって示されている（稲葉 2008; 2011; 2012; 2016; 余田 2012; 余田・林 2012）。これらの不利によってもたらされる低い教育達成は、不安定な職業と結びつき、子ども自身の離婚にもつながりやすい（吉武 2019; 稲葉 2020）。離婚は低所得層で発生率が高く、このことが子どもの人的資本や社会関係資本

の形成に不利に働く結果、階層の再生産が引き起こされるというメカニズムが示唆されている（稲葉 2016）。

ステップファミリー当事者は継親子関係形成の難しさに直面し、大きなストレスを感じることが従来より明らかにされてきたが（野沢ほか 2003; 菊地 2005）、そうしたストレスを抑える上で重要なのが、初婚核家族にとらわれない、ある種の「創造性」であると言われている（野沢 2008）。野沢慎司と菊地真理による一連の研究からは、ステップファミリーの親子関係について 2 つのモデルが提示されている。1 つは、「代替モデル／スクラップ&ビルド型」である。このモデルでは、継親は継子の「実親代わり」あり、再婚は両親がそろった家族を再現するイベントとみなされる。これに対し、もう 1 つのモデルが「継続モデル／連鎖・拡張するネットワーク型」である。このモデルでは、離婚・再婚後も同居親と別居親が子どもとの親子関係を継続することを前提とし、継親は後からそこに加わったものと考え（菊地 2009; 2015; 野沢・菊地 2010; 2021）。実際、菊地の研究では「同居＝親子」という規範にとらわれない実践が、当事者たちの信頼感を強める事例も観察されている（菊地 2015 ; 2021）。

実際いくつかの研究からは、ステップファミリー形成後に、実親と継親がどのような役割を果たし、どのような家族関係を形成していくのかが、継子のウェルビーイングに影響を与えることが、複数の研究から示唆されている。たとえば野沢・菊地は、親の再婚（事実婚を含む）を経験し、成人前に継親と同居（あるいはそれに近い継親との生活上の関わり合い）を経験した 19 人のインタビュー調査を実施している。それによると、継親の役割行動とそれへの継子の適応は、世帯内外の多様な関係（資源）の複雑なマトリックスの中で展開されていた。また継子たちの語りの多くからは、「代替モデル／スクラップ&ビルド型」の限界が示されていた。ここから野沢・菊地は、「親ではない独自の関係発達」型の継親子関係に可能性を見出している（野沢・菊地 2014）。また、同じ調査データを用い野沢は、同居親への評価（3 類型）と継親子関係の多様性（5 類型）を交差させたマトリックスに、教育達成度（最終学歴）、思春期・青年期の問題行動の有無、現在の精神的健康上の問題・不安の有無という 3 つの適応指標についての情報を入れ、それらの関連を探っている。その結果、同居親が子どもと継親との媒介者の位置に立ち、保護やしつけなど、親としての役割を積極的かつ継続的に果たすことが、全体として子どもたちの良好な適応状態をもたらしていることが示唆されている（野沢 2015）。

同様の示唆は、統計的手法を用いた先行研究からも与えられている。内閣府が 2011 年に実施した「親と子の生活意識に関する調査」データを用いた稲葉の研究によると、女子においては父と「友達のこと」について会話する頻度が高いほど、また父が「自分のことを分かっている」と思えるほど、有意に自己肯定感が高い傾向が示されている（稲葉 2023）。また Jikihara らは、実母-継父のステップファミリーを経験した 20 代の継子 421 名を対象としたオンライン調査データを用い、潜在プロファイル分析から実親、継親、継子の関係について、4 類型を抽出している。そのなかでも「Inclusive」に分類された継子の心理的適応が最もよ

いという結果が、Jikihara らの分析から得られている。このグループの特徴は、別居父と継続的交流があり良好な関係が築かれ、同居母や継父も継父を子どもの「親」とはみなしておらず、実父母の協力的関係が比較的ある点にあった (Jikihara et al. 2025)。いずれも「継続モデル／連鎖・拡張するネットワーク型」の有効性を示唆する結果と言える。

一方、別居親と子どもの関係性について、十分に頑健な結果が示されているとは言えず、さらなる研究蓄積が必要であるとも指摘されている (稲葉 2023)。こうした背景を踏まえ本研究班では、15 歳までに親の離婚を経験した若者 (その一部は親の再婚も経験していると想定される) へのウェブアンケート調査を実施した。本報告書では、結果の一部を抜粋してその概要を説明するとともに、性・年齢階級別のクロス集計表を示す。

調査の概要

調査は、日本学術振興会科学研究費補助金の助成を受けた研究 (23K22067) の一環として、調査会社が保有するモニターに対し、Web アンケート調査の形式で実施された。調査会社は、(1) 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 (JMRA) 正会員社であること、(2) ISO20252 (市場, 世論, 社会調査一用語及びサービス要求事項) を取得していること、(3) プライバシーマーク (一般財団法人日本往訪経済社会推進協会) を取得していること、(4) 過去に当該会社の実施した調査において不正や不適切な実施等がないこと、(5) 調査に回答するモニターの管理および整備の体制を十分に整えている事業者であること、(6) 本調査が求めるサンプル数を回収することができることを説明する根拠資料が提示出来ることを条件に、選定した。

調査対象は、調査時点で 18 歳～35 歳までの者であり、予備調査により、下記 2 つの条件全てを満たしていることとした。第 1 に、父母の別居を 15 歳までに経験し、父または母のいずれかと暮らすようになったことである。第 2 に、現在も父母が離婚している、もしくは離婚を前提に別居していること、すなわち、いわゆる復縁をしていないことである。

対象者へは、調査の目的と社会的意義、調査の内容、回答所要時間 (分)、回答により生じうる不利益 (不快感) の可能性、調査データの保存方法と利用方法、回答拒否の方法、回答後の取り下げの方法、調査について質問等がある場合の連絡先を、アンケート画面冒頭において説明した。この説明に対し同意する場合は「次へ」のボタンを押して調査画面に進み、拒否する場合は「回答をやめる」のボタンを押すという形で、同意を取得した。回答後に参加を取り消す場合は、モニター会社に連絡することとした。

最終的な有効回答者数は 8,138 であった。なお以上の調査内容について、「日本女子大学人を対象とした実験研究に関する倫理審査委員会」の承認を得た上で、調査は実施した。

文献

Cavanagh, S. E., and P. Fomby, 2019, “Family Instability in the Lives of American Child,”

- Annual Review of Sociology*, 45: 493-513.
- Fomby, P. and A. J. Cherlin, 2007, "Family Instability and Child Well-Being," *American Sociological Review*, 72: 181-204.
- 稲葉昭英、2008、『父のいない』子どもたちの学歴達成——父早期不在者・早期死別者のライフコース」中井美樹・杉野勇編『2005年SSM調査シリーズ9 ライフコース・ライフスタイルから見た社会階層』2005年SSM調査研究会、1-19。
- 、2011、「ひとり親家庭出身者の教育達成」佐藤嘉倫・尾嶋史章編『現代の階層社会1 格差と多様性』東京大学出版会、239-52。
- 、2016、「離婚と子ども」稲葉昭英・保田時男・田渕六郎・田中重人編『日本の家族 1999-2009——全国家族調査〔NFRJ〕による計量社会学』東京大学出版会、129-44。
- 、2020、「離婚・再婚」田間泰子編『リスク社会の家族変動』放送大学教育振興会、173-89。
- 、2023、「離別母子世帯における非同居父と子の交流が子に及ぼす影響」『離婚・再婚家族と子ども研究』5: 2-19。
- Jikihara, Y., M. Kikuchi and S. Nozawa, 2025, "Stepfamily Dynamics and Emerging Adults' Adjustment in Japan: Four Patterns Affecting Stepchildren's Outcomes," *Family Process*, 64(5). <https://doi.org/10.1111/famp.70071>
- 神原文子、2010、『子づれシングル——ひとり親家族の自立と社会的支援』明石書店。
- 菊地真理、2005、「継母になるという経験——結婚への期待と現実のギャップ」『家族研究年報』30: 49-63。
- 、2009、「再婚後の家族関係」野々山久也編『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社、277-80。
- 、2015、「離婚・再婚とステップファミリー」長津美代子・小澤千穂子編著『新しい家族関係学』建帛社、105-20。
- 、2021、『多様な家族』の限界への挑戦——再婚後の別居親子の継続と共同養育の実践——『家族関係学』40: 25-34。
- 野沢慎司、2008、「ステップファミリーのストレスとサポート」石原邦雄編『家族のストレスとサポート〔改訂版〕』放送大学教育振興会、225-42。
- 、2015、「ステップファミリーの若年成人子が語る同居親との関係ー親の再婚への適応における重要性」『成城大学社会イノベーション研究』10(2): 59-83。
- 野沢慎司・春日清孝・宮田加久子・浦光博・茨木尚子、2003、「ステップファミリーにおけるオンラインとオフラインのサポート」『研究所年報』33:227-43。
- 野沢慎司・菊地真理、2010、「ステップファミリーにおける家族関係の長期的変化——再インタビュー調査からの知見」『研究所年報』40: 153-64。
- 、2014、「若年成人継子が語る継親子関係の多様性ーステップファミリーにおける

- 継親の役割と継子の適応」『研究所年報』44: 69-87。
- 、2021、『ステップファミリー——子どもから見た離婚・再婚』KADOKAWA。
- Raymo, J. M., M. Iwasawa and L. Bumpass, 2004, “Marital Dissolution in Japan: Recent Trends and Patterns,” *Demographic Research*, 11: 395-420.
- 藤間公太、2019、「ひとり親家庭」西野理子・米村千代編著『よくわかる家族社会学』ミネルヴァ書房、pp.168-9。
- 余田翔平、2012、「子ども期の家族構造と教育達成格差——二人親世帯／母子世帯／父子世帯の比較」『家族社会学研究』24(1): 60-71。
- 余田翔平・林雄亮、2010、「父親の不在と社会経済的地位達成過程」『社会学年報』39: 63-74。
- 吉武理大、2019、「離婚の世代間連鎖とそのメカニズム——格差の再生産の視点から」『社会学評論』70(1): 27-42。

結果の概要

第1章 対象者の特性・生活状況、結婚志向・親になる志向、両親別居時の状況

藤間 公太
京都大学

最後に通った学校

性・年齢階級別に、最後に通った学校を見たものが、表 1.1 である。男性では大学・大学院が 44.3%と最も多く、ついで高等学校が 33.1%、専門・専修が 12.0%、小・中学校が 5.6%、短大・高専が 4.4%、その他が 0.7%である。女性では高等学校が最も多く 36.6%、次いで大学・大学院が 31.5%、専門・専修が 17.4%、短大・高専が 7.9%、小・中学校が 5.8%、その他が 0.9%である。20 歳から 35 歳の範囲で見ると、男女ともに、若い年齢階級ほど大学・大学院が占める割合が高くなっている。男女ともに 18-19 歳で高等学校の割合が高くなっているのは、現役の高校生や浪人生が含まれているためであると考えられる。

表 1.1 性・年齢階級別 最後に通った学校

			小・中学校	専門・専修	短大・高専	大学・大学院	その他		n
男性	年齢階級	18-19	4. 1%	20. 5%	4. 1%	19. 2%	0. 0%	100. 0%	73
		20-24	5. 9%	11. 5%	6. 2%	47. 2%	0. 0%	100. 0%	339
		25-29	5. 2%	12. 5%	4. 2%	44. 0%	0. 8%	100. 0%	618
		30-34	5. 9%	11. 5%	3. 4%	46. 7%	1. 0%	100. 0%	828
		35	5. 4%	10. 4%	6. 4%	39. 1%	0. 5%	100. 0%	202
	合計	5. 6%	12. 0%	4. 4%	44. 3%	0. 7%	100. 0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	4. 3%	11. 3%	4. 9%	24. 1%	0. 6%	100. 0%	328
		20-24	6. 1%	15. 9%	7. 1%	36. 4%	1. 2%	100. 0%	1073
		25-29	5. 2%	18. 8%	7. 7%	31. 8%	0. 7%	100. 0%	1916
		30-34	5. 9%	17. 8%	8. 3%	31. 1%	0. 9%	100. 0%	2265
		35	8. 3%	17. 3%	10. 1%	26. 0%	1. 0%	100. 0%	496
	合計	5. 8%	17. 4%	7. 9%	31. 5%	0. 9%	100. 0%	6078	
男女計			5. 8%	16. 0%	7. 0%	34. 7%	0. 8%	100. 0%	8138

仕事の状況

性・年齢階級別に就業状況を見たものが、表 1.2 である。調査票上の選択肢でいうと、就業は「仕事をしている（休業、休職中を含む。学生のアパートは除く）」、失業中は「仕事をしていない（仕事をさがしている）」、非就労は「仕事をしていない（仕事をさがしていない、または、学生である）」を指す。男性では就業が 81.0%と最も多く、次いで非就労が 11.9%、失業中が 7.1%である。女性では就業が 70.3%と最も多く、次いで非就労が 21.0%、失業が 8.8%である。男性よりも女性に非就労が多いのは、専業主婦が含まれているからであると

考えられる。また男女とも、18-19 歳、20-24 歳に非就労が多いのは、現役の学生や浪人生が含まれているためだと考えられる。

表 1.2 性・年齢階級別 就業状況

			就業	失業中	非就労		n
男性	年齢階級	18-19	17.8%	20.5%	61.6%	100.0%	73
		20-24	59.3%	11.8%	28.9%	100.0%	339
		25-29	87.4%	6.0%	6.6%	100.0%	618
		30-34	88.4%	5.2%	6.4%	100.0%	828
		35	90.1%	5.4%	4.5%	100.0%	202
	合計		81.0%	7.1%	11.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	14.9%	13.1%	72.0%	100.0%	328
		20-24	56.6%	10.4%	33.0%	100.0%	1073
		25-29	77.7%	9.4%	12.9%	100.0%	1916
		30-34	77.3%	6.8%	15.9%	100.0%	2265
		35	75.6%	8.9%	15.5%	100.0%	496
	合計		70.3%	8.8%	21.0%	100.0%	6078
男女計			73.0%	8.3%	18.7%	100.0%	8138

次に就業中の者の勤め先での呼称を、性・年齢階級別にみたものが表 1.3 である。男性については正規の職員・従業員が 76.4%と最も多く、次いでアルバイトが 8.3%、パートが 5.2%、その他が 3.8%、契約社員・嘱託が 3.7%、労働者派遣事業所の派遣社員が 2.6%である。女性については正規の職員・従業員が最も多いことに変わりはないが、その割合は 53.0%と男性よりも低く、代わりにパートが 23.6%、アルバイトが 10.0%と男性より多い。それ以外のカテゴリについては、契約社員・嘱託が 5.1%、労働者派遣事業所の派遣社員が 4.8%、その他が 3.5%である。総じて女性に非正規雇用のものが多いこと全国的な傾向と一致しており、また非正規雇用者の内訳は男女間で若干異なっている。

表 1.3 性・年齢階級別 「仕事をしている」対象者の勤め先での呼称

			正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	パ ー ト	ア ル バ イ ト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他		n
男性	年齢階級	18-19	30. 8%	7. 7%	53. 8%			7. 7%	100. 0%	13
		20-24	68. 2%	6. 0%	16. 9%	3. 0%	3. 0%	3. 0%	100. 0%	201
		25-29	74. 3%	6. 7%	7. 4%	3. 5%	4. 3%	3. 9%	100. 0%	540
		30-34	81. 0%	4. 1%	5. 5%	2. 0%	3. 8%	3. 6%	100. 0%	732
		35	76. 9%	4. 4%	9. 3%	1. 6%	2. 7%	4. 9%	100. 0%	182
	合計		76. 4%	5. 2%	8. 3%	2. 6%	3. 7%	3. 8%	100. 0%	1668
女性	年齢階級	18-19	28. 6%	10. 2%	46. 9%	8. 2%	4. 1%	2. 0%	100. 0%	49
		20-24	53. 5%	14. 8%	20. 1%	4. 0%	4. 9%	2. 6%	100. 0%	607
		25-29	58. 6%	20. 4%	9. 3%	4. 9%	4. 1%	2. 7%	100. 0%	1488
		30-34	51. 6%	26. 8%	7. 4%	4. 5%	5. 9%	3. 8%	100. 0%	1751
		35	40. 0%	37. 3%	3. 7%	6. 1%	6. 1%	6. 7%	100. 0%	375
	合計		53. 0%	23. 6%	10. 0%	4. 8%	5. 1%	3. 5%	100. 0%	4270
男女計			59. 6%	18. 4%	9. 5%	4. 1%	4. 7%	3. 6%	100. 0%	5938

結婚

性・年齢階級別に対象者の婚姻状況を見たものが、表 1.4 である。男性については、未婚が 65.2%と最も多く、次いで配偶者ありが 32.1%、離別が 2.4%、死別が 0.2%である。女性については未婚が最も多いことに変わりはないが、53.1%とその割合は男性より低く、その代わり、配偶者ありが 42.4%、離別が 4.2%と男性より高い。死別は 0.3%で、男性とほぼ差はない。

表 1.4 性・年齢階級別 婚姻状況

			未婚	配偶者あり	死別	離別		n
男性	年齢階級	18-19	94.5%	1.4%		4.1%	100.0%	73
		20-24	92.6%	6.2%	0.6%	0.6%	100.0%	339
		25-29	69.4%	28.3%	0.5%	1.8%	100.0%	618
		30-34	53.9%	43.2%		2.9%	100.0%	828
		35	42.6%	53.0%		4.5%	100.0%	202
	合計		65.2%	32.1%	0.2%	2.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	95.4%	2.7%	0.3%	1.5%	100.0%	328
		20-24	80.5%	17.8%	0.1%	1.6%	100.0%	1073
		25-29	51.7%	44.0%	0.2%	4.2%	100.0%	1916
		30-34	38.7%	55.5%	0.4%	5.3%	100.0%	2265
		35	36.9%	56.0%	0.2%	6.9%	100.0%	496
	合計		53.1%	42.4%	0.3%	4.2%	100.0%	6078
男女計			56.2%	39.8%	0.3%	3.8%	100.0%	8138

次に性・年齢階級別に「未婚」の対象者の結婚についての考え方を見たものが、表 1.5 である。「いずれ結婚するつもり」と回答した対象者が男性で 66.6%、女性で 70.4%であり、「一生結婚するつもりはない」と回答した対象者は男性で 33.4%、女性で 29.6%である。対象者の年齢が若干異なるが、18 歳から 34 歳の未婚の男女を対象とした無作為抽出にもとづく全国調査である、国立社会保障・人口問題研究所の「第 16 回出生動向基本調査（独身者調査）」でも同様の質問をしているが、その結果は、「いずれ結婚するつもり」と回答した対象者が男性で 81.4%、女性で 84.3%であり、今回の結果はそれと比べると低い数値である。ただし、男女のいずれも、おおむね若い年齢階級ほど「いずれ結婚するつもり」と回答する割合が高い傾向にあると言え、親の離婚を経験していることがこの違いをもたらしているのかどうかについては、別途の検討が必要である。

表 1.5 性・年齢階級別 「未婚」の対象者の結婚に対する考え方

			いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない		n
男性	年齢階級	18-19	75.4%	24.6%	100.0%	69
		20-24	72.0%	28.0%	100.0%	314
		25-29	68.5%	31.5%	100.0%	429
		30-34	63.2%	36.8%	100.0%	446
		35	47.7%	52.3%	100.0%	86
	合計		66.6%	33.4%	100.0%	1344
女性	年齢階級	18-19	75.1%	24.9%	100.0%	313
		20-24	78.9%	21.1%	100.0%	864
		25-29	73.7%	26.3%	100.0%	990
		30-34	60.5%	39.5%	100.0%	876
		35	51.9%	48.1%	100.0%	183
	合計		70.4%	29.6%	100.0%	3226
男女計			69.3%	30.7%	100.0%	4570

また興味深いことに、表 1.6 に示したように、「死別」または「離別」を経験した対象者については、「いずれ再婚するつもり」と回答した対象者の割合が、「一生再婚するつもりはない」と回答した対象者の割合よりも、男女ともに高い。具体的には、「いずれ再婚するつもり」が男性では 57.4%、女性では 58.6%であり、「一生再婚するつもりはない」が男性では 42.6%、女性では 41.4%である。ただし本調査対象者における離死別経験者の総数は少なく、また離死別ごとの集計ではないため、この結果の解釈は慎重に行う必要がある。

表 1.6 性・年齢階級別 「死別」または「離別」の対象者の再婚に対する考え方

			いずれ再婚するつもり	一生再婚するつもりはない		n
男性	年齢階級	18-19	33.3%	66.7%	100.0%	3
		20-24	50.0%	50.0%	100.0%	4
		25-29	50.0%	50.0%	100.0%	14
		30-34	62.5%	37.5%	100.0%	24
		35	66.7%	33.3%	100.0%	9
	合計		57.4%	42.6%	100.0%	54
女性	年齢階級	18-19		100.0%	100.0%	6
		20-24	55.6%	44.4%	100.0%	18
		25-29	62.7%	37.3%	100.0%	83
		30-34	61.1%	38.9%	100.0%	131
		35	51.4%	48.6%	100.0%	35
	合計		58.6%	41.4%	100.0%	273
男女計			58.4%	41.6%	100.0%	327

子ども

性・年齢階級別に対象者の子どもの有無を見たものが、表 1.7 である。男女とも全体としては子どもがいない割合が多く、子どもが「いる」と回答した対象者は男性で 25.6%、女性で 35.5%であり、「いない」と回答した対象者は男性で 74.4%、女性で 64.5%である。ただし、男女ともに年齢が上がるほど「いる」の割合が高くなっており、35 歳の対象者については子どもが「いる」と回答した割合が男性で 44.6%、女性で 50.8%である。

次に、性・年齢階級別に子どもが「いない」対象者の子どもを持つことへの希望を見たものが、表 1.8 である。ここでも男女とも傾向に大きな違いはない。「子どもが欲しい」と回答した対象者の割合は、男性で 43.6%、女性で 46.1%、「子どもはほらない」と回答した対象者の割合は、男性で 28.1%、女性で 29.7%である。また、年齢階級が上がるほど、「子どもを欲しい」と回答した割合が小さくなることも、男女に共通している。興味深いのは、男女とも「わからない」と回答者が 25%前後（男性 28.3%、女性 24.2%）おり、年齢階級による違いもあまり見られないことである。親の離婚を経験したことがこの結果に何らか影響しているのかについては、今後さらなる検討が必要である。

表 1.7 性・年齢階級別 対象者の子どもの有無

		いる	いない		n
男性	年齢階級 18-19	2.7%	97.3%	100.0%	73
	20-24	7.1%	92.9%	100.0%	339
	25-29	19.6%	80.4%	100.0%	618
	30-34	35.1%	64.9%	100.0%	828
	35	44.6%	55.4%	100.0%	202
	合計	25.6%	74.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	4.3%	95.7%	100.0%	328
	20-24	15.1%	84.9%	100.0%	1073
	25-29	35.0%	65.0%	100.0%	1916
	30-34	46.7%	53.3%	100.0%	2265
	35	50.8%	49.2%	100.0%	496
	合計	35.5%	64.5%	100.0%	6078
男女計		33.0%	67.0%	100.0%	8138

表 1.8 性・年齢階級別 子どもが「いない」対象者の子どもを持つことへの希望

		子どもは ほらない	子どもを 欲しい	わからな い		n
男性	年齢階級 18-19	25.4%	53.5%	21.1%	100.0%	71
	20-24	24.8%	45.7%	29.5%	100.0%	315
	25-29	28.4%	43.1%	28.6%	100.0%	497
	30-34	27.2%	43.8%	29.1%	100.0%	537
	35	42.9%	33.0%	24.1%	100.0%	112
	合計	28.1%	43.6%	28.3%	100.0%	1532
女性	年齢階級 18-19	26.8%	47.5%	25.8%	100.0%	314
	20-24	23.7%	51.4%	24.9%	100.0%	911
	25-29	28.4%	48.8%	22.7%	100.0%	1245
	30-34	34.3%	41.2%	24.5%	100.0%	1208
	35	40.2%	34.8%	25.0%	100.0%	244
	合計	29.7%	46.1%	24.2%	100.0%	3922
男女計		29.3%	45.4%	25.3%	100.0%	5454

父母の別居時の状況

性・年齢階級別に父母の別居時の状況について覚えているか否かを見たものが、表 1.9 である。男性については「はい」が 69.3%、「いいえ」が 30.7%であり、女性については「はい」が 75.2%、「いいえ」が 24.8%である。必ずしも一貫したものとは言えないが、男性については「いいえ」の割合が 18-19 歳の対象者で 41.1%、35 歳の対象者で 23.3%と、年齢階級が若いほど覚えていない傾向がやや見られる。女性については、こうした傾向は見られない。

表 1.9 性・年齢階級別 父母の別居時の状況について覚えているか

			はい	いいえ		n
男性	年齢階級	18-19	58.9%	41.1%	100.0%	73
		20-24	69.0%	31.0%	100.0%	339
		25-29	67.2%	32.8%	100.0%	618
		30-34	70.0%	30.0%	100.0%	828
		35	76.7%	23.3%	100.0%	202
	合計		69.3%	30.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	78.4%	21.6%	100.0%	328
		20-24	74.6%	25.4%	100.0%	1073
		25-29	73.0%	27.0%	100.0%	1916
		30-34	76.4%	23.6%	100.0%	2265
		35	77.2%	22.8%	100.0%	496
	合計		75.2%	24.8%	100.0%	6078
男女計			73.7%	26.3%	100.0%	8138

次に、性・年齢階級別に、父母の別居時に説明を受けたか否かを見たものが、表 1.10 である。男女ともに、対象者の過半数が両親あるいはそのいずれかからは「説明を受けた」と回答した一方、「どちらからも説明を受けなかった」、「覚えていない」「父母両方から」と回答した対象者も、それぞれ 20%前後いる。「父母両方から説明を受けた」については、男性で 20.9%、女性で 15.3%である。「母親から説明を受けたが父親からは受けなかった」については、男性で 34.0%、女性で 37.2%である。逆に「父親から説明を受けたが母親からは受けなかった」については、男性で 4.6%、女性が 4.2%である。男女ともに、両親のいずれかが説明をする場合は、母親がしている様子が見て取れる。「どちらからも説明を受けなかった」は、男性で 4.6%、女性で 4.2%である。「覚えていない」は、男性で 19.4%、女性で 18.7%である。年齢階級による傾向は男女ともに特に見られないが、総じて「父母両方から説明を受けた」と回答した対象者は男性に、「どちらからも説明を受けなかった」と回答した対象者は女性に、やや多いと言える。

表 1.10 性・年齢階級別 父母の別居時に説明を受けたか

		父母両方 から説明 を受けた	母親から 説明を受 けたが父 親からは 受けな かった	父親から 説明を受 けたが母 親からは 受けな かった	どちらか らも説明 を受けな かった	覚えてい ない		n
男性	年齢階級 18-19	12.3%	34.2%	5.5%	16.4%	31.5%	100.0%	73
	20-24	22.7%	33.0%	4.1%	21.8%	18.3%	100.0%	339
	25-29	20.9%	33.2%	6.0%	18.1%	21.8%	100.0%	618
	30-34	20.8%	34.5%	4.1%	22.0%	18.6%	100.0%	828
	35	21.3%	36.1%	2.5%	27.2%	12.9%	100.0%	202
	合計	20.9%	34.0%	4.6%	21.1%	19.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	18.6%	33.8%	3.7%	20.1%	23.8%	100.0%	328
	20-24	17.8%	36.2%	3.5%	24.8%	17.7%	100.0%	1073
	25-29	14.1%	37.8%	4.3%	24.3%	19.5%	100.0%	1916
	30-34	14.9%	37.5%	3.8%	26.0%	17.8%	100.0%	2265
	35	13.7%	38.1%	7.3%	22.6%	18.3%	100.0%	496
	合計	15.3%	37.2%	4.2%	24.6%	18.7%	100.0%	6078
男女計		16.7%	36.4%	4.3%	23.8%	18.9%	100.0%	8138

説明を受けた者が、その説明が十分に理解できるものだったと評価しているかどうかを示したものが、表 1.11 である。男女ともに傾向に大きな違いがなく、総じて対象者の 7 割弱は理解できるものだったと評価している。「そう思う」については男性で 28.6%、女性で 29.2%、「ややそう思う」は男性で 39.8%、女性で 38.3%である。「あまりそう思わない」は男性で 19.2%、女性で 19.5%、「そう思わない」は男性で 7.8%、女性で 9.0%である。「覚えていない」は男性で 4.6%、女性で 3.9%である。

表 1.11 性・年齢階級別

「説明を受けた」対象者にとって説明が十分に理解できるものだったか

		そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級 18-19	36.8%	34.2%	15.8%	13.2%		100.0%	38
	20-24	31.0%	37.4%	16.3%	8.4%	6.9%	100.0%	203
	25-29	30.2%	40.7%	17.8%	7.0%	4.3%	100.0%	371
	30-34	26.0%	39.2%	22.4%	7.7%	4.7%	100.0%	492
	35	27.3%	45.5%	16.5%	8.3%	2.5%	100.0%	121
	合計	28.6%	39.8%	19.2%	7.8%	4.6%	100.0%	1225
女性	年齢階級 18-19	36.4%	40.8%	13.6%	6.0%	3.3%	100.0%	184
	20-24	32.7%	36.1%	18.6%	8.9%	3.6%	100.0%	617
	25-29	27.9%	38.3%	20.8%	9.0%	4.0%	100.0%	1077
	30-34	27.7%	39.4%	19.9%	9.0%	3.9%	100.0%	1273
	35	28.7%	36.5%	18.8%	10.9%	5.1%	100.0%	293
	合計	29.2%	38.3%	19.5%	9.0%	3.9%	100.0%	3444
男女計		29.1%	38.7%	19.4%	8.7%	4.1%	100.0%	4669

性・年齢階級別に親が別居した時の回答者の年齢を見たものが、表 1.12 である。男性よりも女性の方が、親が別居した時の本人年齢が低い傾向が見られる。0-3 歳と回答した対象者は、男性で 12.5%、女性で 18.6%である。4-6 歳と回答した対象者は、男性で 16.5%、女性で 17.6%である。7-9 歳と回答した対象者は、男性で 15.3%、女性で 16.3%である。10-12 歳と回答した対象者は、男性で 24.9%、女性で 22.1%である。13-15 歳と回答した対象者は、男性で 30.7%、女性で 25.3%である。年齢階級別にみると、男性については年齢階級が若いほど、親別居時の本人年齢が低い割合が高いが、女性についてはこうした傾向は見られない。

表 1.12 性・年齢階級別 親別居時の回答者の年齢

			0-3	4-6	7-9	10-12	13-15		n
男性	年齡階級	18-19	18.9%	18.9%	16.2%	21.6%	24.3%	100.0%	37
		20-24	13.7%	17.5%	12.3%	29.4%	27.0%	100.0%	211
		25-29	12.9%	18.5%	18.2%	22.5%	27.8%	100.0%	417
		30-34	12.0%	15.9%	14.5%	25.1%	32.5%	100.0%	585
		35	9.8%	11.8%	14.4%	25.5%	38.6%	100.0%	153
	合計		12.5%	16.5%	15.3%	24.9%	30.7%	100.0%	1403
女性	年齡階級	18-19	15.9%	20.6%	20.6%	23.6%	19.3%	100.0%	233
		20-24	21.5%	17.8%	17.6%	21.3%	21.8%	100.0%	797
		25-29	19.0%	19.7%	16.6%	21.0%	23.7%	100.0%	1449
		30-34	17.7%	15.9%	15.3%	23.1%	28.1%	100.0%	1729
		35	17.6%	15.5%	14.8%	22.4%	29.8%	100.0%	393
	合計		18.6%	17.6%	16.3%	22.1%	25.3%	100.0%	4601
男女計			17.2%	17.4%	16.1%	22.8%	26.6%	100.0%	6004

第2章 対象者の世帯特性、両親離別後の親からのケア

稲葉 昭英
慶應義塾大学

対象者世帯の所得について

今回の「親子の別居経験についてのアンケート」では世帯所得はデータ上に存在するが、これは調査時点で回答を求めたものではなく、回答者がモニター登録した時に入力したもの、あるいはその後回答者自身が修正を加えたものである。なお、初期値を修正していないケースも相当数みられると思われるため、世帯所得がいつの時点のものなのかは特定できない。その意味で参考程度のものにしか過ぎないが、全国統計と比較してみよう。

ここでは令和5年（2023年）国民生活基礎調査から、世帯主の年齢階級別世帯所得（第26表）を用いて比較を行う。なお、「親子の別居経験についてのアンケート」の対象者は18歳から35歳までであるため、国民生活基礎調査のデータは世帯主年齢を29歳以下・30-39歳に限定し、これを合算したものを用いる。もっとも、「親子の別居経験についてのアンケート」は回答者が世帯主とは限らないため、比較には大きな限界があることは言うまでもない。また、世帯構成についても厳密にはわからないため、国民生活基礎調査の全世帯と比較を行う。

表 2.1 国民生活基礎調査との世帯所得の比較（％）

世帯所得	親子の別居経験データ			国民生活
	男性	女性	全世帯	全世帯
-199	12.9	15.2	14.5	14.2
200-399	26.3	33.1	31.2	25.9
400-599	30.7	25.5	27	29.7
600-799	14	14.4	14.3	15.1
800-999	8	6.8	7.1	8.4
1000-1119	4.1	2.6	3	3.8
1200-1499	1.7	1.2	1.4	0.9
1500-1999	1.6	0.7	0.9	0.9
2000-	0.8	0.5	0.6	1.11
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

表 2.1 では、親子の別居経験についてのアンケートの所得分布を男女別、および全体について求めたものである（「わからない」が全体の 21%と無視できない多さであるが、これらは欠損値として算出）。国民生活基礎調査の結果と比較すると、全世帯にかんしては国民生活基礎調査の結果との差異は比較的小さく、もっとも差異が大きいのは 200-399 万の 5.4%ポイントほど、それ以外には大きな差異は示されない。本データのほうがやや所得が低い傾向があるが、これは国民生活基礎調査の方が 30 代後半の回答者が含まれている結果である可能性がある。

男女別に分けた結果では、男性の結果の方が国民生活基礎調査の結果に近く、女性のほうがやや世帯所得が低い傾向がみられる。とはいえ、あくまでも参考程度の情報ではあるが全体的にはそれほど国民生活基礎調査との差異は大きいわけではなく、所得面では大幅に母集団との違いは見られないといえそう。

対象者世帯の構成の変化

親の離別後の世帯構成の変化について、離別直後の同居者（問 21）とその後の変化の有無（問 22）の関連は以下の表 2.2 のようなものである。

表 2.2 離別直後の同居者とその後の世帯構成の変化

離別直後同居	一緒に住む人の変化		
	あり	なし	合計
父	290(26.7)	798(73.3)	1088(100.0)
母	752(11.8)	5608(88.2)	6360(100.0)
父母以外親族	101(27.7)	264(72.3)	365(100.0)
その他	78(24.0)	247(76.0)	325(100.0)
合計	1221(15.0)	6917(85.0)	8138(100.0)

離婚直後の同居は母親との同居が圧倒的に多く全体の 78.2%を占めるが、母親と同居した場合にはその後の変化は 1 割強と少ない。一方、父、父母以外の親族の場合には、それぞれ 27-28%近くが、「その他」（父または母が含まれることもあり）では 24%が世帯構成の変化を経験している。これが父やその他の親族との同居から別世帯への移動に起因するものなのか、同一世帯内での構成員の変化（父の再婚や他の構成員の誕生・離家・死亡など）に起因するものなのかはわからないが、全体としてみれば変化を経験しないケースのほうが圧倒的に多く、世帯構成の変化を経験しているのは全体でみれば 15%ほどである。ともすれば離婚後に変化が生じることが一般的であると想定されやすいが、事実はかならずしもそうとはいえないことがわかる。

父母の関わり

次に、親別居後の同居者別に、父母の関わりを検討する。

表 2.3 離別直後の同居者別にみた、母の衣食住のかかわり

離別直後同居	離婚後、母が衣食住の面倒をみてくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	907(83.4)	181(16.6)	1088(100.0)
母	966(15.2)	5394(84.8)	6360(100.0)
父母以外親族	259(71.0)	106(29.0)	365(100.0)
その他	133(40.9)	192(59.1)	325(100.0)
合計	2265(27.8)	5837(82.2)	8138(100.0)

表 2.3 では父と同居の場合には母の衣食住への関与は小さいがそれでも 17%程度、母と同居の場合には 85%程度と大きな差異が示されている。「父母以外の親族」は調査票上では父または母と同居しているケースは含まれていないことになっているが、母の関与は 3 割近く、父または母と祖父母などとの同居が含まれる「その他」では母の関与は 6 割近くになる。

一方、父の衣食住への関与については表 2.4 にみるように母と同居している場合には 93% ほどが「あてはまらない」、父母以外の親族との同居、その他の場合も 8 割以上が「あてはまらない」、父と同居していても 29%ほどが「あてはまらない」と回答しており、全般的に衣食住への関与が小さく、同居していない場合にはこれが顕著になる。

表 2.4 離別直後の同居者別にみた、父の衣食住へのかかわり

離別直後同居	離婚後、父が衣食住の面倒をみてくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	310(28.5)	778(71.5)	1088(100.0)
母	5888(92.6)	472(7.4)	6360(100.0)
父母以外親族	318(87.1)	47(12.9)	365(100.0)
その他	266(81.8)	59(18.2)	325(100.0)
合計	6782(83.3)	1356(16.7)	8138(100.0)

金銭的な支援（生活費、学費）について検討してみると、母については表 2.5 のような結果が示された。父と同居した場合には母による金銭的支援は 18%ほど、母と同居した場合には約 7 割である。父母以外の親族と同居の場合には 26%ほど、その他では 52%強と世帯構成によってかなり違いがある。

表 2.5 離別直後の同居者別に見た母による金銭的支援

離別直後同居	離婚後、母が金銭的支援		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	891(81.9)	197(18.1)	1088(100.0)
母	1940(30.5)	4420(69.5)	6360(100.0)
父母以外親族	272(74.5)	93(25.5)	365(100.0)
その他	155(47.7)	170(52.3)	325(100.0)
合計	3258(40.0)	4880(60.0)	8138(100.0)

父についての結果は表 2.6 のようにやや意外で、父と同居のケースでも金銭的支援があったのは 68%程度で、3 割強が父からの金銭的支援がなかったと回答している。母と同居のケースでは支援があったケースが 28%ほど、父母以外の親族、その他の場合も各 25%、33%と、離婚後に父からの金銭的支援が母に比較して圧倒的に多いということはないようだ。

表 2.6 離別直後の同居者別に見た父による金銭的支援

離別直後同居	離婚後、父が金銭的支援		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	353(32.4)	735(67.6)	1088(100.0)
母	4593(72.2)	1767(27.8)	6360(100.0)
父母以外親族	274(75.1)	91(24.9)	365(100.0)
その他	218(67.1)	107(32.9)	325(100.0)
合計	5438(66.8)	2700(33.2)	8138(100.0)

表 2.7 離別直後の同居者別に見た「母が相談にのってくれた」か否か

離別直後同居	離婚後、母が相談に乗ってくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	704(64.7)	384(35.3)	1088(100.0)
母	2829(44.5)	3531(55.5)	6360(100.0)
父母以外親族	261(71.5)	104(28.5)	365(100.0)
その他	186(57.2)	139(42.8)	325(100.0)
合計	3980(48.9)	4158(51.1)	8138(100.0)

母が相談に乗ってくれたかどうか、については、表 2.7 のように母と同居でも 55.5%と数値としては半分程度にとどまり、父と同居では 35%強、その他で 43%程度とそれほど高い

数値は示されない。全体でも「あてはまる」としたものは半数程度であった。

表 2.8 離婚直後の同居者別に見た「父が相談にのってくれた」か否か

離別直後同居	離婚後、父が相談に乗ってくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	736(67.6)	352(32.4)	1088(100.0)
母	5567(87.5)	793(12.5)	6360(100.0)
父母以外親族	297(81.4)	68(18.6)	365(100.0)
その他	291(89.5)	34(10.5)	325(100.0)
合計	6891(84.7)	1247(15.3)	8138(100.0)

表 2.8 のように父については母よりも全般的に数値は低く、離婚直後に母と同居では 12.5%、父と同居でも 3 割強にとどまっている。父母両方の結果を合わせると、父母以外の親族と同居の場合には父、母いずれも相談にのってくれた比率が低い。

母が「心の支えになってくれた」についての結果では、やや意外な結果で（表 2.9）、全体では該当するとしたものが半数を下回り、離婚直後に母と同居している場合でも 53%程度にとどまっている。

表 2.9 離婚直後の同居者別に見た「母が心の支えになってくれた」か否か

離別直後同居	離婚後、母が心の支えになってくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	798(73.3)	290(26.7)	1088(100.0)
母	2989(47.0)	3371(53.0)	6360(100.0)
父母以外親族	267(73.2)	98(26.8)	365(100.0)
その他	195(60.0)	130(40.0)	325(100.0)
合計	4249(52.2)	3889(47.8)	8138(100.0)

父については全般的に母よりも数値が低く（表 2.10）、離婚直後父と同居の場合の 28.1% が最も高い数値である。父と同居の場合、表 2.9 のように母は 26.7% なので、あまり差がないといえる。また、全体の多くを占める離婚直後に母と同居の場合には、父はわずか 9% し心支えになっておらず、父の存在が希薄であることがわかる。

表 2.10 離婚直後の同居者別に見た「父が心の支えになってくれた」か否か

離別直後同居	離婚後、父が心の支えになってくれた		
	あてはまらず	あてはまる	合計
父	782(71.9)	306(28.1)	1088(100.0)
母	5786(91.0)	574(9.0)	6360(100.0)
父母以外親族	316(86.6)	49(13.4)	365(100.0)
その他	296(91.1)	29(8.9)	325(100.0)
合計	7180(88.2)	958(11.8)	8138(100.0)

最後に父母それぞれについて「どれにもあてはまらない」すなわちほとんど交流・サポートがなかったと思われる状態についての結果を見てみよう。なお、質問項目との関係上、回答が二重否定になりやや結果が読み取りにくい、「該当する」は「どれにもあてはまらない」に相当することを意味する。

表 2.11 の母についての結果からは、離婚直後母と同居の場合には「該当しない」が 92% 近くと多いが、「該当」も 8.5%と無視できない数値を示している。父と同居、の場合には該当、非該当がほぼ半々、父母以外の親族と同居の場合にも「該当」は 45%と少なくない。

一方、父については（表 2.12）「母と同居」の場合に「該当」が 63.7%と多いが、父母以外の親族、その他の場合にも「該当」は半数を超えており、「父と同居」以外で概して父子間の交流が希薄だったことがうかがえる。

表 2.11 離婚直後の同居者別に見た、母「どれにもあてはまらない」か否か

離別直後同居	どれにもあてはまらない		
	該当しない	該当する	合計
父	550(50.6)	538(49.4)	1088(100.0)
母	5820(91.5)	540(8.5)	6360(100.0)
父母以外親族	200(54.8)	165(45.2)	365(100.0)
その他	227(69.8)	98(30.2)	325(100.0)
合計	6797(83.5)	1341(16.5)	8138(100.0)

表 2.12 離婚直後の同居者別に見た、父「どれにもあてはまらない」か否か

離別直後同居	どれにもあてはまらない		
	該当しない	該当する	合計
父	917(84.3)	171(15.7)	1088(100.0)
母	2306(36.3)	4054(63.7)	6360(100.0)
父母以外親族	160(43.8)	205(56.2)	365(100.0)
その他	119(36.6)	206(63.4)	325(100.0)
合計	3502(43.0)	4346(57.0)	8138(100.0)

以上、当然のことではあるが離婚直後にどのような世帯構成をとるかによって父母の子どもへの関与が大きく異なることがわかる。

第3章 両親離別後の同居家族、同居・別居親子関係、父母間関係、きょうだい関係

野沢慎司
明治学院大学

両親間の取り決め、子どもの意見表明、子どもの相談相手

この調査では、「父母の別居後のあなたと別居親との交流（実際に会う、電話をする、メールやLINEをする、手紙のやり取りをする等）について、父母間で取り決め（約束）はなされてい了吗か」という質問文で両親間の取り決めの有無について尋ねた。全体として「取り決めがあった」のは15.3%ほどであり、「取り決めはなかった」と回答した54.8%に比べて圧倒的に少数派である。対象者のジェンダーによる差はほとんどない。ただし、「わからない」との回答が男女ともに約30%を占めていることには注意が必要である。とくに同居の親が（その成長にあわせて）子どもに伝えていないケースが一定数含まれている可能性がある（表3.1）。

表3.1 父母の別居後、別居親との交流についての取り決めの有無

			取り決め があった	取り決め はなかつ た	わからな い		n
男性	年齢階級	18-19	8. 2%	56. 2%	35. 6%	100. 0%	73
		20-24	18. 9%	48. 4%	32. 7%	100. 0%	339
		25-29	16. 7%	47. 4%	35. 9%	100. 0%	618
		30-34	13. 4%	57. 1%	29. 5%	100. 0%	828
		35	16. 3%	61. 9%	21. 8%	100. 0%	202
	合計		15. 4%	53. 2%	31. 4%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21. 6%	46. 0%	32. 3%	100. 0%	328
		20-24	19. 0%	54. 1%	26. 9%	100. 0%	1073
		25-29	15. 7%	55. 0%	29. 3%	100. 0%	1916
		30-34	12. 7%	57. 5%	29. 8%	100. 0%	2265
		35	13. 9%	56. 5%	29. 6%	100. 0%	496
	合計		15. 3%	55. 4%	29. 3%	100. 0%	6078
男女計			15. 3%	54. 8%	29. 8%	100. 0%	8138

子どもである回答者が、上記のような別居の親子の交流に関する取り決めについて（それについて「わからない」と回答したケースも含めて）自分の「希望・意見」を親に伝えたかどうかを尋ねた。やはり全体で26.3%が「覚えていない」と回答していて男女差はほとんどない。それに加えて、36.4%が「意見・希望はなかった」と回答している。残りの37.2%が

両親の別居時に何らかの「意見・希望」を持っていた。「本心を伝えた」のは、全体の16.4%に過ぎない。「伝えたが本心ではなかった」5.2%の対象者には何らかの圧力がかかって、本心が言えなかったものと推察できる。また同様の圧力や状況からの影響で「意見・希望はあったが伝えていない」ケースも15.6%を占める。そこに大きな男女差も見られない(表3.2)。

表 3.2 父母別居後、別居親との取り決めについて対象者の希望・意見を伝えたか

			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19	15.1%	13.7%	12.3%	21.9%	37.0%	100.0%	73
		20-24	15.9%	9.1%	12.4%	35.1%	27.4%	100.0%	339
		25-29	18.0%	9.2%	13.9%	32.2%	26.7%	100.0%	618
		30-34	16.3%	7.6%	15.7%	34.7%	25.7%	100.0%	828
		35	15.8%	5.9%	13.9%	45.5%	18.8%	100.0%	202
	合計		16.7%	8.4%	14.3%	34.6%	26.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.7%	5.5%	15.2%	33.5%	28.0%	100.0%	328
		20-24	18.3%	4.8%	15.6%	37.3%	24.0%	100.0%	1073
		25-29	16.0%	3.7%	16.3%	36.4%	27.6%	100.0%	1916
		30-34	15.4%	3.9%	15.9%	38.5%	26.2%	100.0%	2265
		35	16.9%	4.2%	16.7%	35.1%	27.0%	100.0%	496
	合計		16.4%	4.1%	16.0%	37.1%	26.4%	100.0%	6078
男女計			16.4%	5.2%	15.6%	36.4%	26.3%	100.0%	8138

両親の別居時に取り決めた交流内容について何らかの「意見・希望」を持っていた対象者に限定して、別居した両親間の取り決めの内容が対象者の意見・希望通りになったのかどうかを尋ねた。そのうち45.0%が「意見・希望通りになった」と回答している。「意見・希望通りにはならず、親から説明があった」という回答は全体で28.7%であるが、女性(25.9%)よりも男性(36.3%)で比率が高い傾向がある。そして男性の中でも、年齢階級が若いカテゴリーほど高い。さらに、「意見・希望通りにはならず、親から説明もなかった」という回答は全体で26.3%だが、こちらは男性(21.5%)よりも女性(28.1%)のほうが高い。女性の中でも、年齢階級が年長の世代ほどこの回答に当てはまるケースが多い。最近になるほど、子どもが自分の意見や希望を表明する傾向が少しずつ高まり、しかもそれは男児に顕著な傾向なのかもしれない(表3.3)。

表 3.3 父母の別居後、取り決めの内容は対象者の意見・希望通りになったか

			意見・希望通りに なった	意見・希望通りには ならず、親から説明が あった	意見・希望通りには ならず、親からの説明 もなかった		n
男性	年齢階級	18-19	50.0%	40.0%	10.0%	100.0%	30
		20-24	38.6%	40.9%	20.5%	100.0%	127
		25-29	42.5%	35.0%	22.4%	100.0%	254
		30-34	41.8%	36.0%	22.3%	100.0%	328
		35	47.2%	31.9%	20.8%	100.0%	72
	合計	42.3%	36.3%	21.5%	100.0%	811	
女性	年齢階級	18-19	45.2%	33.3%	21.4%	100.0%	126
		20-24	48.9%	28.9%	22.2%	100.0%	415
		25-29	44.9%	27.8%	27.2%	100.0%	690
		30-34	45.7%	21.5%	32.8%	100.0%	799
		35	44.7%	26.1%	29.3%	100.0%	188
	合計	45.9%	25.9%	28.1%	100.0%	2218	
男女計			45.0%	28.7%	26.3%	100.0%	3029

より具体的に、子どもだった対象者がどちらの親と一緒に住みたいかについて意見や希望を伝えたかを尋ねると、「覚えていない」(25.0%)と「意見・希望はなかった」(34.8%)が全体の約6割を占める。残りの4割ほどが意見・希望を持っていたわけだが、「本心を伝えた」のは23.5%、「伝えたが本心ではなかった」のが5.3%、「意見・希望はあったが覚えていない」ケースが11.3%となっている。ここでは、女性の方が「本心を伝えた」との回答がわずかに多かったが、やはり本心ではないことを伝えたり、そもそも希望を伝えられなかったりした被抑圧経験ケースが一定数(16.6%)存在していることに注意したい(表3.4)。

表 3.4 父母の別居後、対象者がどちらの親と一緒に住むかについて、意見・希望を伝えたか

			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、覚えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n	
男性	年齢階級	18-19	21.9%	9.6%	13.7%	19.2%	35.6%	100.0%	73	
		20-24	23.3%	9.1%	9.4%	32.2%	26.0%	100.0%	339	
		25-29	22.7%	7.9%	11.8%	31.1%	26.5%	100.0%	618	
		30-34	20.8%	6.9%	11.7%	34.5%	26.1%	100.0%	828	
		35	25.7%	6.9%	10.9%	38.6%	17.8%	100.0%	202	
	合計		22.3%	7.7%	11.4%	33.0%	25.7%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	25.6%	4.6%	11.3%	31.4%	27.1%	100.0%	328	
		20-24	23.9%	6.2%	9.3%	36.8%	23.9%	100.0%	1073	
		25-29	22.6%	3.9%	11.8%	35.4%	26.3%	100.0%	1916	
		30-34	24.5%	4.2%	11.7%	36.3%	23.3%	100.0%	2265	
		35	26.0%	4.0%	11.9%	31.7%	26.4%	100.0%	496	
	合計		24.0%	4.5%	11.3%	35.5%	24.8%	100.0%	6078	
男女計				23.5%	5.3%	11.3%	34.8%	25.0%	100.0%	8138

両親の別居時にどちらの親と一緒に住むのかに関して何らかの「意見・希望」を持っていた対象者に限定して、対象者の意見・希望通りになったのかを尋ねた。全体としては、64.6%が「意見・希望通りになった」と回答しているが、男性（58.9%）よりも女性（66.6%）でその比率が高い。「意見・希望通りにはならず、親から説明があった」という回答は、全体で19.4%であるが、女性（17.0%）よりも男性（26.3%）で高い傾向がある。「意見・希望通りにはならず、親から説明もなかった」という回答は全体で16.0%であり、男女差はほとんどない。女儿が父母どちらと同居したいか希望を表明して希望通りになりやすいのは、同性の親（母）との同居となるケースが大多数である現状（後出の表31参照）と関連している可能性について検討の余地がある（表3.5）。

表 3.5 父母の別居後、対象者がどちらの親と一緒に住むかについて、意見・希望通りになったか

			意見・希望通りに なった	意見・希望通りには ならず、親から説明が あった	意見・希望通りには ならず、親からの説明 もなかった		n
男性	年齢階級	18-19	60. 6%	24. 2%	15. 2%	100. 0%	33
		20-24	60. 6%	27. 5%	12. 0%	100. 0%	142
		25-29	59. 2%	26. 7%	14. 1%	100. 0%	262
		30-34	55. 5%	27. 3%	17. 2%	100. 0%	326
		35	67. 0%	20. 5%	12. 5%	100. 0%	88
	合計		58. 9%	26. 3%	14. 8%	100. 0%	851
女性	年齢階級	18-19	67. 6%	16. 2%	16. 2%	100. 0%	136
		20-24	67. 1%	19. 4%	13. 5%	100. 0%	422
		25-29	63. 8%	18. 6%	17. 6%	100. 0%	735
		30-34	68. 2%	14. 2%	17. 6%	100. 0%	915
		35	67. 8%	19. 2%	13. 0%	100. 0%	208
	合計		66. 6%	17. 0%	16. 4%	100. 0%	2416
男女計			64. 6%	19. 4%	16. 0%	100. 0%	3267

両親の離婚・別居時に両親以外に相談相手がいたかどうかについて、いくつかの選択肢を用意して回答してもらった。もっとも多い回答は、「相談したいことはなかった」（54.9%）であり、全体の過半数を超える。「人に言いたくなかった」が19.8%、「相談したかったが、適切な人が見つからなかった」が10.0%、「相談できる人はいたが、自分で抱え込んだ」が5.0%と続き、この3つを合計すると全体のほぼ45%を占める。一方、「相談した」という回答は全体の6.5%にすぎない（男女差はほとんどない）。相談したいことがあっても、誰にも相談できない状況に置かれたまま成長する子どもの現状が浮かび上がる（表3.6）。

表 3.6 父母の離婚・別居時における、対象者の両親以外の相談相手の有無

			相談した	相談した かった が、適切 な人がい なかった	相談でき る人はい たが、自 分で抱え 込んだ	人に言い たくな かった	相談した いことは なかった	その他 (具体的 に： 【FA】)		n	
男性	年齢階級	18-19	8.2%	5.5%	13.7%	19.2%	49.3%	4.1%	100.0%	73	
		20-24	9.4%	11.5%	5.6%	18.6%	52.8%	2.1%	100.0%	339	
		25-29	7.1%	10.4%	6.3%	17.3%	56.1%	2.8%	100.0%	618	
		30-34	6.5%	10.7%	5.9%	21.4%	53.0%	2.4%	100.0%	828	
		35	2.5%	10.9%	5.0%	21.3%	56.9%	3.5%	100.0%	202	
	合計		6.8%	10.6%	6.2%	19.6%	54.2%	2.6%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	9.5%	6.7%	7.0%	16.8%	57.3%	2.7%	100.0%	328	
		20-24	6.5%	9.6%	4.6%	20.6%	55.1%	3.6%	100.0%	1073	
		25-29	6.1%	8.9%	5.2%	19.5%	55.8%	4.5%	100.0%	1916	
		30-34	5.8%	11.0%	4.2%	20.0%	54.7%	4.3%	100.0%	2265	
		35	7.3%	10.7%	2.8%	21.0%	52.6%	5.6%	100.0%	496	
	合計		6.3%	9.9%	4.6%	19.8%	55.1%	4.3%	100.0%	6078	
男女計				6.5%	10.0%	5.0%	19.8%	54.9%	3.9%	100.0%	8138

父母のどちらと一緒に暮らすのか

対象者が両親の別居を経験した直後の時期に誰と一緒に暮らすことになったのかを尋ねている。全体では、圧倒的多数（78.2%）が母親と同居した。ただし、微少な男女差があり、男性の方が、父親と同居したケース（男性 16.0%、女性 12.5%）や父母以外の親族と同居したケース（男性 6.7%、女性 3.7%）が多い（表 3.7）。

表 3.7 父母の別居直後の、対象者の同居人

			父親	母親	父母以外 の親族	その他 （具体的 に： 【FA】）		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	71.2%	12.3%		100.0%	73
		20-24	15.6%	76.4%	6.2%	1.8%	100.0%	339
		25-29	16.5%	73.8%	6.5%	3.2%	100.0%	618
		30-34	15.6%	75.6%	6.6%	2.2%	100.0%	828
		35	16.8%	73.3%	6.4%	3.5%	100.0%	202
	合計		16.0%	74.8%	6.7%	2.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	8.2%	85.7%	3.0%	3.0%	100.0%	328
		20-24	9.8%	82.6%	3.7%	3.9%	100.0%	1073
		25-29	12.9%	78.6%	4.1%	4.4%	100.0%	1916
		30-34	13.2%	78.3%	3.3%	5.2%	100.0%	2265
		35	16.1%	75.0%	4.8%	4.0%	100.0%	496
	合計		12.5%	79.3%	3.7%	4.5%	100.0%	6078
男女計			13.4%	78.2%	4.5%	4.0%	100.0%	8138

父母のどちらか、あるいは別の親族と同居することになっても、その後に変更が生じることがある。この調査では、「同居人が変わった経験」の有無を尋ねているが、全体の 15.0%

がそのような同居親などの変更経験がある（表 3.8）。

表 3.8 父母の別居後、対象者の同居人が変わった経験の有無

			ある	ない		n
男性	年齢階級	18-19	12. 3%	87. 7%	100. 0%	73
		20-24	15. 9%	84. 1%	100. 0%	339
		25-29	14. 7%	85. 3%	100. 0%	618
		30-34	13. 4%	86. 6%	100. 0%	828
		35	17. 8%	82. 2%	100. 0%	202
	合計	14. 6%	85. 4%	100. 0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	11. 6%	88. 4%	100. 0%	328
		20-24	14. 3%	85. 7%	100. 0%	1073
		25-29	16. 0%	84. 0%	100. 0%	1916
		30-34	15. 5%	84. 5%	100. 0%	2265
		35	14. 7%	85. 3%	100. 0%	496
	合計	15. 1%	84. 9%	100. 0%	6078	
男女計			15. 0%	85. 0%	100. 0%	8138

別居後の父母間関係・親子関係

両親の別居後から対象者が 18 歳になるまでの期間の両親間の関係や両親の行動について一連の質問に回答してもらった。まず、同居親が「別居親に会わないように、と言っていた」かどうかについて尋ねた。それには「あてはまらない」という回答が全体の 60.3%、「あまりあてはまらない」が 17.9%で、8 割ほどが別居親との交流に対する否定的な同居親の発言を経験していない。しかし、「あてはまる」が 10.2%、「ややあてはまる」が 11.7%であり、5 人に 1 人程度が別居親との交流に対して同居親からの否定的な圧力を経験している（表 3.9）。

表 3.9 （父母の別居後から 18 歳まで）別居親に会わないように、と言っていたか

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	52.1%	21.9%	13.7%	12.3%	100.0%	73
		20-24	49.6%	21.2%	16.8%	12.4%	100.0%	339
		25-29	54.2%	23.3%	12.6%	9.9%	100.0%	618
		30-34	57.2%	20.3%	13.3%	9.2%	100.0%	828
		35	58.9%	22.8%	11.4%	6.9%	100.0%	202
	合計		55.0%	21.7%	13.5%	9.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	62.5%	15.9%	11.0%	10.7%	100.0%	328
		20-24	58.5%	17.1%	12.0%	12.3%	100.0%	1073
		25-29	61.4%	15.8%	11.7%	11.0%	100.0%	1916
		30-34	63.7%	17.0%	10.2%	9.0%	100.0%	2265
		35	64.1%	16.5%	10.1%	9.3%	100.0%	496
	合計		62.0%	16.6%	11.1%	10.3%	100.0%	6078
男女計		60.3%	17.9%	11.7%	10.2%	100.0%	8138	

次に、「父母は、一緒には暮らせないが、協力しあっていたと思う」に対しては、「あてはまらない」という回答が全体の 56.0%、「あまりあてはまらない」が 19.8%であった。別居後の両親の関係について協力的と感じられないケースが 75%以上の大多数に上る。一方、「あてはまる」は 8.0%に過ぎず、「ややあてはまる」16.2%を合わせても 4 人に 1 人程度である。この傾向に男女差は大きくないが、男女ともに「あてはまらない」という回答が若い年齢階級ほど少ない傾向がある。比較的最近親の離婚を経験した若い世代の両親は、それ以前の世代の親たちに比較して（少しずつだが）協力的な関係を構築しやすくなっているようである（表 3.10）。

表 3.10 （父母の別居後から 18 歳まで）父母は一緒には暮らせないが、協力しあっていたと思う

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	42. 5%	23. 3%	26. 0%	8. 2%	100. 0%	73
		20-24	49. 3%	20. 4%	20. 1%	10. 3%	100. 0%	339
		25-29	50. 2%	23. 1%	20. 1%	6. 6%	100. 0%	618
		30-34	51. 2%	23. 2%	19. 2%	6. 4%	100. 0%	828
		35	54. 5%	21. 3%	15. 8%	8. 4%	100. 0%	202
	合計		50. 6%	22. 5%	19. 5%	7. 4%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	44. 2%	17. 7%	23. 8%	14. 3%	100. 0%	328
		20-24	51. 8%	21. 8%	17. 7%	8. 7%	100. 0%	1073
		25-29	57. 8%	18. 7%	14. 5%	9. 0%	100. 0%	1916
		30-34	61. 5%	18. 0%	13. 5%	7. 0%	100. 0%	2265
		35	62. 9%	19. 0%	13. 3%	4. 8%	100. 0%	496
	合計		57. 8%	18. 9%	15. 1%	8. 2%	100. 0%	6078
男女計			56. 0%	19. 8%	16. 2%	8. 0%	100. 0%	8138

一方、別居親が「同居親の性格や態度を悪く言った」という項目に関して、「あてはまらない」という回答が全体の過半数（51.3%）、「あまりあてはまらない」が約 4 分の 1（24.0%）であり、両者を合わせると 4 分の 3 にあたる大多数が否定的な回答である。しかし、そもそも別居親との交流がなければ、別居親から同居親の悪口を聞く機会自体がないのだから、「あてはまらない」という回答にならざるをえない。後で触れるが、（宿泊なしで）一緒に過ごす時間（表 3.19）、メールなどのメッセージ交換（表 3.20）、電話などでの通話（表 3.21）がまったくないケースがほぼ半数に上る。それらのケースがそのままこの質問の「あてはまらない」に該当している（表 3.10 の「あてはまらない」にも同様にこのようなケースが含まれている）。「あてはまる」が 9.8%、「ややあてはまる」が 14.9%となっており、別居の親との交流がなくなった約半数のケースを除けば、残りのケースの約半数が別居親から同居親の悪口を聞かせられた経験を持っていると推測できる（表 3.11）。

表 3.11 (父母の別居後から 18 歳まで) 同居親の性格や態度を悪く言った

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	46.6%	28.8%	15.1%	9.6%	100.0%	73
		20-24	46.3%	27.1%	16.8%	9.7%	100.0%	339
		25-29	49.8%	28.5%	15.5%	6.1%	100.0%	618
		30-34	49.3%	28.3%	13.6%	8.8%	100.0%	828
		35	45.5%	31.2%	15.3%	7.9%	100.0%	202
	合計		48.5%	28.4%	15.0%	8.1%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	50.6%	21.6%	18.3%	9.5%	100.0%	328
		20-24	50.0%	23.3%	15.5%	11.3%	100.0%	1073
		25-29	52.2%	23.1%	14.4%	10.2%	100.0%	1916
		30-34	53.2%	21.4%	14.6%	10.7%	100.0%	2265
		35	53.2%	24.0%	14.5%	8.3%	100.0%	496
	合計		52.2%	22.5%	14.9%	10.4%	100.0%	6078
男女計			51.3%	24.0%	14.9%	9.8%	100.0%	8138

逆に、同居親から別居親に対する悪口を聞かされる経験にあたる「別居親の性格や態度を悪く言った」に対して「あてはまる」が 16.3%、「ややあてはまる」が 22.1%であった。このようなストレスがかかる経験を全体の 4 割近くの対象者が子ども時代に経験したことになる。同居の親から別居の親の悪口を聞かされる経験は、別居親との交流がまったくなくなった状況でもあり得ることなので、前問の回答よりも経験率がさらに高くなったと推測できる。なお、このような経験には男女差があり、女性に多く、男性は少ない（男性 11.1%、女性 18.0%）。同居親の大多数が母親であることから、母が娘に対してこのような行動を取る傾向を反映しているのかもしれない（表 3.12）。

表 3.12 (父母の別居後から 18 歳まで) 別居親の性格や態度を悪く言った

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	42. 5%	27. 4%	17. 8%	12. 3%	100. 0%	73
		20-24	37. 2%	29. 2%	22. 7%	10. 9%	100. 0%	339
		25-29	42. 6%	28. 3%	20. 1%	9. 1%	100. 0%	618
		30-34	40. 6%	27. 7%	19. 6%	12. 2%	100. 0%	828
		35	36. 1%	27. 7%	23. 8%	12. 4%	100. 0%	202
	合計		40. 2%	28. 1%	20. 6%	11. 1%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	38. 1%	18. 3%	22. 6%	21. 0%	100. 0%	328
		20-24	36. 8%	20. 9%	23. 6%	18. 7%	100. 0%	1073
		25-29	40. 8%	20. 1%	22. 8%	16. 3%	100. 0%	1916
		30-34	40. 5%	18. 7%	21. 8%	19. 0%	100. 0%	2265
		35	39. 9%	20. 0%	23. 2%	16. 9%	100. 0%	496
	合計		39. 8%	19. 6%	22. 6%	18. 0%	100. 0%	6078
男女計			39. 9%	21. 8%	22. 1%	16. 3%	100. 0%	8138

子どもにストレスがかかる出来事には、別居する両親の間での伝言役を担わされることが含まれる。「同居親または別居親からもう一方への伝言を頼まれた」が「あてはまらない」と回答したケースは、64.2%である。ただし、ここには別居親との交流が事実上ないケース（全体の 50%程度）が含まれているとすると、交流があるのにそのような経験がないケースは残りの 10%強ほどと推測される。「あてはまる」が 5.8%、「ややあてはまる」が 11.2%である。なお、この質問でも、女性の方が「あてはまる」が多く（男性 3.9%、女性 6.4%）、男性の方が「あまりあてはまらない」が多い（男性 24.1%、女性 16.4%）という男女差が見られる（表 3.13）。

表 3.13 （父母の別居後から 18 歳まで）同居親または別居親からもう一方への伝言を頼まれた

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	49.3%	31.5%	13.7%	5.5%	100.0%	73
		20-24	56.0%	23.0%	14.2%	6.8%	100.0%	339
		25-29	60.8%	23.5%	12.1%	3.6%	100.0%	618
		30-34	62.4%	24.5%	9.9%	3.1%	100.0%	828
		35	62.4%	23.8%	10.9%	3.0%	100.0%	202
	合計		60.4%	24.1%	11.5%	3.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	58.5%	15.5%	15.2%	10.7%	100.0%	328
		20-24	61.0%	18.0%	12.3%	8.8%	100.0%	1073
		25-29	66.4%	16.9%	10.9%	5.9%	100.0%	1916
		30-34	68.8%	15.5%	10.2%	5.5%	100.0%	2265
		35	69.6%	15.5%	9.9%	5.0%	100.0%	496
	合計		66.2%	16.4%	11.0%	6.4%	100.0%	6078
男女計			64.7%	18.3%	11.2%	5.8%	100.0%	8138

きょうだい関係

対象者がどのようなきょうだい関係をもっているかについて一連の質問を用意した。まず、同じ両親から生まれたきょうだいの有無を尋ねた質問に対して、全体の 69.5%が「いる」と回答している。男性対象者の方が、そして年齢が若いグループほど、きょうだいがいない人の比率が高くなっている（表 3.14）。

表 3.14 同じ両親から生まれたきょうだいがいる

			いない	いる		n
男性	年齢階級	18-19	47.9%	52.1%	100.0%	73
		20-24	41.9%	58.1%	100.0%	339
		25-29	37.7%	62.3%	100.0%	618
		30-34	33.5%	66.5%	100.0%	828
		35	30.7%	69.3%	100.0%	202
	合計		36.4%	63.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	33.8%	66.2%	100.0%	328
		20-24	33.1%	66.9%	100.0%	1073
		25-29	28.5%	71.5%	100.0%	1916
		30-34	25.7%	74.3%	100.0%	2265
		35	27.6%	72.4%	100.0%	496
	合計		28.5%	71.5%	100.0%	6078
男女計			30.5%	69.5%	100.0%	8138

「両親が同じきょうだい」以外にも、異父母きょうだいや継きょうだい（親の新しいパートナーの以前の結婚などで生まれた子ども）などの存在について「それ以外のきょうだい」としてその有無を尋ねた。「いる」と回答したのは、全体の 16.5%であった。ここでも、女性より男性の方が、そして上の世代より若い世代の方が、「いない」の回答比率が高い（表 3.15）。

表 3.15 それ以外のきょうだいがいる

			いない	いる		n
男性	年齢階級	18-19	89.0%	11.0%	100.0%	73
		20-24	89.1%	10.9%	100.0%	339
		25-29	89.3%	10.7%	100.0%	618
		30-34	86.1%	13.9%	100.0%	828
		35	82.7%	17.3%	100.0%	202
	合計		87.3%	12.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	83.5%	16.5%	100.0%	328
		20-24	82.0%	18.0%	100.0%	1073
		25-29	82.6%	17.4%	100.0%	1916
		30-34	82.5%	17.5%	100.0%	2265
		35	79.2%	20.8%	100.0%	496
	合計		82.2%	17.8%	100.0%	6078
男女計			83.5%	16.5%	100.0%	8138

同じ両親から生まれたきょうだいが「いる」と回答した対象者のみに限定して、「父母の

別居後にきょうだいと一緒に住んだか」を尋ねた。一緒に暮らしたとの回答は全体で 88.0% であり、圧倒的多数のケースで、きょうだいと同じ親と同居している。ただし、女性の方がその比率が少し高い（表 3.16）。

表 3.16 「同じ両親から生まれたきょうだいがいる」対象者について、父母の別居後にきょうだいと一緒に住んだか

			住んだ	住んでい ない		n
男性	年齢階級	18-19	94. 7%	5. 3%	100. 0%	38
		20-24	85. 3%	14. 7%	100. 0%	197
		25-29	88. 1%	11. 9%	100. 0%	385
		30-34	83. 5%	16. 5%	100. 0%	551
		35	79. 3%	20. 7%	100. 0%	140
	合計		85. 0%	15. 0%	100. 0%	1311
女性	年齢階級	18-19	91. 2%	8. 8%	100. 0%	217
		20-24	90. 8%	9. 2%	100. 0%	718
		25-29	89. 3%	10. 7%	100. 0%	1370
		30-34	87. 8%	12. 2%	100. 0%	1684
		35	88. 0%	12. 0%	100. 0%	359
	合計		89. 0%	11. 0%	100. 0%	4348
男女計			88. 0%	12. 0%	100. 0%	5659

さらに同じ両親から生まれたきょうだいがいる対象者に限定して、そのきょうだいとの現在の交流の有無を尋ねると、圧倒的多数の 86.2%が交流ありと回答している。ここでも、交流が続いているという回答が女性でやや高い（男性 80.7%、女性 87.9%）（表 3.17）。

表 3.17 「同じ両親から生まれたきょうだいがいる」対象者について、現在のきょうだいとの交流の有無

			ある	ない		n
男性	年齢階級	18-19	89.5%	10.5%	100.0%	38
		20-24	87.3%	12.7%	100.0%	197
		25-29	80.8%	19.2%	100.0%	385
		30-34	79.5%	20.5%	100.0%	551
		35	73.6%	26.4%	100.0%	140
	合計		80.7%	19.3%	100.0%	1311
女性	年齢階級	18-19	91.7%	8.3%	100.0%	217
		20-24	92.1%	7.9%	100.0%	718
		25-29	88.5%	11.5%	100.0%	1370
		30-34	86.1%	13.9%	100.0%	1684
		35	83.0%	17.0%	100.0%	359
	合計		87.9%	12.1%	100.0%	4348
男女計			86.2%	13.8%	100.0%	5659

別居親との交流

次に、対象者が親の別居を経験した後に、別居することになった親との交流経験について多角的に質問した。交流は年齢などによってその頻度や質が変化することが予想されるため、「もっとも頻度が多かった時期について」回答してもらった。まず、「泊まりがけで一緒に過ごす」ような交流がどれくらいの頻度で行われたかを尋ねた。「まったくしない」が全体の70.6%であり、その比率は、男性より女性の方が高く（男性65.0%、女性72.5%）、年長世代ほど高い。もっとも頻度が高いカテゴリー「週1回以上」は全体で3.0%というごく例外的な数字であるが、ここでも男性が相対的に高く（男性4.1%、女性2.6%）、年齢階級が上の世代ほど少ないという傾向がある。毎週末のお泊まりだけではむしろ頻度が少ない部類に入る欧米の基準からすると、泊まりがけの交流を定期的・日常的に行う交流パターンが希少な日本の状況とのギャップが非常に大きく見える（表3.18）。

表 3.18 （もっとも頻度が多かった時期について）泊りがけで一緒に過ごす

			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	11.0%	6.8%	8.2%	1.4%	8.2%	11.0%	53.4%	100.0%	73
		20-24	7.1%	4.4%	7.4%	8.8%	5.6%	8.0%	58.7%	100.0%	339
		25-29	3.2%	8.4%	6.5%	6.1%	5.3%	7.8%	62.6%	100.0%	618
		30-34	3.1%	5.7%	4.2%	5.6%	5.2%	7.1%	69.1%	100.0%	828
		35	3.5%	5.9%	5.4%	5.0%	3.0%	7.4%	69.8%	100.0%	202
	合計		4.1%	6.4%	5.7%	6.1%	5.2%	7.6%	65.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	5.2%	6.1%	5.8%	8.2%	2.1%	8.5%	64.0%	100.0%	328
		20-24	4.3%	3.9%	6.8%	6.1%	4.8%	6.0%	68.2%	100.0%	1073
		25-29	2.5%	4.7%	3.6%	5.4%	4.1%	7.4%	72.3%	100.0%	1916
		30-34	1.7%	3.0%	3.6%	5.3%	3.9%	7.5%	75.0%	100.0%	2265
		35	1.8%	2.8%	3.6%	4.4%	3.0%	7.1%	77.2%	100.0%	496
	合計		2.6%	3.8%	4.3%	5.5%	3.9%	7.2%	72.5%	100.0%	6078
男女計			3.0%	4.5%	4.6%	5.7%	4.3%	7.3%	70.6%	100.0%	8138

「宿泊は伴わず一緒に過ごす」という、いわば日帰りの交流方法についてはどうだろう。これについても、「まったくしない」が過半数（52.9%）を占めている（男性51.4%、女性53.4%）。「週1回以上」（5.2%）に「1ヶ月に1回」（9.5%）を加算しても15%に届かず、日常的な交流はやはり日帰り交流レベルでも希少であり、例外的な現象という段階に留まっていることがわかる。ただし、「週1回以上」という日常的な交流頻度のパターンは若い世代での微増傾向が読み取れる（表3.19）。

表 3.19 （もっとも頻度が多かった時期について）宿泊は伴わず一緒に過ごす

			週に1回以上	1か月に1回	2〜3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	11.0%	4.1%	11.0%	13.7%	4.1%	8.2%	47.9%	100.0%	73
		20-24	5.6%	8.3%	12.7%	10.9%	9.4%	8.0%	45.1%	100.0%	339
		25-29	3.9%	12.0%	10.8%	10.0%	4.9%	8.7%	49.7%	100.0%	618
		30-34	3.9%	9.3%	8.8%	6.6%	5.0%	11.4%	55.1%	100.0%	828
		35	5.4%	4.0%	13.4%	8.9%	3.5%	11.4%	53.5%	100.0%	202
	合計		4.6%	9.2%	10.6%	8.8%	5.5%	9.9%	51.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.0%	13.4%	11.9%	6.1%	4.0%	7.0%	50.6%	100.0%	328
		20-24	6.1%	9.3%	11.1%	8.9%	4.9%	8.9%	50.7%	100.0%	1073
		25-29	5.7%	10.3%	9.3%	7.6%	5.3%	10.1%	51.8%	100.0%	1916
		30-34	4.7%	9.2%	9.7%	7.3%	5.3%	8.9%	55.0%	100.0%	2265
		35	4.6%	7.1%	9.1%	8.7%	3.6%	7.5%	59.5%	100.0%	496
	合計		5.4%	9.6%	9.9%	7.7%	5.0%	9.0%	53.4%	100.0%	6078
男女計			5.2%	9.5%	10.1%	8.0%	5.1%	9.3%	52.9%	100.0%	8138

では、現代では広く普及したテキストメッセージのやりとりという、空間距離を超えて瞬時に連絡できる方法での交流はどうだろう。「電子メールやアプリでメッセージをやりとりする」方法での交流を「まったくしない」と回答したのが全体のほぼ半数（48.9%）である。男女差はほとんどない（男子 49.7%、女子 48.6%）。若い世代ほど「まったくしない」が少なく、頻度も高い傾向がある。と言っても、「週 1 回以上」という日常的なやり取りをしているケースは、全体で 11.3%であり、手軽なコミュニケーション・ツールを使っの日常交流実践さえも少数ケースに留まっていることがわかる（表 3.20）。

表 3.20 （もっとも頻度が多かった時期について）電子メールやアプリでメッセージをやり取りする

			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n	
男性	年齢階級	18-19	9.6%	6.8%	21.9%	9.6%	4.1%	8.2%	39.7%	100.0%	73	
		20-24	13.0%	13.9%	13.9%	8.8%	2.7%	7.7%	40.1%	100.0%	339	
		25-29	8.4%	12.5%	11.2%	7.9%	3.9%	7.0%	49.2%	100.0%	618	
		30-34	9.2%	9.2%	10.1%	6.3%	4.2%	8.8%	52.2%	100.0%	828	
		35	6.4%	5.9%	11.9%	5.4%	3.0%	6.4%	60.9%	100.0%	202	
	合計		9.3%	10.5%	11.7%	7.2%	3.7%	7.8%	49.7%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	11.6%	18.0%	9.1%	7.3%	4.0%	4.9%	45.1%	100.0%	328	
		20-24	15.3%	12.1%	12.5%	8.1%	3.1%	6.2%	42.7%	100.0%	1073	
		25-29	12.6%	11.4%	10.6%	7.3%	4.6%	8.1%	45.4%	100.0%	1916	
		30-34	10.7%	10.5%	9.0%	7.4%	3.0%	7.5%	51.9%	100.0%	2265	
		35	7.9%	9.1%	6.3%	7.1%	2.0%	6.9%	60.9%	100.0%	496	
	合計		11.9%	11.3%	9.9%	7.5%	3.5%	7.3%	48.6%	100.0%	6078	
男女計				11.3%	11.1%	10.3%	7.4%	3.6%	7.4%	48.9%	100.0%	8138

現代では、LINE アプリなど、通話できる手段が（電話だけでなく）多様に拡がっている。顔を見ながらのビデオ通話も広く使われている。しかし、これらを子ども時代に使えたかどうかは年齢層（親の離別経験時の対象者の年齢／時期）によって異なる。この調査では、「電話やアプリで会話する」頻度を尋ねた。全体では、「まったくしない」が 55.9%と過半数を

超えている。女性の方がまったくしていない比率が高いという男女差もある（男性 50.9%、女性 57.6%）。世代差／年齢差は明確ではない。通話というコミュニケーションに関しても、別居親子の交流は全体に低調であることがわかる（表 3.21）。

表 3.21 （もっとも頻度が多かった時期について）電話やアプリで会話する

			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	4.1%	13.7%	19.2%	5.5%	4.1%	5.5%	47.9%	100.0%	73
		20-24	10.3%	11.5%	12.1%	8.6%	4.1%	8.0%	45.4%	100.0%	339
		25-29	7.8%	15.4%	9.5%	6.5%	4.2%	6.8%	49.8%	100.0%	618
		30-34	7.5%	9.2%	8.5%	6.9%	3.9%	11.4%	52.8%	100.0%	828
		35	7.4%	7.4%	7.9%	8.4%	3.5%	8.9%	56.4%	100.0%	202
	合計		7.9%	11.4%	9.7%	7.1%	4.0%	9.0%	50.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.9%	14.0%	8.8%	5.5%	3.0%	2.4%	58.2%	100.0%	328
		20-24	10.0%	9.7%	10.8%	5.7%	3.1%	4.6%	56.2%	100.0%	1073
		25-29	9.6%	10.3%	8.1%	5.3%	3.9%	7.0%	55.8%	100.0%	1916
		30-34	7.3%	10.4%	7.9%	5.1%	2.7%	7.7%	58.9%	100.0%	2265
		35	8.9%	8.3%	5.6%	4.8%	3.2%	7.7%	61.5%	100.0%	496
	合計		8.7%	10.3%	8.4%	5.2%	3.2%	6.6%	57.6%	100.0%	6078
男女計			8.5%	10.5%	8.7%	5.7%	3.4%	7.2%	55.9%	100.0%	8138

別居親とその子どもの多面的な交流について、子ども（対象者）側からの回答によって浮かび上がってきたのは、およそ半数のケースにおいて、いかなる手段においてもコミュニケーションが断絶しているという現状である。しかも、社会の離婚後家族イメージの刷新とその支援制度整備が立ち後れた結果なのか、多様なコミュニケーション技術とスキルの一般化にもかかわらず、世代間の変化が微々たるものであることが今回の調査結果から浮き彫りになった。

第4章 別居親との関係評価、親の再婚、家計状況、父母間関係、家庭裁判所での経験

菊地真理
大阪産業大学

別居親の関わりについての評価（Q28）

調査対象者のうち Q27 の回答(1)～(4)ですべて「まったくしない」と回答した方を除く 4,956 名に対して、父母の別居後に一緒に暮らさなかった親について尋ねている。別居親と何らかの交流や関わりがあった回答者である。全体的に男女ともに 5-6 割が別居親に対して肯定的な回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」）となっている。

「私のことをよくわかっている」については、「あてはまる」が男性 17.4%、女性 17.7%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 35.4%、女性 29.6%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 27.1%、女性 26.2%、「あてはまらない」が男性 20.0%、女性 26.4%となっている。男性のほうが肯定的な回答がやや多い（表 4.1）。

表 4.1 私のことをよくわかっている

			あてはま る	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	14.0%	36.0%	30.0%	20.0%	100.0%	50
		20-24	22.6%	32.7%	25.7%	19.0%	100.0%	226
		25-29	15.6%	37.9%	27.1%	19.4%	100.0%	391
		30-34	16.4%	34.1%	27.9%	21.6%	100.0%	499
		35	19.6%	38.4%	25.0%	17.0%	100.0%	112
	合計		17.4%	35.4%	27.1%	20.0%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	16.7%	36.2%	24.8%	22.4%	100.0%	210
		20-24	18.6%	33.5%	23.7%	24.2%	100.0%	687
		25-29	20.0%	28.9%	26.8%	24.4%	100.0%	1202
		30-34	15.5%	28.4%	27.3%	28.8%	100.0%	1318
		35	17.2%	23.8%	26.1%	33.0%	100.0%	261
	合計		17.7%	29.6%	26.2%	26.4%	100.0%	3678
男女計			17.7%	31.1%	26.5%	24.8%	100.0%	4956

「私の話をきいてくれる」については、「あてはまる」が男性 21.4%、女性 25.4%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 39.3%、女性 35.3%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 24.2%、女性 19.2%、「あてはまらない」が男性 15.1%、女性 20.1%となっている。男女あわせて肯定的な回答が 6 割、否定的な回答（「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」）が 4 割となっており、男女に大きな違いは見られない（表 4.2）。

表 4.2 私の話をきいてくれる

			あてはま る	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	28.0%	36.0%	20.0%	16.0%	100.0%	50
		20-24	26.5%	37.2%	22.6%	13.7%	100.0%	226
		25-29	19.2%	40.9%	26.9%	13.0%	100.0%	391
		30-34	20.6%	37.9%	23.4%	18.0%	100.0%	499
		35	19.6%	45.5%	23.2%	11.6%	100.0%	112
	合計		21.4%	39.3%	24.2%	15.1%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	27.1%	35.2%	21.9%	15.7%	100.0%	210
		20-24	30.1%	34.9%	15.9%	19.1%	100.0%	687
		25-29	26.0%	35.7%	18.7%	19.6%	100.0%	1202
		30-34	23.2%	35.3%	20.3%	21.2%	100.0%	1318
		35	20.3%	34.1%	21.8%	23.8%	100.0%	261
	合計		25.4%	35.3%	19.2%	20.1%	100.0%	3678
男女計			24.4%	36.3%	20.5%	18.8%	100.0%	4956

「対象者に金銭的な援助をしてくれる」については、「あてはまる」が男性 21.4%、女性 24.5%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 30.4%、女性 27.0%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 23.6%、女性 19.8%、「あてはまらない」が男性 24.7%、女性 28.7%となっている。年齢階級別に回答の傾向をみると、男女ともに年齢階級が若くなるほど肯定的な回答の割合が増え、年齢階級があがるほど否定的な回答の割合が高くなっている（表 4.3）。

表 4.3 対象者に金銭的な援助をしてくれる

			あてはまる	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	20.0%	36.0%	24.0%	20.0%	100.0%	50
		20-24	28.3%	28.3%	18.6%	24.8%	100.0%	226
		25-29	21.7%	27.9%	23.3%	27.1%	100.0%	391
		30-34	18.4%	33.3%	25.3%	23.0%	100.0%	499
		35	19.6%	27.7%	26.8%	25.9%	100.0%	112
	合計		21.4%	30.4%	23.6%	24.7%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	39.0%	30.0%	16.7%	14.3%	100.0%	210
		20-24	29.1%	28.2%	18.9%	23.7%	100.0%	687
		25-29	24.5%	27.3%	19.9%	28.4%	100.0%	1202
		30-34	20.0%	26.6%	19.7%	33.6%	100.0%	1318
		35	23.4%	21.8%	24.5%	30.3%	100.0%	261
	合計		24.5%	27.0%	19.8%	28.7%	100.0%	3678
男女計			23.7%	27.9%	20.8%	27.7%	100.0%	4956

「対象者に助言やアドバイスをしてくれる」については、「あてはまる」が男性 18.8%、女性 18.5%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 33.4%、女性 29.4%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 28.0%、女性 24.7%、「あてはまらない」が男性 19.8%、女性 27.4%となっている。この質問に対する回答も、年齢階級別に傾向をみると、男女ともに年齢階級が若くなるほど肯定的な回答の割合が増え、年齢階級があがるほど否定的な回答の割合が高くなっている（表 52）。

表 4.4 対象者に助言やアドバイスをしてくれる

			あてはま る	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.0%	46.0%	24.0%	14.0%	100.0%	50
		20-24	26.1%	35.0%	21.7%	17.3%	100.0%	226
		25-29	17.1%	35.8%	27.9%	19.2%	100.0%	391
		30-34	17.0%	31.5%	30.5%	21.0%	100.0%	499
		35	18.8%	25.0%	32.1%	24.1%	100.0%	112
	合計		18.8%	33.4%	28.0%	19.8%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	24.3%	34.8%	21.9%	19.0%	100.0%	210
		20-24	22.6%	31.1%	23.0%	23.3%	100.0%	687
		25-29	20.6%	27.2%	24.9%	27.3%	100.0%	1202
		30-34	14.3%	30.6%	25.2%	29.9%	100.0%	1318
		35	14.6%	25.3%	27.6%	32.6%	100.0%	261
	合計		18.5%	29.4%	24.7%	27.4%	100.0%	3678
男女計			18.6%	30.5%	25.5%	25.4%	100.0%	4956

「一緒に楽しく時間を過ごすことができる」については、「あてはまる」が男性 25.6%、女性 26.4%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 36.6%、女性 34.3%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 20.4%、女性 18.4%、「あてはまらない」が男性 17.4%、女性 20.9%となっている。男女あわせて肯定的な回答が 6 割、否定的な回答が 4 割となっており、男女に大きな違いは見られない。また、年齢階級別に回答の傾向をみると、男女ともに年齢階級が若くなるほど肯定的な回答の割合が増え、年齢階級があがるほど否定的な回答の割合が高くなっている（表 4.5）。

表 4.5 一緒に楽しく時間を過ごすことができる

			あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはまらない	あてはまらない		n
男性	年齢階級	18-19	26.0%	42.0%	16.0%	16.0%	100.0%	50
		20-24	32.7%	33.6%	17.7%	15.9%	100.0%	226
		25-29	24.3%	38.9%	20.5%	16.4%	100.0%	391
		30-34	22.4%	37.3%	21.4%	18.8%	100.0%	499
		35	29.5%	29.5%	23.2%	17.9%	100.0%	112
	合計		25.6%	36.6%	20.4%	17.4%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	33.3%	31.0%	20.0%	15.7%	100.0%	210
		20-24	30.9%	34.4%	15.3%	19.5%	100.0%	687
		25-29	28.4%	33.6%	18.4%	19.6%	100.0%	1202
		30-34	22.7%	35.3%	18.9%	23.1%	100.0%	1318
		35	19.2%	34.9%	22.6%	23.4%	100.0%	261
	合計		26.4%	34.3%	18.4%	20.9%	100.0%	3678
男女計			26.2%	34.9%	18.9%	20.0%	100.0%	4956

別居親との交流についての評価 (Q29)

全調査対象者 8,138 名に対して、「一緒に暮らさなかった親との交流の有無や頻度等について、当時どのように感じていたか」を尋ねている。「特に感想はなかった」が最も多く、男性 43.0%、女性 40.6%と、男女ともに 4 割強となっている。「満足だった」が男性 18.1%、女性 20.4%、「もっと交流したかった」が男性 19.8%、女性 22.8%、「交流を少なくしたかった」が男性 8.0%、女性 11.7%、「交流したくなかった」が男性 11.1%、女性 11.7%となっている（表 4.6）。

Q27 の回答(1)～(4)ですべて「まったくしない」と回答した方を除く 4,956 名（父母の別居後に別居親と何らかの交流・関わりがあった方）に対して、「中学校卒業時、別居親と自由に連絡を取ることができたか」については、「あてはまる」が男性 30.6%、女性 40.1%、「どちらかと言えばあてはまる」男性 28.5%、女性 21.0%、「どちらかと言えばあてはまらない」が男性 14.9%、女性 10.9%、「あてはまらない」が男性 17.4%、女性 19.8%、「覚えていない」が男性 8.7%、女性 8.3%となっている。男女ともに「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」とする回答が 6 割にのぼる（表 4.7）。

表 4.6 一緒に暮らさなかった親との交流の有無や頻度等について、当時どのように感じていたか

			満足だった	もっと交流したかった	交流を少なくしたかった	交流しなかった	特に感想はなかった		n
男性	年齢階級	18-19	17. 8%	27. 4%	8. 2%	11. 0%	35. 6%	100. 0%	73
		20-24	23. 3%	20. 1%	9. 7%	12. 7%	34. 2%	100. 0%	339
		25-29	19. 1%	20. 2%	6. 3%	9. 5%	44. 8%	100. 0%	618
		30-34	15. 8%	19. 4%	8. 8%	11. 5%	44. 4%	100. 0%	828
		35	15. 8%	16. 3%	6. 9%	11. 9%	49. 0%	100. 0%	202
	合計		18. 1%	19. 8%	8. 0%	11. 1%	43. 0%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	23. 8%	21. 6%	4. 3%	10. 4%	39. 9%	100. 0%	328
		20-24	23. 8%	23. 7%	5. 1%	10. 0%	37. 5%	100. 0%	1073
		25-29	21. 3%	23. 4%	4. 4%	11. 7%	39. 1%	100. 0%	1916
		30-34	17. 8%	22. 3%	4. 6%	12. 4%	42. 9%	100. 0%	2265
		35	18. 8%	21. 8%	3. 4%	13. 1%	42. 9%	100. 0%	496
	合計		20. 4%	22. 8%	4. 5%	11. 7%	40. 6%	100. 0%	6078
男女計			19. 8%	22. 0%	5. 4%	11. 5%	41. 2%	100. 0%	8138

表 4.7 中学校卒業時、別居親と自由に連絡を取ることができたか

			あてはまる	どちらか と言え ばあては まる	どちらか と言え ばあては まらない	あてはま らない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	26.0%	32.0%	14.0%	14.0%	14.0%	100.0%	50
		20-24	32.7%	27.9%	14.2%	17.7%	7.5%	100.0%	226
		25-29	31.5%	29.9%	13.8%	14.8%	10.0%	100.0%	391
		30-34	28.9%	27.9%	16.0%	19.0%	8.2%	100.0%	499
		35	33.0%	25.9%	15.2%	19.6%	6.3%	100.0%	112
	合計		30.6%	28.5%	14.9%	17.4%	8.7%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	50.5%	18.1%	8.1%	14.8%	8.6%	100.0%	210
		20-24	44.4%	18.3%	12.4%	17.2%	7.7%	100.0%	687
		25-29	39.0%	19.3%	11.8%	20.9%	9.0%	100.0%	1202
		30-34	38.8%	23.2%	9.5%	20.3%	8.2%	100.0%	1318
		35	31.4%	26.8%	12.3%	23.0%	6.5%	100.0%	261
	合計		40.1%	21.0%	10.9%	19.8%	8.3%	100.0%	3678
男女計		37.6%	22.9%	11.9%	19.1%	8.4%	100.0%	4956	

別居親との交流についての同居親からの評価(Q30, 31)

全調査対象者 8,138 名に、両親の別居後に一番長く暮らしていた親（同居親）が、別居親と交流していることをどのように考えていたと感じていたかを尋ねている。「同居親は別居親との交流を大切なものと考えていたと思う」については、「あてはまる」が男性 12.4%、女性 13.1%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 25.4%、女性 21.1%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 23.6%、女性 20.7%、「あてはまらない」が男性 38.5%、女性 45.0%である（表 4.8）。

「別居親と会ったときのことを、同居親に話すことができた」については、「あてはまる」が男性 18.8%、女性 21.6%、「どちらかといえばあてはまる」が男性 25.2%、女性

20.5%、「どちらかといえばあてはまらない」が男性 18.2%、女性 14.9%、「あてはまらない」が男性 37.8%、女性 43.1%である（表 4.9）。

いずれの回答でも、男女ともに「あてはまらない」が最も多くなっている。これは、調査対象者のなかに別居親との交流がなかったケースも含まれているため、交流が無かったがゆえに「あてはまらない」と回答した可能性があることを留意する必要がある。

表 4.8 同居親は別居親との交流を大切なものと考えていたと思う

			あてはまる	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	30.1%	17.8%	35.6%	100.0%	73
		20-24	16.8%	26.8%	20.6%	35.7%	100.0%	339
		25-29	13.8%	25.7%	24.9%	35.6%	100.0%	618
		30-34	9.9%	24.3%	23.9%	41.9%	100.0%	828
		35	9.9%	25.2%	25.2%	39.6%	100.0%	202
	合計		12.4%	25.4%	23.6%	38.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	16.5%	25.6%	19.2%	38.7%	100.0%	328
		20-24	13.2%	23.9%	22.7%	40.2%	100.0%	1073
		25-29	14.5%	20.4%	21.3%	43.8%	100.0%	1916
		30-34	11.6%	20.6%	19.9%	47.9%	100.0%	2265
		35	12.1%	17.5%	19.0%	51.4%	100.0%	496
	合計		13.1%	21.1%	20.7%	45.0%	100.0%	6078
男女計			12.9%	22.2%	21.5%	43.4%	100.0%	8138

表 4.9 別居親と会ったときのことを、同居親に話すことができた

			あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはまらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	19. 2%	27. 4%	15. 1%	38. 4%	100. 0%	73
		20-24	24. 2%	24. 5%	19. 8%	31. 6%	100. 0%	339
		25-29	19. 4%	27. 7%	17. 5%	35. 4%	100. 0%	618
		30-34	16. 8%	23. 3%	18. 5%	41. 4%	100. 0%	828
		35	15. 8%	26. 2%	17. 3%	40. 6%	100. 0%	202
	合計		18. 8%	25. 2%	18. 2%	37. 8%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	26. 5%	18. 9%	16. 5%	38. 1%	100. 0%	328
		20-24	23. 6%	21. 8%	15. 5%	39. 1%	100. 0%	1073
		25-29	21. 8%	21. 2%	15. 3%	41. 7%	100. 0%	1916
		30-34	20. 6%	19. 5%	13. 7%	46. 2%	100. 0%	2265
		35	17. 3%	20. 0%	16. 1%	46. 6%	100. 0%	496
	合計		21. 6%	20. 5%	14. 9%	43. 1%	100. 0%	6078
男女計			20. 9%	21. 7%	15. 7%	41. 8%	100. 0%	8138

別居後の親の再婚（Q32）

両親の別居後に親が再婚したかどうかを尋ねたところ、父親の再婚については「再婚した」が男性 18.4%、女性 24.1%、「再婚していない」が男性 43.7%、女性 44.3%、「わからない」が男性 37.9%、女性 31.7%となっている。男女ともに、年齢階級があがるほど「再婚した」の回答が高くなる（表 4.10）。母親の再婚については、「再婚した」が男性 16.0%、女性 23.4%、「再婚していない」が男性 71.2%、女性 70.3%、「わからない」が男性 12.8%、女性 6.3%である。

表 4.10 と表 4.11 の回答を比べると、父親と母親が「再婚した」の割合は男女あわせて 2 割強と同程度であるものの、母親の場合は「再婚していない」の割合が 70.5%と高く、再婚したかどうかは「わからない」の割合が 8.0%と低くなっている（表 4.11）。

表 4.10 両親の別居後、父親が再婚したか

			再婚した	再婚して いない	わからな い		n
男性	年齢階級	18-19	6. 8%	42. 5%	50. 7%	100. 0%	73
		20-24	15. 6%	41. 0%	43. 4%	100. 0%	339
		25-29	18. 3%	44. 0%	37. 7%	100. 0%	618
		30-34	18. 6%	44. 7%	36. 7%	100. 0%	828
		35	27. 2%	43. 6%	29. 2%	100. 0%	202
	合計		18. 4%	43. 7%	37. 9%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	13. 4%	47. 3%	39. 3%	100. 0%	328
		20-24	20. 2%	43. 3%	36. 4%	100. 0%	1073
		25-29	24. 8%	43. 4%	31. 8%	100. 0%	1916
		30-34	26. 0%	44. 8%	29. 2%	100. 0%	2265
		35	27. 2%	45. 6%	27. 2%	100. 0%	496
	合計		24. 1%	44. 3%	31. 7%	100. 0%	6078
男女計			22. 6%	44. 1%	33. 2%	100. 0%	8138

表 4.11 両親の別居後、母親が再婚したか

			再婚した	再婚して いない	わからな い		n
男性	年齢階級	18-19	13. 7%	69. 9%	16. 4%	100. 0%	73
		20-24	13. 0%	69. 0%	18. 0%	100. 0%	339
		25-29	16. 7%	71. 2%	12. 1%	100. 0%	618
		30-34	16. 3%	72. 3%	11. 4%	100. 0%	828
		35	18. 8%	70. 3%	10. 9%	100. 0%	202
	合計		16. 0%	71. 2%	12. 8%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17. 4%	76. 2%	6. 4%	100. 0%	328
		20-24	20. 2%	73. 1%	6. 7%	100. 0%	1073
		25-29	22. 8%	70. 9%	6. 3%	100. 0%	1916
		30-34	25. 7%	68. 7%	5. 6%	100. 0%	2265
		35	26. 2%	64. 9%	8. 9%	100. 0%	496
	合計		23. 4%	70. 3%	6. 3%	100. 0%	6078
男女計			21. 6%	70. 5%	8. 0%	100. 0%	8138

別居後の家計状況 (Q33, 34)

親の別居後の子どもから見た家計状況を尋ねている。「別居した親から養育費は支払われていたか」については、「わからない・知らない」が男性 40.8%、女性 36.0%と男女ともにもっとも多い回答となっている。養育費の支払いについて把握している場合は、「まったく滞りなく支払われていた」が男性 16.0%、女性 15.4%、「あまり滞りなく支払われていた」が男性 11.7%、女性 9.2%、「あまり支払われなかった」が男性 8.9%、女性 9.0%、「まったく支払われなかった」が男性 22.7%、女性 30.4%となっている。男女ともに、年齢階級が若くなるほど支払われていたとする回答が多くなり、年齢階級があがるほど支払われていないとする回答が多くなる傾向が読み取れる（表 4.12）。

両親の別居後の暮らし向きについては、「大変ゆとりがあった」が男性 4.7%、女性 5.3%、「ややゆとりがあった」が男性 11.2%、女性 10.0%、「ふつう」が男性 37.7%、女性 34.8%、「やや苦しかった」が男性 26.0%、女性 28.5%、「大変苦しかった」が男性 20.4%、女性 21.3%であった。性別にかかわらず、両親の別居後の暮らし向きにゆとりを感じるようになったのは 1 割程度で、苦しくなったという回答が半数近くにのぼる（表 4.13）。

表 4.12 両親の別居以降、別居した親から養育費は支払われていたか

			まったく滞りなく支払われていた	あまり滞りなく支払われていた	あまり支払われなかった	まったく支払われなかった	わからない・知らない		n
男性	年齢階級	18-19	17. 8%	19. 2%	8. 2%	19. 2%	35. 6%	100. 0%	73
		20-24	25. 4%	10. 6%	10. 9%	20. 1%	33. 0%	100. 0%	339
		25-29	14. 2%	12. 6%	9. 1%	20. 9%	43. 2%	100. 0%	618
		30-34	13. 3%	10. 9%	8. 5%	25. 2%	42. 1%	100. 0%	828
		35	15. 8%	10. 9%	7. 4%	23. 3%	42. 6%	100. 0%	202
	合計		16. 0%	11. 7%	8. 9%	22. 7%	40. 8%	100. 0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21. 3%	15. 5%	12. 8%	19. 5%	30. 8%	100. 0%	328
		20-24	20. 2%	13. 7%	8. 4%	24. 6%	33. 1%	100. 0%	1073
		25-29	15. 2%	8. 9%	8. 8%	30. 9%	36. 2%	100. 0%	1916
		30-34	13. 2%	6. 3%	8. 9%	33. 8%	37. 9%	100. 0%	2265
		35	11. 7%	9. 5%	9. 5%	32. 5%	36. 9%	100. 0%	496
	合計		15. 4%	9. 2%	9. 0%	30. 4%	36. 0%	100. 0%	6078
男女計		15. 5%	9. 8%	9. 0%	28. 4%	37. 2%	100. 0%	8138	

表 4.13 両親の別居後の暮らし向きについて

			大変ゆとりがあった	ややゆとりがあった	ふつう	やや苦しかった	大変苦しかった		n
男性	年齢階級	18-19	6.8%	17.8%	38.4%	26.0%	11.0%	100.0%	73
		20-24	5.6%	13.9%	37.5%	25.1%	18.0%	100.0%	339
		25-29	4.0%	11.3%	39.5%	26.7%	18.4%	100.0%	618
		30-34	4.5%	10.5%	35.5%	26.7%	22.8%	100.0%	828
		35	5.0%	6.9%	41.1%	22.8%	24.3%	100.0%	202
	合計		4.7%	11.2%	37.7%	26.0%	20.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.0%	13.7%	37.8%	27.7%	13.7%	100.0%	328
		20-24	6.7%	11.8%	34.9%	28.8%	17.8%	100.0%	1073
		25-29	5.2%	10.9%	33.9%	28.8%	21.3%	100.0%	1916
		30-34	4.6%	8.1%	35.5%	28.8%	23.0%	100.0%	2265
		35	5.2%	8.9%	33.5%	26.0%	26.4%	100.0%	496
	合計		5.3%	10.0%	34.8%	28.5%	21.3%	100.0%	6078
男女計			5.2%	10.3%	35.5%	27.9%	21.1%	100.0%	8138

別居後の父母の関係 (Q35, 36)

全調査対象者 8,138 名に対して、親の別居後から 18 歳までの父母の関係について尋ねている。「別居親のところに行くと、同居親に申し訳ないと思った」については、「あてはまる」が男性 8.1%、女性 10.9%、「ややあてはまる」が男性 16.4%、女性 16.7%、「あまりあてはまらない」が男性 26.7%、女性 19.2%、「あてはまらない」が男性 48.9%、女性 53.1%となっている。「あてはまらない」「あまりあてはまらない」とする回答が男女ともに 7 割を超えるが、Q30,31 (表 4.8,4.9) と同様に実際には別居親と交流するという状況になかった人が「あてはまらない」と回答している可能性がある (表 4.14)。

続いて、「別居親が、同居親のことを悪く言うのを聞きたくないと思った」については、「あてはまる」が男性 19.3%、女性 25.6%、「ややあてはまる」が男性 23.6%、女性 21.1%、「あまりあてはまらない」が男性 21.2%、女性 16.0%、「あてはまらない」が男性 35.8%、女性 37.3%となっている (表 4.15)。反対に、「同居親が、別居親のことを悪く言う」と、嫌な気持ちになったについては、「あてはまる」が男性 18.3%、女性 21.8%、「ややあてはまる」が男性 25.4%、女性 21.9%、「あまりあてはまらない」が男性 21.7%、女性 18.3%、「あてはまらない」が男性 34.6%、女性 38.0%であった (表 4.16)。

「同居親の前では別居親のことに触れない方がよいと感じた」については、「あてはまる」が男性 27.1%、女性 33.8%、「ややあてはまる」が男性 27.3%、女性 22.6%、「あまりあてはまらない」が男性 18.4%、女性 15.1%、「あてはまらない」が男性 27.2%、女性 28.5%となっている (表 4.17)。

表 4.14 別居親のところに行くと、同居親に申し訳ないと思った

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	11.0%	15.1%	30.1%	43.8%	100.0%	73
		20-24	8.6%	16.8%	28.9%	45.7%	100.0%	339
		25-29	6.3%	15.7%	25.9%	52.1%	100.0%	618
		30-34	8.9%	16.4%	26.4%	48.2%	100.0%	828
		35	8.4%	17.8%	24.8%	49.0%	100.0%	202
	合計		8.1%	16.4%	26.7%	48.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.6%	17.7%	18.6%	56.1%	100.0%	328
		20-24	10.4%	15.3%	20.9%	53.4%	100.0%	1073
		25-29	11.1%	16.4%	20.2%	52.2%	100.0%	1916
		30-34	11.0%	18.1%	17.7%	53.2%	100.0%	2265
		35	13.1%	14.1%	19.8%	53.0%	100.0%	496
	合計		10.9%	16.7%	19.2%	53.1%	100.0%	6078
男女計		10.2%	16.6%	21.1%	52.0%	100.0%	8138	

表 4.15 別居親が、同居親のことを悪く言うのを聞きたくないと思った

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	31.5%	17.8%	34.2%	100.0%	73
		20-24	18.9%	24.2%	24.5%	32.4%	100.0%	339
		25-29	17.3%	23.1%	21.8%	37.7%	100.0%	618
		30-34	20.2%	22.9%	20.9%	36.0%	100.0%	828
		35	23.8%	24.3%	16.3%	35.6%	100.0%	202
	合計		19.3%	23.6%	21.2%	35.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	25.9%	24.1%	14.0%	36.0%	100.0%	328
		20-24	27.0%	21.1%	15.8%	36.2%	100.0%	1073
		25-29	24.1%	21.2%	17.7%	37.0%	100.0%	1916
		30-34	26.0%	20.5%	15.0%	38.5%	100.0%	2265
		35	26.6%	21.0%	15.3%	37.1%	100.0%	496
	合計		25.6%	21.1%	16.0%	37.3%	100.0%	6078
男女計			24.0%	21.7%	17.3%	37.0%	100.0%	8138

表 4.16 同居親が別居親のことを悪く言うと、嫌な気持ちになった

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	21.9%	28.8%	19.2%	30.1%	100.0%	73
		20-24	20.6%	27.7%	21.2%	30.4%	100.0%	339
		25-29	17.5%	26.4%	20.9%	35.3%	100.0%	618
		30-34	17.1%	24.2%	22.5%	36.2%	100.0%	828
		35	19.8%	22.3%	23.3%	34.7%	100.0%	202
	合計		18.3%	25.4%	21.7%	34.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21.6%	24.1%	14.9%	39.3%	100.0%	328
		20-24	21.9%	22.7%	17.9%	37.5%	100.0%	1073
		25-29	21.2%	22.1%	19.6%	37.1%	100.0%	1916
		30-34	22.2%	21.4%	17.9%	38.6%	100.0%	2265
		35	22.4%	20.6%	18.3%	38.7%	100.0%	496
	合計		21.8%	21.9%	18.3%	38.0%	100.0%	6078
男女計			20.9%	22.8%	19.2%	37.1%	100.0%	8138

表 4.17 同居親の前では別居親のことには触れない方がよいと感じた

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	30.1%	37.0%	11.0%	21.9%	100.0%	73
		20-24	29.2%	28.9%	17.7%	24.2%	100.0%	339
		25-29	24.3%	27.5%	19.6%	28.6%	100.0%	618
		30-34	27.5%	24.6%	18.8%	29.0%	100.0%	828
		35	29.2%	31.7%	16.8%	22.3%	100.0%	202
	合計		27.1%	27.3%	18.4%	27.2%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	28.4%	27.4%	12.8%	31.4%	100.0%	328
		20-24	33.5%	23.1%	14.5%	28.9%	100.0%	1073
		25-29	33.9%	23.2%	16.1%	26.8%	100.0%	1916
		30-34	34.8%	21.5%	14.7%	29.0%	100.0%	2265
		35	32.7%	21.6%	15.9%	29.8%	100.0%	496
	合計		33.8%	22.6%	15.1%	28.5%	100.0%	6078
男女計			32.1%	23.8%	15.9%	28.2%	100.0%	8138

家庭裁判所の関与と子どもの意見表明（Q37-41）

協議離婚制をとる日本では、協議離婚が9割であり離婚時に裁判所などの第三者機関が関わるケースは少ない。裁判所が関与する場合でも、家裁調査官によって子どもへの意見聴取が必ずおこなわれるとは限らない。本調査でも「離婚時に家庭裁判所の人に意見や希望、気持ちを聞かれることがあったか」を尋ねたところ、全調査対象者 8,138 名のうち「家庭裁判所調査官に聞かれた」のは男女あわせても 2.6%である。「誰かわからないが聞かれた」が 5.1%、一方、「聞かれなかった」が 60.9%、「覚えていない」が 31.4%となっている（表 4.18）。

次に、上記の「家庭裁判所の人に意見や希望、気持ちを聞かれることが合った」と回答した 213 名（男性 63 名、女性 150 名）に、「家庭裁判所の人、なぜ聞くのか、聞いた内

容がどうなるかなど説明があったか」を尋ねたところ、男女あわせて「説明を聞いてその意味がわかった」が46.9%、「説明を聞いたがよくわからなかった」が38.5%となっている（表4.19）。

「家庭裁判所の人に自分の意見・希望を伝えたか」では、男女あわせて「本心を伝えた」が53.1%、「伝えたが、本心ではなかった」が19.2%、「意見・希望はあったが、伝えていない」が12.7%、「意見・希望はなかった」が7.0%、「覚えていない」が8.0%となっている（表4.20）。さらに、この設問に対して「伝えたが、本心ではなかった」「意見・希望はあったが、伝えていない」と回答した68名（男性28名、女性40名）に、「それは、どちらかの親に対する配慮か」を尋ねたところ、男女ともに「父母双方に対する配慮」という回答がもっとも多いが（男性50.0%・女性42.5%）、どちらかの親のみに配慮したとする回答では、たとえば「父親に対する配慮」は男性32.1%・女性12.5%、「母親に対する配慮」は男性10.7%・女性32.5%となっており、それぞれ同性の親に対して配慮したとする回答が多くなっている。「親に配慮していない」も男女あわせて10.3%である（表4.21）。

また、表4.20（Q39）の「家庭裁判所の人に自分の意見・希望を伝えたか」に「本心を伝えた」「伝えたが、本心ではなかった」「意見・希望はあったが、伝えていない」と回答した181名（男性60名、女性121名）に、「家庭裁判所の人と話をした結果、あなたの意見や希望どおりになったか」を尋ねた設問には、男女あわせて「意見・希望どおりになった」が68.5%、「意見・希望どおりにはならず、親から説明があった」が20.4%、「意見・希望どおりにはならず、親からの説明もなかった」が11.0%となっている（表4.22）。

表 4.18 離婚時に家庭裁判所の人に意見や希望、気持ちを聞かれることがあったか

			家庭裁判 所調査官 に聞かれ た	誰かわか らないが 聞かれた	聞かれな かった	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	6.8%	5.5%	45.2%	42.5%	100.0%	73
		20-24	5.6%	9.1%	50.1%	35.1%	100.0%	339
		25-29	3.1%	7.9%	56.6%	32.4%	100.0%	618
		30-34	1.4%	6.9%	60.3%	31.4%	100.0%	828
		35	4.0%	5.9%	59.4%	30.7%	100.0%	202
	合計		3.1%	7.4%	56.9%	32.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	3.0%	5.2%	57.6%	34.1%	100.0%	328
		20-24	2.3%	6.3%	58.6%	32.7%	100.0%	1073
		25-29	2.1%	5.1%	61.2%	31.6%	100.0%	1916
		30-34	2.7%	2.8%	64.6%	29.8%	100.0%	2265
		35	2.6%	2.8%	65.9%	28.6%	100.0%	496
	合計		2.5%	4.3%	62.2%	31.0%	100.0%	6078
男女計			2.6%	5.1%	60.9%	31.4%	100.0%	8138

表 4.19 家庭裁判所の人は、なぜ聞くのか、聞いた内容がどうなるかなど説明があったか

			説明を聞いてその意味がわかった	説明を聞いたがよくわからなかった	説明はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19	40. 0%	60. 0%			100. 0%	5
		20-24	63. 2%	36. 8%			100. 0%	19
		25-29	52. 6%	26. 3%	10. 5%	10. 5%	100. 0%	19
		30-34	83. 3%	16. 7%			100. 0%	12
		35	50. 0%	37. 5%	12. 5%		100. 0%	8
	合計		60. 3%	31. 7%	4. 8%	3. 2%	100. 0%	63
女性	年齢階級	18-19	40. 0%	20. 0%	20. 0%	20. 0%	100. 0%	10
		20-24	52. 0%	36. 0%	12. 0%		100. 0%	25
		25-29	42. 5%	35. 0%	5. 0%	17. 5%	100. 0%	40
		30-34	35. 5%	50. 0%	6. 5%	8. 1%	100. 0%	62
		35	46. 2%	46. 2%		7. 7%	100. 0%	13
	合計		41. 3%	41. 3%	7. 3%	10. 0%	100. 0%	150
男女計			46. 9%	38. 5%	6. 6%	8. 0%	100. 0%	213

表 4.20 家庭裁判所の人に自分の意見・希望を伝えたか

			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19		100.0%				100.0%	5
		20-24	47.4%	42.1%	10.5%			100.0%	19
		25-29	36.8%	26.3%	21.1%	10.5%	5.3%	100.0%	19
		30-34	75.0%	16.7%	8.3%			100.0%	12
		35	87.5%		12.5%			100.0%	8
	合計		50.8%	31.7%	12.7%	3.2%	1.6%	100.0%	63
女性	年齢階級	18-19	50.0%	30.0%			20.0%	100.0%	10
		20-24	64.0%	8.0%	28.0%			100.0%	25
		25-29	50.0%	20.0%	2.5%	10.0%	17.5%	100.0%	40
		30-34	53.2%	9.7%	17.7%	9.7%	9.7%	100.0%	62
		35	53.8%	15.4%		23.1%	7.7%	100.0%	13
	合計		54.0%	14.0%	12.7%	8.7%	10.7%	100.0%	150
男女計			53.1%	19.2%	12.7%	7.0%	8.0%	100.0%	213

表 4.21 それはどちらかの親に対する配慮か

			父母の双方に対する配慮	父親に対する配慮	母親に対する配慮	親に配慮していない		n
男性	年齢階級	18-19	80.0%		20.0%		100.0%	5
		20-24	40.0%	50.0%	10.0%		100.0%	10
		25-29	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	100.0%	9
		30-34	66.7%	33.3%			100.0%	3
		35				100.0%	100.0%	1
	合計		50.0%	32.1%	10.7%	7.1%	100.0%	28
女性	年齢階級	18-19	66.7%		33.3%		100.0%	3
		20-24	22.2%	11.1%	55.6%	11.1%	100.0%	9
		25-29	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	100.0%	9
		30-34	58.8%	5.9%	17.6%	17.6%	100.0%	17
		35	50.0%		50.0%		100.0%	2
	合計		42.5%	12.5%	32.5%	12.5%	100.0%	40
男女計			45.6%	20.6%	23.5%	10.3%	100.0%	68

表 4.22 家庭裁判所の人と話をした結果、あなたの意見や希望どおりになったか

			意見・希望通りに なった	意見・希望通りには ならず、親から説明が あった	意見・希望通りには ならず、親からの説明 もなかった		n	
男性	年齢階級	18-19	60.0%		40.0%	100.0%	5	
		20-24	52.6%	42.1%	5.3%	100.0%	19	
		25-29	75.0%	12.5%	12.5%	100.0%	16	
		30-34	83.3%	8.3%	8.3%	100.0%	12	
		35	87.5%	12.5%		100.0%	8	
	合計		70.0%	20.0%	10.0%	100.0%	60	
女性	年齢階級	18-19	87.5%	12.5%		100.0%	8	
		20-24	60.0%	32.0%	8.0%	100.0%	25	
		25-29	65.5%	17.2%	17.2%	100.0%	29	
		30-34	66.0%	22.0%	12.0%	100.0%	50	
		35	88.9%		11.1%	100.0%	9	
	合計		67.8%	20.7%	11.6%	100.0%	121	
男女計				68.5%	20.4%	11.0%	100.0%	181

第5章 姓の変更、自尊感情、別居前の父母間関係

永井暁子
日本女子大学

姓（名字）の変更について

両親の別居後に姓（名字）を変更したのは男性 24.4%、女性 30.0%であり、全体では 28.6%となっている。離婚後の姓（名字）について父親または母親から説明があったかという質問に対し、「説明があった」とする回答者 23.3%、「説明はなかった」は 42.9%、「覚えていない」は 33.8%であった。女性回答者の中では年齢による差は見られないが、男性の中では 18-19 歳の回答者は、「説明があった」15.1%、「説明はなかった」32.9%と割合は低く、「覚えていない」は 52.1%と高かった。

離婚後の姓（名字）について父親または母親に意見・希望を伝えたかという質問に対し、「本心を伝えた」とする回答者は 15.4%、「伝えたが、本心ではなかった」2.9%、「意見・希望はあったが、伝えていない」7.3%、「意見・希望はなかった」が最も多く 45.1%、「覚えていない」29.3%であった（表 5.1）。男性回答者の中で年齢による違いは見られなかったが、女性の中では「本心を伝えた」「伝えたが、本心ではなかった」「意見・希望はあったが、伝えていない」と回答した者のうち、「意見・希望通りになった」回答者は、男性で 56.9%、女性 66.2%であり、「意見・希望通りにはならず、親から説明があった」男性 28.9%、女性 23.1%、「意見・希望通りにはならず、親からの説明もなかった」男性 14.3%、13.0%であった（表 5.2）。姓（名字）について意見や希望があり、それを覚えていた回答者は 25.6%にとどまっていたが、それらの中では、「意見・希望通りになった」回答者の割合は全体で 63.6%であり、女性回答者の方が男性回答者よりも「意見・希望通りになった」割合が高い。

表 5.1 性・年齢階級別 父母の離婚後の姓（名字）について、父親又は母親に意見・希望を伝えたか

			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19	12.3%	6.8%	11.0%	27.4%	42.5%	100.0%	73
		20-24	18.0%	5.0%	6.5%	41.6%	28.9%	100.0%	339
		25-29	14.7%	4.9%	9.4%	41.7%	29.3%	100.0%	618
		30-34	13.6%	4.7%	8.5%	45.5%	27.7%	100.0%	828
		35	14.4%	3.5%	11.4%	47.0%	23.8%	100.0%	202
	合計		14.7%	4.8%	8.8%	43.3%	28.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.4%	3.0%	7.9%	40.9%	30.8%	100.0%	328
		20-24	16.3%	4.1%	6.6%	43.6%	29.4%	100.0%	1073
		25-29	15.0%	2.4%	6.6%	45.5%	30.5%	100.0%	1916
		30-34	15.1%	1.2%	6.6%	47.9%	29.1%	100.0%	2265
		35	17.7%	1.4%	8.3%	44.0%	28.6%	100.0%	496
	合計		15.6%	2.2%	6.8%	45.7%	29.6%	100.0%	6078
男女計		15.4%	2.9%	7.3%	45.1%	29.3%	100.0%	8138	

表 5.2 性・年齢階級別 父母の離婚後の姓について、対象者の意見、希望通りになったか

			意見・希望通りに なった	意見・希望通りには ならず、親から説明が あった	意見・希望通りには ならず、親からの説明 もなかった		n
男性	年齢階級	18-19	59.1%	27.3%	13.6%	100.0%	22
		20-24	62.0%	28.0%	10.0%	100.0%	100
		25-29	56.4%	26.3%	17.3%	100.0%	179
		30-34	55.4%	28.8%	15.8%	100.0%	222
		35	54.2%	39.0%	6.8%	100.0%	59
	合計		56.9%	28.9%	14.3%	100.0%	582
女性	年齢階級	18-19	60.2%	25.8%	14.0%	100.0%	93
		20-24	66.6%	23.1%	10.3%	100.0%	290
		25-29	65.7%	20.7%	13.7%	100.0%	460
		30-34	66.4%	20.7%	12.9%	100.0%	521
		35	70.6%	13.2%	16.2%	100.0%	136
	合計		66.2%	20.8%	13.0%	100.0%	1500
男女計			63.6%	23.1%	13.4%	100.0%	2082

親の別居後に姓（名字）を変更した者のうち、「変わったことに嬉しさを感じた」と回答した者は男性 10.0%、女性 7.8%、「変わったことに違和感を感じた」は男性 22.3%、女性 15.6%、「今までの自分が失われてしまったような感じを持った」男性 4.4%、女性 4.0%、「変更を周りに知られることに抵抗を感じた」男性 11.4%、女性 16.3%、「何も感じなかった」男性 52.0%、女性 56.4%となっている。年齢に着目すると、「何も感じなかった」割合が低いのは 18-19 歳男性 26.6%、20-24 歳男性 45.6%と女性 39.8%であり、若い年齢層ほど、嬉しさを感じたり違和感を感じている傾向がうかがえる。

親の離婚後の両親との関わりについて

「親の離婚後、両親がどのようにかかわってくれたか」という問いに対して、「衣食住の面倒をみてくれた」のは、父親 16.7%、母親 72.2%であり、「生活費や学費など金銭的に支えてくれた」父親 33.2%、母親 60.0%、「相談にのってくれた」父親 15.3%、母親 51.1%、「心の支えになってくれた」父親 11.8%、母親 47.8%、「どれにもあてはまらない」父親 57.9%、母親 16.5%である。男女別にみると、父親が「相談にのってくれた」割合は男性回答者で 19.7%、女性回答者では 13.9%であり男性回答者の方が高く、母親が「相談にのってくれた」割合は男性回答者で 46.8%、女性回答者では 52.5%であり女性回答者の方が高い。「2 対象者世帯の構成の変化」で示されているように、離婚直後の同居は母親との同居が圧倒的に多く全体の 78.2%を占めている。親の離婚後に父親と別居し母親と同居した回答者が多いため、母親との関わりが多い回答者が多いが、相談における男女別の回答の傾向から、同性の親による相談の必要性が推測される。

あなた自身について

自尊感情を測定する項目である「自分には長所があると感じている」の質問に対して、「そう思う」と回答した者は 26.2%、「どちらかというと思う」34.3%、「どちらかというと思うわない」21.2%、「そう思わない」18.2%である。同じく自尊感情を測定する項目であり、逆転項目である「時々、自分は役に立たないと強く感じることもある」に対しては、「そう思う」31.9%、「どちらかというと思う」33.9%、「どちらかというと思うわない」20.9%、「そう思わない」13.3%である。

「小学校・中学校の時に、欠席が最も多かった学年について、その 1 学年間で学校を休んだ日数の合計」について、「30 日未満」74.2%、「30 日以上 90 日未満」11.4%、「90 日以上 180 日未満」5.9%、「180 日以上 240 日未満」2.5%、「240 日以上」6.0%であった。

別居前の両親の関係について

両親が別居する前に、回答者が暮らしていた家庭での様子について5つの側面から質問している。「(父親が母親に、または母親が父親に) 暴力をふるったり、ものを壊したりする」については、「あてはまる」22.8%、「あてはまらない」49.5%、「答えたくない」6.8%、「覚えていない」20.9%である。「(父親が母親に、または母親が父親に) 暴言をはいたり、どなったりする」については、「あてはまる」32.8%、「あてはまらない」40.0%、「答えたくない」6.5%、「覚えていない」20.8%である。「(父親が母親に、または母親が父親に) 生活費を渡さなかったり、お金を取り上げたりする」については、「あてはまる」17.3%、「あてはまらない」49.9%、「答えたくない」4.8%、「覚えていない」28.0%、「(父親が母親に、または母親が父親に) 性的な暴力や嫌がらせをする」については、「あてはまる」5.2%、「あてはまらない」63.5%、「答えたくない」5.0%、「覚えていない」26.2%、「(両親の間に) 会話がなかった」については、「あてはまる」27.2%、「あてはまらない」33.9%、「答えたくない」5.0%、「覚えていない」33.9%であった。

「両親に不仲な様子はなかった」については、「あてはまる」13.3%、「あてはまらない」48.1%、「答えたくない」5.5%、「覚えていない」33.1%であり、何らかの不仲な様子にあったと回答者が感じているのは半数近くを占め、「答えたくない」を含めると半数を超える。

最後に、インタビュー調査への協力の意思への問いには、男性48.7%、女性45.6%が「協力してもいい」と回答し、18-19歳で男性56.2%、女性48.8%と、男女ともに年生が若いほうが協力意向がある者の占める割合がやや高くなっている。

集計表一覧

表1 対象者の住都道府県

回答者性別		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
男性	年齢カテゴリー 18-19	5.5%	1.4%	1.4%	2.7%		1.4%		2.7%	1.4%	1.4%
	20-24	5.3%	0.6%	1.2%	2.4%	0.3%	2.1%	1.8%	2.1%	1.2%	1.5%
	25-29	5.7%	0.3%	0.8%	1.6%	0.8%	1.1%	1.3%	1.8%	2.8%	1.1%
	30-34	5.1%	0.7%	0.4%	2.4%	0.6%	0.7%	1.6%	1.9%	1.4%	1.0%
	35	6.4%	1.5%	0.5%	4.5%	2.5%	0.5%	1.0%	1.0%	1.5%	2.0%
	合計	5.4%	0.7%	0.7%	2.4%	0.8%	1.1%	1.4%	1.8%	1.8%	1.2%
女性	年齢カテゴリー 18-19	5.8%	1.5%	2.1%	2.7%	0.6%	0.6%	1.2%	1.5%	2.4%	1.8%
	20-24	5.7%	1.1%	0.8%	2.1%	0.7%	0.8%	1.3%	1.9%	1.6%	1.3%
	25-29	5.4%	0.8%	0.8%	2.3%	0.8%	0.7%	0.9%	1.4%	1.5%	1.7%
	30-34	5.1%	0.9%	1.0%	1.8%	0.5%	0.8%	1.2%	1.2%	1.8%	1.5%
	35	5.8%	0.4%	0.6%	2.8%	0.8%	0.6%	0.4%	1.4%	0.4%	1.0%
	合計	5.4%	0.9%	0.9%	2.2%	0.7%	0.7%	1.1%	1.4%	1.6%	1.5%
男女計		5.4%	0.8%	0.9%	2.2%	0.7%	0.8%	1.2%	1.5%	1.6%	1.4%
		埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
男性	年齢カテゴリー 18-19	9.6%	5.5%	12.3%	8.2%	2.7%					1.4%
	20-24	6.8%	3.5%	11.5%	8.0%	2.7%	0.3%	0.6%	0.3%	1.8%	1.5%
	25-29	5.0%	4.4%	12.6%	5.2%	1.8%	0.6%	1.1%	0.8%	0.2%	1.1%
	30-34	5.0%	4.3%	11.1%	8.0%	1.2%	1.0%	0.8%	0.8%	0.5%	1.3%
	35	9.4%	5.0%	9.4%	4.0%	2.5%	0.5%	0.5%		1.0%	1.5%
	合計	5.9%	4.3%	11.5%	6.7%	1.8%	0.7%	0.8%	0.6%	0.6%	1.3%
女性	年齢カテゴリー 18-19	5.8%	4.6%	8.5%	5.2%	0.9%	0.6%	0.3%	0.6%	0.6%	1.5%
	20-24	4.6%	5.2%	11.4%	6.2%	1.4%	0.7%	1.2%	0.5%	0.8%	1.9%
	25-29	5.7%	3.9%	10.7%	5.3%	1.8%	1.0%	1.0%	0.4%	0.6%	1.5%
	30-34	5.0%	4.4%	10.7%	6.8%	1.6%	0.6%	0.7%	0.5%	0.5%	1.0%
	35	4.8%	3.8%	12.5%	8.3%	1.6%	0.8%	1.0%	0.8%	1.0%	0.8%
	合計	5.2%	4.3%	10.9%	6.3%	1.6%	0.8%	0.9%	0.5%	0.6%	1.3%
男女計		5.4%	4.3%	11.0%	6.4%	1.6%	0.7%	0.9%	0.5%	0.6%	1.3%
		岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
男性	年齢カテゴリー 18-19	4.1%	4.1%	6.8%	1.4%		1.4%	8.2%	2.7%		
	20-24	0.9%	2.9%	5.9%	2.4%	0.9%	1.2%	7.4%	2.9%	0.3%	1.2%
	25-29	1.3%	2.3%	7.1%	1.6%	2.3%	2.4%	8.3%	5.0%	0.6%	0.8%
	30-34	1.4%	2.4%	6.9%	1.1%	1.0%	3.1%	8.6%	4.5%	1.0%	1.0%
	35	2.5%	2.0%	4.0%	1.0%	2.0%	2.0%	9.9%	2.5%	1.5%	0.5%
	合計	1.5%	2.5%	6.5%	1.5%	1.4%	2.4%	8.4%	4.1%	0.8%	0.9%
女性	年齢カテゴリー 18-19	0.9%	2.7%	7.0%	1.5%	0.6%	1.5%	7.3%	4.0%	0.9%	1.2%
	20-24	1.1%	2.3%	6.5%	1.5%	0.4%	2.1%	8.4%	4.8%	0.9%	0.7%
	25-29	1.3%	2.0%	7.0%	1.3%	1.1%	2.0%	9.7%	4.3%	1.1%	0.5%
	30-34	1.3%	2.6%	7.4%	1.5%	0.8%	2.2%	9.8%	4.7%	1.1%	0.9%
	35	1.6%	2.4%	6.9%	0.6%	1.2%	2.8%	9.1%	5.0%	0.8%	1.2%
	合計	1.3%	2.4%	7.1%	1.3%	0.8%	2.1%	9.3%	4.6%	1.1%	0.8%
男女計		1.3%	2.4%	6.9%	1.4%	1.0%	2.2%	9.1%	4.5%	1.0%	0.8%
		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
男性	年齢カテゴリー 18-19	1.4%			1.4%		1.4%	1.4%			2.7%
	20-24	0.6%	1.5%	2.1%	2.9%	1.2%	0.9%	0.9%	1.5%	0.3%	1.5%
	25-29	0.6%	0.6%	1.6%	1.9%	0.8%	0.3%	0.8%	0.8%	0.6%	4.0%
	30-34	0.2%	0.5%	1.4%	3.0%	1.1%	0.7%	1.0%	1.0%	0.4%	4.0%
	35		1.0%	1.5%	4.0%	1.0%		1.0%	0.5%	1.0%	4.0%
	合計	0.4%	0.7%	1.6%	2.7%	1.0%	0.6%	0.9%	0.9%	0.5%	3.5%
女性	年齢カテゴリー 18-19	0.3%	0.3%	1.5%	0.6%	0.9%	0.3%		2.7%	0.9%	5.2%
	20-24	0.8%	0.3%	1.7%	1.9%	1.7%	0.8%	0.8%	0.9%	0.6%	4.7%
	25-29	0.4%	0.6%	2.5%	2.0%	0.7%	0.6%	0.6%	1.4%	0.8%	5.4%
	30-34	0.4%	0.4%	1.9%	2.9%	0.8%	0.3%	1.1%	0.9%	0.3%	5.2%
	35	0.2%		1.2%	1.8%	1.4%	1.0%	0.8%	1.4%	0.8%	3.8%
	合計	0.4%	0.4%	2.0%	2.2%	1.0%	0.5%	0.8%	1.2%	0.6%	5.1%
男女計		0.4%	0.5%	1.9%	2.3%	1.0%	0.6%	0.8%	1.1%	0.5%	4.7%
		佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		n	
男性	年齢カテゴリー 18-19						2.7%	2.7%	100.0%	73	
	20-24	2.4%	0.6%	0.6%	0.3%	0.3%	1.2%	0.3%	100.0%	339	
	25-29	0.6%	0.8%	1.1%	0.8%	0.5%	1.0%	1.0%	100.0%	618	
	30-34	0.4%	0.7%	0.8%	0.6%	0.8%	0.8%	1.7%	100.0%	828	
	35	0.5%	0.5%	1.0%		0.5%	1.0%		100.0%	202	
	合計	0.8%	0.7%	0.9%	0.5%	0.6%	1.0%	1.1%	100.0%	2060	
女性	年齢カテゴリー 18-19	0.6%	0.9%	1.8%	1.2%	0.6%	1.8%	3.4%	100.0%	328	
	20-24	0.3%	0.5%	1.4%	0.7%	1.1%	0.9%	0.9%	100.0%	1073	
	25-29	0.8%	0.7%	1.2%	1.0%	0.8%	1.1%	0.7%	100.0%	1916	
	30-34	0.3%	1.1%	1.4%	0.8%	0.8%	1.1%	1.0%	100.0%	2265	
	35	1.0%	1.0%	0.8%	0.6%	0.2%	0.8%	1.6%	100.0%	496	
	合計	0.5%	0.8%	1.3%	0.8%	0.8%	1.1%	1.1%	100.0%	6078	
男女計		0.6%	0.8%	1.2%	0.8%	0.7%	1.1%	1.1%	100.0%	8138	

表2 対象者の居住地域

			北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方		n
男性	年齢階級	18-19	5.5%	6.8%	41.1%	20.5%	12.3%	2.7%	2.7%	8.2%	100.0%	73
		20-24	5.3%	8.3%	34.5%	19.2%	13.9%	8.3%	3.5%	7.1%	100.0%	339
		25-29	5.7%	6.0%	32.8%	18.0%	19.4%	5.7%	2.6%	9.9%	100.0%	618
		30-34	5.1%	6.4%	32.7%	17.5%	19.1%	6.3%	3.0%	9.9%	100.0%	828
		35	6.4%	10.4%	32.2%	15.3%	18.3%	7.4%	2.5%	7.4%	100.0%	202
	合計	5.4%	7.0%	33.3%	17.8%	18.0%	6.4%	2.9%	9.1%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	5.8%	8.8%	29.9%	16.8%	15.5%	3.7%	4.0%	15.5%	100.0%	328
		20-24	5.7%	6.9%	32.2%	17.9%	17.3%	6.3%	3.2%	10.5%	100.0%	1073
		25-29	5.4%	6.5%	30.3%	17.7%	18.8%	6.2%	3.4%	11.7%	100.0%	1916
		30-34	5.1%	6.1%	31.3%	17.7%	19.3%	6.4%	2.5%	11.6%	100.0%	2265
		35	5.8%	5.6%	32.3%	17.5%	20.2%	4.6%	4.0%	9.9%	100.0%	496
	合計	5.4%	6.5%	31.1%	17.7%	18.7%	6.0%	3.1%	11.5%	100.0%	6078	
男女計		5.4%	6.6%	31.7%	17.7%	18.5%	6.1%	3.0%	10.9%	100.0%	8138	

表3 対象者の結婚歴

性別			結婚状況			
			未婚	既婚	n	
男性	年齢階級	18-19	98.6%	1.4%	100.0%	73
		20-24	94.7%	5.3%	100.0%	339
		25-29	73.1%	26.9%	100.0%	618
		30-34	57.5%	42.5%	100.0%	828
		35	51.5%	48.5%	100.0%	202
	合計		69.2%	30.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	98.2%	1.8%	100.0%	328
		20-24	84.7%	15.3%	100.0%	1073
		25-29	59.7%	40.3%	100.0%	1916
		30-34	46.3%	53.7%	100.0%	2265
		35	45.0%	55.0%	100.0%	496
	合計		60.0%	40.0%	100.0%	6078
男女計		62.3%	37.7%	100.0%	8138	

表4 対象者の子どもの有無

就業者の労働時間			なし	あり	n	
男性	年齢階級	18-19	95.9%	4.1%	100.0%	73
		20-24	94.7%	5.3%	100.0%	339
		25-29	83.0%	17.0%	100.0%	618
		30-34	67.0%	33.0%	100.0%	828
		35	61.4%	38.6%	100.0%	202
	合計		76.8%	23.2%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	96.6%	3.4%	100.0%	328
		20-24	87.0%	13.0%	100.0%	1073
		25-29	68.5%	31.5%	100.0%	1916
		30-34	56.4%	43.6%	100.0%	2265
		35	52.0%	48.0%	100.0%	496
	合計		67.4%	32.6%	100.0%	6078
男女計		69.8%	30.2%	100.0%	8138	

表5 対象者の世帯年収(万円)

		-199	200-399	400-599	600-799	800-999	1000-1199	1200-1499	1500-1999	2000-	わからない		n
男性	年齢階級	18-19	10.3%	11.8%	11.8%	2.9%	7.4%	1.5%	1.5%		52.9%	100.0%	68
		20-24	18.9%	21.8%	14.4%	6.7%	4.5%	1.9%	1.9%	0.6%	27.2%	100.0%	312
		25-29	8.7%	28.4%	26.9%	11.1%	5.1%	2.9%	0.9%	1.2%	14.3%	100.0%	587
		30-34	9.7%	19.5%	31.0%	13.5%	8.4%	4.5%	1.5%	1.1%	9.6%	100.0%	783
		35	10.2%	19.9%	26.9%	19.4%	8.6%	4.3%	2.2%	2.2%	6.5%	100.0%	186
	合計		11.0%	22.4%	26.0%	11.9%	6.8%	3.5%	1.4%	1.3%	15.1%	100.0%	1936
女性	年齢階級	18-19	16.3%	12.1%	4.6%	3.2%	2.5%	1.4%	0.7%	0.7%	58.5%	100.0%	282
		20-24	18.7%	24.7%	10.4%	5.8%	3.0%	1.6%	0.8%	0.4%	33.7%	100.0%	927
		25-29	9.3%	29.7%	20.5%	11.9%	5.1%	1.7%	0.7%	0.3%	20.5%	100.0%	1672
		30-34	9.3%	24.1%	24.2%	14.1%	7.0%	2.6%	1.1%	0.7%	16.7%	100.0%	1990
		35	13.6%	25.7%	24.5%	10.9%	3.9%	1.6%	1.8%	0.7%	16.8%	100.0%	440
	合計		11.7%	25.5%	19.6%	11.1%	5.2%	2.0%	0.9%	0.5%	23.1%	100.0%	5311
男女計			11.5%	24.6%	21.3%	11.3%	5.6%	2.4%	1.1%	0.7%	21.0%	100.0%	7247

表6 対象者の個人年収

		-199	200-399	400-599	600-799	800-999	1000-1199	1200-1499	1500-1999	2000-	わからない		n
男性	年齢階級	18-19	40.3%	3.0%		1.5%			1.5%		53.7%	100.0%	67
		20-24	42.6%	24.4%	8.7%	2.2%	1.9%	0.3%	1.3%	0.3%	18.3%	100.0%	312
		25-29	21.6%	41.4%	25.9%	2.7%	0.7%	0.5%	0.2%		7.0%	100.0%	587
		30-34	16.8%	28.5%	36.9%	7.9%	2.0%	0.6%	0.5%	0.4%	5.7%	100.0%	786
		35	17.8%	25.9%	33.0%	15.7%	1.1%	1.1%	0.5%		4.9%	100.0%	185
	合計		23.3%	30.6%	27.4%	5.9%	1.5%	0.5%	0.4%	0.4%	9.7%	100.0%	1937
女性	年齢階級	18-19	50.2%	5.0%	1.1%						43.8%	100.0%	281
		20-24	49.4%	23.4%	2.4%	0.4%	0.5%	0.1%		0.1%	23.6%	100.0%	934
		25-29	35.7%	40.5%	9.5%	0.6%	0.2%		0.1%		13.3%	100.0%	1676
		30-34	41.7%	33.1%	11.0%	1.7%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%	11.6%	100.0%	1990
		35	46.6%	31.7%	8.2%	2.1%	0.5%	0.5%			10.5%	100.0%	438
	合計		42.0%	32.1%	8.3%	1.1%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	15.8%	100.0%	5319
男女計			37.0%	31.7%	13.4%	2.4%	0.8%	0.2%	0.1%	0.1%	14.2%	100.0%	7256

表7 対象者の職業

		公務員	経営者・役員	会社員 (事務系)	会社員 (技術系)	会社員 (その他)	自営業	自由業	専業主婦 (主夫)	パート・ アルバイト	学生	その他	無職		n
男性	年齢階級	18-19			2.7%	1.4%	1.4%			4.1%	79.5%	1.4%	9.6%	100.0%	73
		20-24	2.7%	1.8%	6.8%	13.6%	9.1%	0.9%	1.2%	0.3%	13.6%	36.6%	3.5%	10.0%	339
		25-29	6.8%	1.0%	11.2%	22.8%	26.7%	1.8%	1.6%	0.5%	12.3%	2.8%	4.7%	7.9%	618
		30-34	8.8%	1.4%	11.1%	26.6%	25.1%	2.8%	2.2%	1.3%	8.9%	0.7%	4.0%	7.0%	828
		35	11.4%	0.5%	10.9%	23.3%	23.8%	5.4%	1.5%		10.9%	0.5%	6.4%	5.4%	202
	合計		7.1%	1.2%	10.0%	22.1%	22.0%	2.4%	1.7%	0.7%	10.7%	10.0%	4.3%	7.7%	2060
女性	年齢階級	18-19	0.6%	0.3%	0.6%	0.6%	1.8%	0.3%		0.9%	4.3%	84.5%	1.2%	4.9%	328
		20-24	2.1%	0.2%	10.3%	6.5%	11.8%	0.4%	0.8%	6.4%	17.5%	34.9%	2.8%	6.2%	1073
		25-29	3.9%	0.1%	16.3%	8.5%	21.0%	0.9%	1.7%	14.7%	21.8%	1.7%	3.1%	6.2%	1916
		30-34	3.6%	0.4%	16.9%	6.7%	17.0%	1.4%	1.4%	19.4%	24.9%	0.2%	2.9%	5.3%	2265
		35	2.2%	0.2%	15.9%	5.2%	12.9%	2.2%	2.4%	18.3%	30.0%	0.4%	3.4%	6.7%	496
	合計		3.2%	0.2%	14.6%	6.8%	16.2%	1.1%	1.4%	14.6%	21.9%	11.4%	2.9%	5.8%	6078
男女計			4.2%	0.5%	13.4%	10.7%	17.6%	1.4%	1.5%	11.1%	19.1%	11.0%	3.3%	6.3%	8138

表8 対象者(学生)の学生種別

		小学生	中学生	高校生・ 高専生	専門学校 生	短大生	大学生	大学院生	その他学 生		n
男性	年齢階級	18-19		3.4%	55.2%	15.5%	1.7%	20.7%	3.4%	100.0%	58
		20-24		0.8%	7.3%	7.3%	2.4%	78.2%	4.0%	100.0%	124
		25-29			5.9%			58.8%	29.4%	100.0%	17
		30-34		16.7%	33.3%			33.3%	16.7%	100.0%	6
		35						100.0%		100.0%	1
	合計			1.9%	19.9%	10.2%	1.9%	59.2%	5.3%	100.0%	206
女性	年齢階級	18-19		0.7%	60.6%	11.9%	2.5%	23.8%	0.4%	100.0%	277
		20-24	0.3%	0.3%	6.1%	15.2%	2.7%	73.0%	1.3%	100.0%	374
		25-29			12.1%			72.7%	12.1%	100.0%	33
		30-34			25.0%	25.0%		25.0%	25.0%	100.0%	4
		35			50.0%				50.0%	100.0%	2
	合計		0.1%	0.4%	28.0%	13.8%	2.5%	52.6%	1.4%	100.0%	690
男女計			0.1%	0.8%	26.1%	12.9%	2.3%	54.1%	2.3%	100.0%	896

表9 対象者の割付セル

		男性18-24	男性25-29	男性30-35	女性18-24	女性25-29	女性30-35		n
男性	年齢階級	18-19						100.0%	73
		20-24						100.0%	339
		25-29	100.0%					100.0%	618
		30-34		100.0%				100.0%	828
		35		100.0%				100.0%	202
	合計	20.0%	30.0%	50.0%				100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19			100.0%			100.0%	328
		20-24			100.0%			100.0%	1073
		25-29				100.0%		100.0%	1916
		30-34					100.0%	100.0%	2265
		35					100.0%	100.0%	496
	合計				23.1%	31.5%	45.4%	100.0%	6078
男女計		5.1%	7.6%	12.7%	17.2%	23.5%	33.9%	100.0%	8138

表10 対象者の最終学歴

表10 対象者の最終学歴			高等学校 (中学校 卒業後に 通う専修 学校・各 種学校を 含む)		短大	高専	高校卒業 後に通う 2・3年制 の専修 (専門)・各 種学校	高校卒業 後に通う4 年制の専 修(専門)学校	大学	大学院	その他 (具体的 に: 【FA】)		n
男性	年齢階級	18-19	4.1%	52.1%	1.4%	2.7%	15.1%	5.5%	19.2%			100.0%	73
		20-24	5.9%	29.2%	3.5%	2.7%	8.3%	3.2%	44.8%	2.4%		100.0%	339
		25-29	5.2%	33.3%	1.3%	2.9%	10.4%	2.1%	41.6%	2.4%	0.8%	100.0%	618
		30-34	5.9%	31.5%	1.9%	1.4%	8.6%	2.9%	41.9%	4.8%	1.0%	100.0%	828
		35	5.4%	38.1%	2.5%	4.0%	10.4%		34.2%	5.0%	0.5%	100.0%	202
	合計		5.6%	33.1%	2.0%	2.4%	9.5%	2.5%	40.7%	3.5%	0.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	4.3%	54.9%	1.5%	3.4%	10.1%	1.2%	24.1%		0.6%	100.0%	328
		20-24	6.1%	33.3%	5.1%	2.0%	14.2%	1.8%	35.9%	0.6%	1.2%	100.0%	1073
		25-29	5.2%	35.7%	5.7%	2.0%	16.9%	1.9%	30.3%	1.5%	0.7%	100.0%	1916
		30-34	5.9%	36.1%	6.8%	1.5%	16.1%	1.7%	29.7%	1.4%	0.9%	100.0%	2265
		35	8.3%	37.3%	8.5%	1.6%	16.5%	0.8%	24.8%	1.2%	1.0%	100.0%	496
	合計		5.8%	36.6%	6.0%	1.9%	15.7%	1.7%	30.3%	1.2%	0.9%	100.0%	6078
男女計			5.8%	35.7%	5.0%	2.0%	14.1%	1.9%	32.9%	1.8%	0.8%	100.0%	8138

表11 対象者の最終学歴の卒業の有無

表 11 対象者の最終学歴の卒業の有無							
			卒業した	退学した	在学中		n
男性	年齢階級	18-19	42.9%	5.7%	51.4%	100.0%	70
		20-24	67.4%	6.3%	26.3%	100.0%	319
		25-29	89.9%	7.3%	2.7%	100.0%	586
		30-34	92.7%	6.4%	0.9%	100.0%	779
		35	91.6%	7.9%	0.5%	100.0%	191
	合計		85.8%	6.8%	7.4%	100.0%	1945
女性	年齢階級	18-19	53.2%	4.8%	42.0%	100.0%	314
		20-24	66.6%	7.5%	25.9%	100.0%	1008
		25-29	92.8%	6.2%	1.0%	100.0%	1816
		30-34	92.2%	7.5%	0.3%	100.0%	2132
		35	89.0%	10.5%	0.4%	100.0%	455
	合計		85.5%	7.2%	7.3%	100.0%	5725
男女計			85.6%	7.1%	7.4%	100.0%	7670

表12 対象者の仕事の有無

			仕事をして いる (休業、 休職中を 含みま す。学生 のアルバ イトは除 きます)	仕事をし ていない (仕事を さがして いる)	仕事をし ていない (仕事を さがして いない、 または、 学生であ る)		n
男性	年齢階級	18-19	17.8%	20.5%	61.6%	100.0%	73
		20-24	59.3%	11.8%	28.9%	100.0%	339
		25-29	87.4%	6.0%	6.6%	100.0%	618
		30-34	88.4%	5.2%	6.4%	100.0%	828
		35	90.1%	5.4%	4.5%	100.0%	202
	合計		81.0%	7.1%	11.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	14.9%	13.1%	72.0%	100.0%	328
		20-24	56.6%	10.4%	33.0%	100.0%	1073
		25-29	77.7%	9.4%	12.9%	100.0%	1916
		30-34	77.3%	6.8%	15.9%	100.0%	2265
		35	75.6%	8.9%	15.5%	100.0%	496
	合計		70.3%	8.8%	21.0%	100.0%	6078
男女計			73.0%	8.3%	18.7%	100.0%	8138

表13 「仕事をしている」対象者の勤め先での呼称

表13 「仕事をしている」対象者の勤め先での呼称			正規の職員・従業員	パート	アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	n		
男性	年齢階級	18-19	30.8%	7.7%	53.8%			7.7%	100.0%	13	
		20-24	68.2%	6.0%	16.9%	3.0%	3.0%	3.0%	100.0%	201	
		25-29	74.3%	6.7%	7.4%	3.5%	4.3%	3.9%	100.0%	540	
		30-34	81.0%	4.1%	5.5%	2.0%	3.8%	3.6%	100.0%	732	
		35	76.9%	4.4%	9.3%	1.6%	2.7%	4.9%	100.0%	182	
	合計		76.4%	5.2%	8.3%	2.6%	3.7%	3.8%	100.0%	1668	
女性	年齢階級	18-19	28.6%	10.2%	46.9%	8.2%	4.1%	2.0%	100.0%	49	
		20-24	53.5%	14.8%	20.1%	4.0%	4.9%	2.6%	100.0%	607	
		25-29	58.6%	20.4%	9.3%	4.9%	4.1%	2.7%	100.0%	1488	
		30-34	51.6%	26.8%	7.4%	4.5%	5.9%	3.8%	100.0%	1751	
		35	40.0%	37.3%	3.7%	6.1%	6.1%	6.7%	100.0%	375	
	合計		53.0%	23.6%	10.0%	4.8%	5.1%	3.5%	100.0%	4270	
男女計				59.6%	18.4%	9.5%	4.1%	4.7%	3.6%	100.0%	5938

表14 対象者の婚姻状況

表 14		対象者の婚姻状況							
		未婚	配偶者あり	死別	離別				n
男性	年齢階級	18-19	94.5%	1.4%		4.1%	100.0%		73
		20-24	92.6%	6.2%	0.6%	0.6%	100.0%		339
		25-29	69.4%	28.3%	0.5%	1.8%	100.0%		618
		30-34	53.9%	43.2%		2.9%	100.0%		828
		35	42.6%	53.0%		4.5%	100.0%		202
	合計		65.2%	32.1%	0.2%	2.4%	100.0%		2060
女性	年齢階級	18-19	95.4%	2.7%	0.3%	1.5%	100.0%		328
		20-24	80.5%	17.8%	0.1%	1.6%	100.0%		1073
		25-29	51.7%	44.0%	0.2%	4.2%	100.0%		1916
		30-34	38.7%	55.5%	0.4%	5.3%	100.0%		2265
		35	36.9%	56.0%	0.2%	6.9%	100.0%		496
	合計		53.1%	42.4%	0.3%	4.2%	100.0%		6078
男女計		56.2%	39.8%	0.3%	3.8%	100.0%		8138	

表15 「未婚」の対象者の結婚に対する考え方

表15 「未婚」の対家者の結婚に対する考え方						
			いずれ結婚するつもり	一生結婚するつもりはない		n
男性	年齢階級	18-19	75.4%	24.6%	100.0%	69
		20-24	72.0%	28.0%	100.0%	314
		25-29	68.5%	31.5%	100.0%	429
		30-34	63.2%	36.8%	100.0%	446
		35	47.7%	52.3%	100.0%	86
	合計		66.6%	33.4%	100.0%	1344
女性	年齢階級	18-19	75.1%	24.9%	100.0%	313
		20-24	78.9%	21.1%	100.0%	864
		25-29	73.7%	26.3%	100.0%	990
		30-34	60.5%	39.5%	100.0%	876
		35	51.9%	48.1%	100.0%	183
	合計		70.4%	29.6%	100.0%	3226
男女計			69.3%	30.7%	100.0%	4570

表16 「死別」または「離別」の対象者の再婚に対する考え方

表1-6 「死別」または「離別」の対家者の再婚に対する考え方						
			いずれ再婚するつもり	一生再婚するつもりはない		n
男性	年齢階級	18-19	33.3%	66.7%	100.0%	3
		20-24	50.0%	50.0%	100.0%	4
		25-29	50.0%	50.0%	100.0%	14
		30-34	62.5%	37.5%	100.0%	24
		35	66.7%	33.3%	100.0%	9
	合計		57.4%	42.6%	100.0%	54
女性	年齢階級	18-19		100.0%	100.0%	6
		20-24	55.6%	44.4%	100.0%	18
		25-29	62.7%	37.3%	100.0%	83
		30-34	61.1%	38.9%	100.0%	131
		35	51.4%	48.6%	100.0%	35
	合計		58.6%	41.4%	100.0%	273
男女計			58.4%	41.6%	100.0%	327

表17 対象者の子どもの有無

表 17 対象者の子どもの有無			いる	いない		n
男性	年齢階級	18-19	2.7%	97.3%	100.0%	73
		20-24	7.1%	92.9%	100.0%	339
		25-29	19.6%	80.4%	100.0%	618
		30-34	35.1%	64.9%	100.0%	828
		35	44.6%	55.4%	100.0%	202
	合計		25.6%	74.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	4.3%	95.7%	100.0%	328
		20-24	15.1%	84.9%	100.0%	1073
		25-29	35.0%	65.0%	100.0%	1916
		30-34	46.7%	53.3%	100.0%	2265
		35	50.8%	49.2%	100.0%	496
	合計		35.5%	64.5%	100.0%	6078
男女計			33.0%	67.0%	100.0%	8138

表18 子どもが「いない」対象者の子どもを持つことへの希望

		子どもは いない	子どもを 欲しい	わからな い		n	
男性	年齢階級	18-19	25.4%	53.5%	21.1%	100.0%	71
		20-24	24.8%	45.7%	29.5%	100.0%	315
		25-29	28.4%	43.1%	28.6%	100.0%	497
		30-34	27.2%	43.8%	29.1%	100.0%	537
		35	42.9%	33.0%	24.1%	100.0%	112
	合計		28.1%	43.6%	28.3%	100.0%	1532
女性	年齢階級	18-19	26.8%	47.5%	25.8%	100.0%	314
		20-24	23.7%	51.4%	24.9%	100.0%	911
		25-29	28.4%	48.8%	22.7%	100.0%	1245
		30-34	34.3%	41.2%	24.5%	100.0%	1208
		35	40.2%	34.8%	25.0%	100.0%	244
	合計		29.7%	46.1%	24.2%	100.0%	3922
男女計			29.3%	45.4%	25.3%	100.0%	5454

表19 対象者の同居人数

		Q10S1 [N]	2	3	4	5	6	7	8	9	11	13
男性	年齢階級	18-19	12.3%	19.2%	23.3%	31.5%	9.6%	1.4%	1.4%	1.4%		
		20-24	33.0%	23.0%	24.5%	11.8%	5.6%	1.2%	0.6%			
		25-29	34.0%	29.9%	17.5%	13.9%	3.2%	0.3%	0.3%			
		30-34	30.9%	27.3%	21.3%	15.1%	4.0%	0.8%	0.4%			
		35	23.3%	30.7%	21.3%	15.3%	5.9%	3.5%				
	合計		30.8%	27.4%	20.7%	14.8%	4.4%	1.0%	0.4%	0.0%		
女性	年齢階級	18-19	11.0%	23.2%	31.7%	19.8%	9.8%	2.1%	1.2%		0.3%	0.3%
		20-24	24.0%	31.1%	24.2%	12.6%	5.6%	1.9%	0.4%	0.1%	0.1%	
		25-29	23.5%	33.7%	24.5%	11.3%	4.8%	1.5%	0.5%	0.2%	0.1%	
		30-34	21.6%	30.8%	23.5%	16.2%	5.9%	1.5%	0.2%	0.3%		0.0%
		35	19.8%	29.0%	20.0%	20.4%	7.1%	2.8%	0.6%	0.2%		0.0%
	合計		21.9%	31.2%	24.1%	14.5%	5.8%	1.7%	0.4%	0.2%	0.1%	0.0%
男女計			24.1%	30.3%	23.2%	14.6%	5.5%	1.5%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%
		17	21	25	27	33	39	50	395	1500		n
男性	年齢階級	18-19									100.0%	73
		20-24					0.3%				100.0%	339
		25-29		0.3%		0.2%		0.2%		0.2%	100.0%	618
		30-34		0.1%					0.1%		100.0%	828
		35									100.0%	202
	合計			0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	0.3%			0.3%					100.0%	328
		20-24									100.0%	1073
		25-29				0.1%					100.0%	1916
		30-34									100.0%	2265
		35				0.2%					100.0%	496
	合計		0.0%			0.0%					100.0%	6078
男女計			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	8138

表20 父母の別居時の状況について覚えているか

		文母の介護時の状況について答えているか				
		はい	いいえ	n		
男性	年齢階級	18-19	58.9%	41.1%	100.0%	73
		20-24	69.0%	31.0%	100.0%	339
		25-29	67.2%	32.8%	100.0%	618
		30-34	70.0%	30.0%	100.0%	828
		35	76.7%	23.3%	100.0%	202
	合計		69.3%	30.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	78.4%	21.6%	100.0%	328
		20-24	74.6%	25.4%	100.0%	1073
		25-29	73.0%	27.0%	100.0%	1916
		30-34	76.4%	23.6%	100.0%	2265
		35	77.2%	22.8%	100.0%	496
	合計		75.2%	24.8%	100.0%	6078
男女計			73.7%	26.3%	100.0%	8138

表21 父母が別居をする時に誰から別居後の生活について説明を受けたか

		父母両方から説明を受けた	母親から説明を受けたが父親からは受けなかった	父親から説明を受けたが母親からは受けなかった	どちらからも説明を受けなかった	覚えていない		n	
男性	年齢階級	18-19	12.3%	34.2%	5.5%	16.4%	31.5%	100.0%	73
		20-24	22.7%	33.0%	4.1%	21.8%	18.3%	100.0%	339
		25-29	20.9%	33.2%	6.0%	18.1%	21.8%	100.0%	618
		30-34	20.8%	34.5%	4.1%	22.0%	18.6%	100.0%	828
		35	21.3%	36.1%	2.5%	27.2%	12.9%	100.0%	202
		合計	20.9%	34.0%	4.6%	21.1%	19.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	18.6%	33.8%	3.7%	20.1%	23.8%	100.0%	328
		20-24	17.8%	36.2%	3.5%	24.8%	17.7%	100.0%	1073
		25-29	14.1%	37.8%	4.3%	24.3%	19.5%	100.0%	1916
		30-34	14.9%	37.5%	3.8%	26.0%	17.8%	100.0%	2265
		35	13.7%	38.1%	7.3%	22.6%	18.3%	100.0%	496
		合計	15.3%	37.2%	4.2%	24.6%	18.7%	100.0%	6078
男女計			16.7%	36.4%	4.3%	23.8%	18.9%	100.0%	8138

表22 「説明を受けた」対象者のうち、その説明は十分に理解できるものだったか

		そう思う	ややそう 思う	あまりそ う思わ ない	そう思わ ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級 18-19	36.8%	34.2%	15.8%	13.2%		100.0%	38
	20-24	31.0%	37.4%	16.3%	8.4%	6.9%	100.0%	203
	25-29	30.2%	40.7%	17.8%	7.0%	4.3%	100.0%	371
	30-34	26.0%	39.2%	22.4%	7.7%	4.7%	100.0%	492
	35	27.3%	45.5%	16.5%	8.3%	2.5%	100.0%	121
	合計	28.6%	39.8%	19.2%	7.8%	4.6%	100.0%	1225
女性	年齢階級 18-19	36.4%	40.8%	13.6%	6.0%	3.3%	100.0%	184
	20-24	32.7%	36.1%	18.6%	8.9%	3.6%	100.0%	617
	25-29	27.9%	38.3%	20.8%	9.0%	4.0%	100.0%	1077
	30-34	27.7%	39.4%	19.9%	9.0%	3.9%	100.0%	1273
	35	28.7%	36.5%	18.8%	10.9%	5.1%	100.0%	293
	合計	29.2%	38.3%	19.5%	9.0%	3.9%	100.0%	3444
男女計		29.1%	38.7%	19.4%	8.7%	4.1%	100.0%	4669

表23 父母別居時の対象者の年齢

			【N】歳	わからない		n
男性	年齢階級	18-19	50.7%	49.3%	100.0%	73
		20-24	62.2%	37.8%	100.0%	339
		25-29	67.5%	32.5%	100.0%	618
		30-34	70.7%	29.3%	100.0%	828
		35	75.7%	24.3%	100.0%	202
	合計		68.1%	31.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	71.0%	29.0%	100.0%	328
		20-24	74.3%	25.7%	100.0%	1073
		25-29	75.6%	24.4%	100.0%	1916
		30-34	76.3%	23.7%	100.0%	2265
		35	79.2%	20.8%	100.0%	496
	合計		75.7%	24.3%	100.0%	6078
男女計		73.8%	26.2%	100.0%	8138	

表24 父母別居時の対象者の年齢

表24 父母別居時の対家者の年齢			0	1	2	3	4	5	6	7	8
男性	年齢階級	18-19	8.1%		2.7%	8.1%		10.8%	8.1%	8.1%	8.1%
		20-24	2.8%	3.3%	3.3%	4.3%	4.7%	7.1%	5.7%	3.8%	4.7%
		25-29	2.9%	2.6%	3.4%	4.1%	3.8%	8.2%	6.5%	8.4%	6.5%
		30-34	2.1%	2.2%	3.1%	4.6%	2.6%	7.5%	5.8%	5.5%	5.6%
		35	3.3%	1.3%	2.6%	2.6%	3.9%	4.6%	3.3%	3.3%	4.6%
	合計		2.7%	2.4%	3.1%	4.3%	3.3%	7.4%	5.8%	5.9%	5.7%
女性	年齢階級	18-19	1.7%	5.2%	4.3%	4.7%	4.7%	6.9%	9.0%	3.9%	8.6%
		20-24	4.4%	2.4%	7.0%	7.7%	4.9%	5.9%	7.0%	5.8%	5.6%
		25-29	2.7%	3.1%	4.8%	8.4%	4.4%	8.6%	6.6%	6.1%	5.5%
		30-34	3.1%	2.6%	4.4%	7.6%	4.0%	5.6%	6.2%	5.2%	4.9%
		35	2.8%	3.3%	3.6%	7.9%	4.3%	4.8%	6.4%	5.3%	4.6%
	合計		3.1%	2.9%	4.9%	7.7%	4.4%	6.6%	6.7%	5.5%	5.4%
男女計		3.0%	2.8%	4.5%	6.9%	4.1%	6.8%	6.4%	5.6%	5.4%	
			9	10	11	12	13	14	15		n
男性	年齢階級	18-19		10.8%	5.4%	5.4%	8.1%	5.4%	10.8%	100.0%	37
		20-24	3.8%	11.8%	6.6%	10.9%	8.5%	8.1%	10.4%	100.0%	211
		25-29	3.4%	10.3%	3.4%	8.9%	5.5%	9.4%	12.9%	100.0%	417
		30-34	3.4%	11.6%	4.3%	9.2%	7.4%	11.5%	13.7%	100.0%	585
		35	6.5%	8.5%	6.5%	10.5%	8.5%	11.1%	19.0%	100.0%	153
	合計		3.7%	10.9%	4.6%	9.4%	7.1%	10.1%	13.5%	100.0%	1403
女性	年齢階級	18-19	8.2%	8.6%	4.7%	10.3%	3.4%	4.7%	11.2%	100.0%	233
		20-24	6.1%	9.2%	4.4%	7.8%	4.6%	6.1%	11.0%	100.0%	797
		25-29	5.0%	9.6%	4.8%	6.6%	5.2%	7.2%	11.3%	100.0%	1449
		30-34	5.1%	9.7%	4.6%	8.7%	6.7%	9.7%	11.7%	100.0%	1729
		35	4.8%	9.2%	3.3%	9.9%	6.1%	10.7%	13.0%	100.0%	393
	合計		5.4%	9.5%	4.5%	8.1%	5.6%	8.2%	11.5%	100.0%	4601
男女計		5.0%	9.8%	4.5%	8.4%	6.0%	8.6%	12.0%	100.0%	6004	

表25 父母の別居後、別居親との交流についての取り決めの有無

表25 父母の別居後、別居親との交流についての取り決めの有無							n
			取り決め があった	取り決め はなかつ た	わから ない		
男性	年齢階級	18-19	8.2%	56.2%	35.6%	100.0%	73
		20-24	18.9%	48.4%	32.7%	100.0%	339
		25-29	16.7%	47.4%	35.9%	100.0%	618
		30-34	13.4%	57.1%	29.5%	100.0%	828
		35	16.3%	61.9%	21.8%	100.0%	202
	合計		15.4%	53.2%	31.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21.6%	46.0%	32.3%	100.0%	328
		20-24	19.0%	54.1%	26.9%	100.0%	1073
		25-29	15.7%	55.0%	29.3%	100.0%	1916
		30-34	12.7%	57.5%	29.8%	100.0%	2265
		35	13.9%	56.5%	29.6%	100.0%	496
	合計		15.3%	55.4%	29.3%	100.0%	6078
男女計		15.3%	54.8%	29.8%	100.0%	8138	

表26 父母別居後、別居親との取り決めについて対象者の希望・意見を伝えたか

表26		文母別居後、別居親との取り決めのについて対象者の希望・意見を伝えたか							
			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19	15.1%	13.7%	12.3%	21.9%	37.0%	100.0%	73
		20-24	15.9%	9.1%	12.4%	35.1%	27.4%	100.0%	339
		25-29	18.0%	9.2%	13.9%	32.2%	26.7%	100.0%	618
		30-34	16.3%	7.6%	15.7%	34.7%	25.7%	100.0%	828
		35	15.8%	5.9%	13.9%	45.5%	18.8%	100.0%	202
	合計		16.7%	8.4%	14.3%	34.6%	26.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.7%	5.5%	15.2%	33.5%	28.0%	100.0%	328
		20-24	18.3%	4.8%	15.6%	37.3%	24.0%	100.0%	1073
		25-29	16.0%	3.7%	16.3%	36.4%	27.6%	100.0%	1916
		30-34	15.4%	3.9%	15.9%	38.5%	26.2%	100.0%	2265
		35	16.9%	4.2%	16.7%	35.1%	27.0%	100.0%	496
	合計		16.4%	4.1%	16.0%	37.1%	26.4%	100.0%	6078
男女計		16.4%	5.2%	15.6%	36.4%	26.3%	100.0%	8138	

表27 父母の別居後、取り決めの内容は対象者の意見・希望通りになったか

		意見・希望通りになかった					n
		意見・希望通りになかった	意見・希望通りにはならず、親から説明があった	意見・希望通りにはならず、親からの説明もなかった			
男性	年齢階級	18-19	50.0%	40.0%	10.0%	100.0%	30
		20-24	38.6%	40.9%	20.5%	100.0%	127
		25-29	42.5%	35.0%	22.4%	100.0%	254
		30-34	41.8%	36.0%	22.3%	100.0%	328
		35	47.2%	31.9%	20.8%	100.0%	72
	合計	42.3%	36.3%	21.5%	100.0%	811	
女性	年齢階級	18-19	45.2%	33.3%	21.4%	100.0%	126
		20-24	48.9%	28.9%	22.2%	100.0%	415
		25-29	44.9%	27.8%	27.2%	100.0%	690
		30-34	45.7%	21.5%	32.8%	100.0%	799
		35	44.7%	26.1%	29.3%	100.0%	188
	合計	45.9%	25.9%	28.1%	100.0%	2218	
男女計		45.0%	28.7%	26.3%	100.0%	3029	

表28 父母の別居後、対象者がどちらの親と一緒に住むかについて、意見・希望を伝えたか

表28		父母の別居歴、対家者がどちらの親と一階に住むかについて、意見・希望を伝えたか							
		本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない	n		
男性	年齢階級	18-19	21.9%	9.6%	13.7%	19.2%	35.6%	100.0%	73
		20-24	23.3%	9.1%	9.4%	32.2%	26.0%	100.0%	339
		25-29	22.7%	7.9%	11.8%	31.1%	26.5%	100.0%	618
		30-34	20.8%	6.9%	11.7%	34.5%	26.1%	100.0%	828
		35	25.7%	6.9%	10.9%	38.6%	17.8%	100.0%	202
	合計		22.3%	7.7%	11.4%	33.0%	25.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	25.6%	4.6%	11.3%	31.4%	27.1%	100.0%	328
		20-24	23.9%	6.2%	9.3%	36.8%	23.9%	100.0%	1073
		25-29	22.6%	3.9%	11.8%	35.4%	26.3%	100.0%	1916
		30-34	24.5%	4.2%	11.7%	36.3%	23.3%	100.0%	2265
		35	26.0%	4.0%	11.9%	31.7%	26.4%	100.0%	496
	合計		24.0%	4.5%	11.3%	35.5%	24.8%	100.0%	6078
男女計			23.5%	5.3%	11.3%	34.8%	25.0%	100.0%	8138

表29 父母の別居後、対象者がどちらの親と一緒に住むかについて、意見・希望通りになったか

表29		父母の別居後、対家畜がどちらの親と一緒に住むかについて、意見・希望通りになったか					
		意見・希望通りに なった	意見・希望 通りには ならず、親か ら説明が あった	意見・希望 通りには ならず、親か らの説明 もなかった		n	
男性	年齢階級	18-19	60.6%	24.2%	15.2%	100.0%	33
		20-24	60.6%	27.5%	12.0%	100.0%	142
		25-29	59.2%	26.7%	14.1%	100.0%	262
		30-34	55.5%	27.3%	17.2%	100.0%	326
		35	67.0%	20.5%	12.5%	100.0%	88
	合計	58.9%	26.3%	14.8%	100.0%	851	
女性	年齢階級	18-19	67.6%	16.2%	16.2%	100.0%	136
		20-24	67.1%	19.4%	13.5%	100.0%	422
		25-29	63.8%	18.6%	17.6%	100.0%	735
		30-34	68.2%	14.2%	17.6%	100.0%	915
		35	67.8%	19.2%	13.0%	100.0%	208
	合計	66.6%	17.0%	16.4%	100.0%	2416	
男女計		64.6%	19.4%	16.0%	100.0%	3267	

表30 父母の離婚・別居時における、対象者の両親以外の相談相手の有無

			相談した が、適切 な人がい なかった	相談でき る人はい たが、自 分で抱え 込んだ	人に言い たくな かった	相談した いことは なかった	その他 (具体的 に： 【FA】)		n
男性	年齢階級	18-19	8.2%	5.5%	13.7%	49.3%	4.1%	100.0%	73
		20-24	9.4%	11.5%	5.6%	52.8%	2.1%	100.0%	339
		25-29	7.1%	10.4%	6.3%	56.1%	2.8%	100.0%	618
		30-34	6.5%	10.7%	5.9%	53.0%	2.4%	100.0%	828
		35	2.5%	10.9%	5.0%	56.9%	3.5%	100.0%	202
	合計		6.8%	10.6%	6.2%	54.2%	2.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	9.5%	6.7%	7.0%	57.3%	2.7%	100.0%	328
		20-24	6.5%	9.6%	4.6%	55.1%	3.6%	100.0%	1073
		25-29	6.1%	8.9%	5.2%	55.8%	4.5%	100.0%	1916
		30-34	5.8%	11.0%	4.2%	54.7%	4.3%	100.0%	2265
		35	7.3%	10.7%	2.8%	52.6%	5.6%	100.0%	496
	合計		6.3%	9.9%	4.6%	55.1%	4.3%	100.0%	6078
男女計			6.5%	10.0%	5.0%	54.9%	3.9%	100.0%	8138

表31 父母の別居直後の、対象者の同居人

			父親	母親	父母以外 の親族	その他 (具体的 に： 【FA】)		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	71.2%	12.3%		100.0%	73
		20-24	15.6%	76.4%	6.2%	1.8%	100.0%	339
		25-29	16.5%	73.8%	6.5%	3.2%	100.0%	618
		30-34	15.6%	75.6%	6.6%	2.2%	100.0%	828
		35	16.8%	73.3%	6.4%	3.5%	100.0%	202
	合計		16.0%	74.8%	6.7%	2.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	8.2%	85.7%	3.0%	3.0%	100.0%	328
		20-24	9.8%	82.6%	3.7%	3.9%	100.0%	1073
		25-29	12.9%	78.6%	4.1%	4.4%	100.0%	1916
		30-34	13.2%	78.3%	3.3%	5.2%	100.0%	2265
		35	16.1%	75.0%	4.8%	4.0%	100.0%	496
	合計		12.5%	79.3%	3.7%	4.5%	100.0%	6078
男女計			13.4%	78.2%	4.5%	4.0%	100.0%	8138

表32 父母の別居後、対象者の同居人が変わった経験の有無

			ある	ない		n
男性	年齢階級	18-19	12.3%	87.7%	100.0%	73
		20-24	15.9%	84.1%	100.0%	339
		25-29	14.7%	85.3%	100.0%	618
		30-34	13.4%	86.6%	100.0%	828
		35	17.8%	82.2%	100.0%	202
	合計		14.6%	85.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	11.6%	88.4%	100.0%	328
		20-24	14.3%	85.7%	100.0%	1073
		25-29	16.0%	84.0%	100.0%	1916
		30-34	15.5%	84.5%	100.0%	2265
		35	14.7%	85.3%	100.0%	496
	合計		15.1%	84.9%	100.0%	6078
男女計			15.0%	85.0%	100.0%	8138

表33 (父母の別居後から18歳まで)別居親に会わないように、と言っていたか

			あてはま らない	あまりあ てはまら ない	ややあて はまる	あてはま る		n
男性	年齢階級	18-19	52.1%	21.9%	13.7%	12.3%	100.0%	73
		20-24	49.6%	21.2%	16.8%	12.4%	100.0%	339
		25-29	54.2%	23.3%	12.6%	9.9%	100.0%	618
		30-34	57.2%	20.3%	13.3%	9.2%	100.0%	828
		35	58.9%	22.8%	11.4%	6.9%	100.0%	202
	合計		55.0%	21.7%	13.5%	9.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	62.5%	15.9%	11.0%	10.7%	100.0%	328
		20-24	58.5%	17.1%	12.0%	12.3%	100.0%	1073
		25-29	61.4%	15.8%	11.7%	11.0%	100.0%	1916
		30-34	63.7%	17.0%	10.2%	9.0%	100.0%	2265
		35	64.1%	16.5%	10.1%	9.3%	100.0%	496
	合計		62.0%	16.6%	11.1%	10.3%	100.0%	6078
男女計			60.3%	17.9%	11.7%	10.2%	100.0%	8138

表34 (父母の別居後から18歳まで) 父母と一緒に暮らせないが、協力しあっていたと思う

		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる		n
男性	年齢階級 18-19	42.5%	23.3%	26.0%	8.2%	100.0%	73
	20-24	49.3%	20.4%	20.1%	10.3%	100.0%	339
	25-29	50.2%	23.1%	20.1%	6.6%	100.0%	618
	30-34	51.2%	23.2%	19.2%	6.4%	100.0%	828
	35	54.5%	21.3%	15.8%	8.4%	100.0%	202
	合計	50.6%	22.5%	19.5%	7.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	44.2%	17.7%	23.8%	14.3%	100.0%	328
	20-24	51.8%	21.8%	17.7%	8.7%	100.0%	1073
	25-29	57.8%	18.7%	14.5%	9.0%	100.0%	1916
	30-34	61.5%	18.0%	13.5%	7.0%	100.0%	2265
	35	62.9%	19.0%	13.3%	4.8%	100.0%	496
	合計	57.8%	18.9%	15.1%	8.2%	100.0%	6078
男女計		56.0%	19.8%	16.2%	8.0%	100.0%	8138

表35 (父母の別居後から18歳まで) 同居親の性格や態度を悪く言った

		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる		n
男性	年齢階級 18-19	46.6%	28.8%	15.1%	9.6%	100.0%	73
	20-24	46.3%	27.1%	16.8%	9.7%	100.0%	339
	25-29	49.8%	28.5%	15.5%	6.1%	100.0%	618
	30-34	49.3%	28.3%	13.6%	8.8%	100.0%	828
	35	45.5%	31.2%	15.3%	7.9%	100.0%	202
	合計	48.5%	28.4%	15.0%	8.1%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	50.6%	21.6%	18.3%	9.5%	100.0%	328
	20-24	50.0%	23.3%	15.5%	11.3%	100.0%	1073
	25-29	52.2%	23.1%	14.4%	10.2%	100.0%	1916
	30-34	53.2%	21.4%	14.6%	10.7%	100.0%	2265
	35	53.2%	24.0%	14.5%	8.3%	100.0%	496
	合計	52.2%	22.5%	14.9%	10.4%	100.0%	6078
男女計		51.3%	24.0%	14.9%	9.8%	100.0%	8138

表36 (父母の別居後から18歳まで) 別居親の性格や態度を悪く言った

		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる		n
男性	年齢階級 18-19	42.5%	27.4%	17.8%	12.3%	100.0%	73
	20-24	37.2%	29.2%	22.7%	10.9%	100.0%	339
	25-29	42.6%	28.3%	20.1%	9.1%	100.0%	618
	30-34	40.6%	27.7%	19.6%	12.2%	100.0%	828
	35	36.1%	27.7%	23.8%	12.4%	100.0%	202
	合計	40.2%	28.1%	20.6%	11.1%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	38.1%	18.3%	22.6%	21.0%	100.0%	328
	20-24	36.8%	20.9%	23.6%	18.7%	100.0%	1073
	25-29	40.8%	20.1%	22.8%	16.3%	100.0%	1916
	30-34	40.5%	18.7%	21.8%	19.0%	100.0%	2265
	35	39.9%	20.0%	23.2%	16.9%	100.0%	496
	合計	39.8%	19.6%	22.6%	18.0%	100.0%	6078
男女計		39.9%	21.8%	22.1%	16.3%	100.0%	8138

表37 (父母の別居後から18歳まで) 同居親または別居親からもう一方への伝言を頼まれた

		あてはまらない	あまりあてはまらない	ややあてはまる	あてはまる		n
男性	年齢階級 18-19	49.3%	31.5%	13.7%	5.5%	100.0%	73
	20-24	56.0%	23.0%	14.2%	6.8%	100.0%	339
	25-29	60.8%	23.5%	12.1%	3.6%	100.0%	618
	30-34	62.4%	24.5%	9.9%	3.1%	100.0%	828
	35	62.4%	23.8%	10.9%	3.0%	100.0%	202
	合計	60.4%	24.1%	11.5%	3.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級 18-19	58.5%	15.5%	15.2%	10.7%	100.0%	328
	20-24	61.0%	18.0%	12.3%	8.8%	100.0%	1073
	25-29	66.4%	16.9%	10.9%	5.9%	100.0%	1916
	30-34	68.8%	15.5%	10.2%	5.5%	100.0%	2265
	35	69.6%	15.5%	9.9%	5.0%	100.0%	496
	合計	66.2%	16.4%	11.0%	6.4%	100.0%	6078
男女計		64.7%	18.3%	11.2%	5.8%	100.0%	8138

表38 同じ両親から生まれたきょうだいがいる

表 6		同じ間接から生まれた子どもにいてる				
		いない	いる			n
男性	年齢階級	18-19	47.9%	52.1%	100.0%	73
		20-24	41.9%	58.1%	100.0%	339
		25-29	37.7%	62.3%	100.0%	618
		30-34	33.5%	66.5%	100.0%	828
		35	30.7%	69.3%	100.0%	202
	合計		36.4%	63.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	33.8%	66.2%	100.0%	328
		20-24	33.1%	66.9%	100.0%	1073
		25-29	28.5%	71.5%	100.0%	1916
		30-34	25.7%	74.3%	100.0%	2265
		35	27.6%	72.4%	100.0%	496
	合計		28.5%	71.5%	100.0%	6078
男女計		30.5%	69.5%	100.0%	8138	

表39 それ以外のきょうだいがいる

			いない	いる		n
男性	年齢階級	18-19	89.0%	11.0%	100.0%	73
		20-24	89.1%	10.9%	100.0%	339
		25-29	89.3%	10.7%	100.0%	618
		30-34	86.1%	13.9%	100.0%	828
		35	82.7%	17.3%	100.0%	202
	合計		87.3%	12.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	83.5%	16.5%	100.0%	328
		20-24	82.0%	18.0%	100.0%	1073
		25-29	82.6%	17.4%	100.0%	1916
		30-34	82.5%	17.5%	100.0%	2265
		35	79.2%	20.8%	100.0%	496
	合計		82.2%	17.8%	100.0%	6078
男女計		83.5%	16.5%	100.0%	8138	

表40 きょうだいはいない

表4-1			さきほどに示していない			
			あてはま らない	あてはまる		n
男性	年齢階級	18-19	57.5%	42.5%	100.0%	73
		20-24	61.4%	38.6%	100.0%	339
		25-29	64.2%	35.8%	100.0%	618
		30-34	69.9%	30.1%	100.0%	828
		35	70.3%	29.7%	100.0%	202
	合計		66.4%	33.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	74.4%	25.6%	100.0%	328
		20-24	72.5%	27.5%	100.0%	1073
		25-29	76.8%	23.2%	100.0%	1916
		30-34	79.1%	20.9%	100.0%	2265
		35	78.8%	21.2%	100.0%	496
	合計		76.9%	23.1%	100.0%	6078
男女計		74.3%	25.7%	100.0%	8138	

表41 同じ両親以外から生まれたきょうだいの人数

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
男性	年齢階級	18-19	71.1%	7.9%	13.2%	2.6%	2.6%		2.6%	
		20-24	60.9%	25.9%	9.6%	1.5%	1.0%			
		25-29	59.7%	28.3%	8.3%	1.8%	1.0%	0.3%		0.3%
		30-34	54.4%	31.0%	11.1%	2.2%	0.5%	0.2%		
		35	54.3%	30.0%	9.3%	5.7%	0.7%			
	合計		57.4%	28.7%	9.9%	2.4%	0.8%	0.2%	0.2%	0.1%
女性	年齢階級	18-19	59.0%	25.8%	9.7%	4.1%	0.9%			0.5%
		20-24	57.0%	27.4%	10.0%	2.6%	1.9%	0.6%		0.1%
		25-29	56.1%	27.8%	11.8%	3.1%	0.7%	0.1%	0.1%	
		30-34	54.6%	28.6%	13.2%	2.4%	0.9%	0.2%	0.1%	
		35	52.4%	33.1%	10.3%	2.8%	0.6%	0.6%	0.3%	
	合計		55.5%	28.4%	11.8%	2.8%	1.0%	0.2%	0.1%	0.0%
男女計			56.0%	28.5%	11.4%	2.7%	1.0%	0.2%	0.1%	0.0%
男性	年齢階級	18-19	11	12	13	15	18	22	291	n
		20-24				0.5%	0.5%			38
		25-29								197
		30-34	0.2%	0.2%				0.3%		385
		35								551
	合計		0.1%	0.1%		0.1%	0.1%	0.1%	100.0%	140
女性	年齢階級	18-19							100.0%	217
		20-24							100.0%	718
		25-29	0.1%		0.1%			0.1%	100.0%	1370
		30-34							100.0%	1684
		35							100.0%	359
	合計		0.0%		0.0%			0.0%	100.0%	4348
男女計			0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	5659

表42 同じ親から生まれたきょうだい以外のきょうだいの人数

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	21		n
男性	年齢階級	18-19	37.5%	50.0%		12.5%							100.0%	8
		20-24	67.6%	27.0%	2.7%							2.7%	100.0%	37
		25-29	66.7%	18.2%	9.1%	1.5%			1.5%				100.0%	66
		30-34	56.5%	31.3%	7.8%	2.6%	3.0%						100.0%	115
		35	68.6%	25.7%	5.7%		1.7%						100.0%	35
	合計		61.7%	27.2%	6.9%	1.9%	1.5%		0.4%			0.4%	100.0%	261
女性	年齢階級	18-19	53.7%	24.1%	20.4%	1.9%							100.0%	54
		20-24	58.5%	28.5%	6.7%	4.1%	1.0%		0.5%	0.5%			100.0%	193
		25-29	55.7%	27.2%	12.3%	3.0%	0.3%	1.2%	0.3%				100.0%	334
		30-34	57.3%	26.8%	10.6%	3.5%	1.0%	0.5%	0.3%				100.0%	396
		35	62.1%	21.4%	9.7%	4.9%	1.0%				1.0%		100.0%	103
	合計		57.3%	26.6%	10.8%	3.5%	0.7%	0.6%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	100.0%	1080
男女計			58.2%	26.7%	10.1%	3.2%	0.6%	0.7%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	100.0%	1341

表43 「同じ両親から生まれたきょうだいがいる」対象者について、父母の別居後にきょうだいと一緒に住んだか

表4-3		「同じ両親から生まれたきょうだいがいる」対家族について、父母の別居後にき				
		住んだ	住んでい ない	n		
男性	年齢階級	18-19	94.7%	5.3%	100.0%	38
		20-24	85.3%	14.7%	100.0%	197
		25-29	88.1%	11.9%	100.0%	385
		30-34	83.5%	16.5%	100.0%	551
		35	79.3%	20.7%	100.0%	140
	合計	85.0%	15.0%	100.0%	1311	
女性	年齢階級	18-19	91.2%	8.8%	100.0%	217
		20-24	90.8%	9.2%	100.0%	718
		25-29	89.3%	10.7%	100.0%	1370
		30-34	87.8%	12.2%	100.0%	1684
		35	88.0%	12.0%	100.0%	359
	合計	89.0%	11.0%	100.0%	4348	
男女計		88.0%	12.0%	100.0%	5659	

表44 「同じ両親から生まれたきょうだいがいる」対象者について、現在のきょうだいとの交流の有無

表4-4 「同じ両親から生まれた」と答えている「兄弟」に対する「同じ、現在の」と答えている						
			ある	ない	n	
男性	年齢階級	18-19	89.5%	10.5%	100.0%	38
		20-24	87.3%	12.7%	100.0%	197
		25-29	80.8%	19.2%	100.0%	385
		30-34	79.5%	20.5%	100.0%	551
		35	73.6%	26.4%	100.0%	140
	合計		80.7%	19.3%	100.0%	1311
女性	年齢階級	18-19	91.7%	8.3%	100.0%	217
		20-24	92.1%	7.9%	100.0%	718
		25-29	88.5%	11.5%	100.0%	1370
		30-34	86.1%	13.9%	100.0%	1684
		35	83.0%	17.0%	100.0%	359
	合計		87.9%	12.1%	100.0%	4348
男女計			86.2%	13.8%	100.0%	5659

表45 (もっとも頻度が多かった時期について)泊りがけで一緒に過ごす

			（もっとも頻度が多かった回答について回答した割合に就いて）								
			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	11.0%	6.8%	8.2%	1.4%	8.2%	11.0%	53.4%	100.0%	73
		20-24	7.1%	4.4%	7.4%	8.8%	5.6%	8.0%	58.7%	100.0%	339
		25-29	3.2%	8.4%	6.5%	6.1%	5.3%	7.8%	62.6%	100.0%	618
		30-34	3.1%	5.7%	4.2%	5.6%	5.2%	7.1%	69.1%	100.0%	828
		合計	35	3.5%	5.9%	5.4%	5.0%	3.0%	7.4%	69.8%	100.0%
			4.1%	6.4%	5.7%	6.1%	5.2%	7.6%	65.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	5.2%	6.1%	5.8%	8.2%	2.1%	8.5%	64.0%	100.0%	328
		20-24	4.3%	3.9%	6.8%	6.1%	4.8%	6.0%	68.2%	100.0%	1073
		25-29	2.5%	4.7%	3.6%	5.4%	4.1%	7.4%	72.3%	100.0%	1916
		30-34	1.7%	3.0%	3.6%	5.3%	3.9%	7.5%	75.0%	100.0%	2265
		合計	35	1.8%	2.8%	3.6%	4.4%	3.0%	7.1%	77.2%	100.0%
			2.6%	3.8%	4.3%	5.5%	3.9%	7.2%	72.5%	100.0%	6078
男女計			3.0%	4.5%	4.6%	5.7%	4.3%	7.3%	70.6%	100.0%	8138

表46 (もっとも頻度が多かった時期について)宿泊は伴わず一緒に過ごす

表46		（もともと頻度が多かった時期において）倍率は年々下降傾向にある									
		週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n	
男性	年齢階級	18-19	11.0%	4.1%	11.0%	13.7%	4.1%	8.2%	47.9%	100.0%	73
		20-24	5.6%	8.3%	12.7%	10.9%	9.4%	8.0%	45.1%	100.0%	339
		25-29	3.9%	12.0%	10.8%	10.0%	4.9%	8.7%	49.7%	100.0%	618
		30-34	3.9%	9.3%	8.8%	6.6%	5.0%	11.4%	55.1%	100.0%	828
		35	5.4%	4.0%	13.4%	8.9%	3.5%	11.4%	53.5%	100.0%	202
	合計		4.6%	9.2%	10.6%	8.8%	5.5%	9.9%	51.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.0%	13.4%	11.9%	6.1%	4.0%	7.0%	50.6%	100.0%	328
		20-24	6.1%	9.3%	11.1%	8.9%	4.9%	8.9%	50.7%	100.0%	1073
		25-29	5.7%	10.3%	9.3%	7.6%	5.3%	10.1%	51.8%	100.0%	1916
		30-34	4.7%	9.2%	9.7%	7.3%	5.3%	8.9%	55.0%	100.0%	2265
		35	4.6%	7.1%	9.1%	8.7%	3.6%	7.5%	59.5%	100.0%	496
	合計		5.4%	9.6%	9.9%	7.7%	5.0%	9.0%	53.4%	100.0%	6078
男女計			5.2%	9.5%	10.1%	8.0%	5.1%	9.3%	52.9%	100.0%	8138

表47 (もっとも頻度が多かった時期について)電子メールやアプリでメッセージをやり取りする

			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	9.6%	6.8%	21.9%	9.6%	4.1%	8.2%	39.7%	100.0%	73
		20-24	13.0%	13.9%	13.9%	8.8%	2.7%	7.7%	40.1%	100.0%	339
		25-29	8.4%	12.5%	11.2%	7.9%	3.9%	7.0%	49.2%	100.0%	618
		30-34	9.2%	9.2%	10.1%	6.3%	4.2%	8.8%	52.2%	100.0%	828
		35	6.4%	5.9%	11.9%	5.4%	3.0%	6.4%	60.9%	100.0%	202
	合計		9.3%	10.5%	11.7%	7.2%	3.7%	7.8%	49.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	11.6%	18.0%	9.1%	7.3%	4.0%	4.9%	45.1%	100.0%	328
		20-24	15.3%	12.1%	12.5%	8.1%	3.1%	6.2%	42.7%	100.0%	1073
		25-29	12.6%	11.4%	10.6%	7.3%	4.6%	8.1%	45.4%	100.0%	1916
		30-34	10.7%	10.5%	9.0%	7.4%	3.0%	7.5%	51.9%	100.0%	2265
		35	7.9%	9.1%	6.3%	7.1%	2.0%	6.9%	60.9%	100.0%	496
	合計		11.9%	11.3%	9.9%	7.5%	3.5%	7.3%	48.6%	100.0%	6078
男女計			11.3%	11.1%	10.3%	7.4%	3.6%	7.4%	48.9%	100.0%	8138

表48 (もっとも頻度が多かった時期について)電話やアプリで会話する

			週に1回以上	1か月に1回	2～3か月に1回	半年に1回	年に1回	年に1回未満	まったくしない		n
男性	年齢階級	18-19	4.1%	13.7%	19.2%	5.5%	4.1%	5.5%	47.9%	100.0%	73
		20-24	10.3%	11.5%	12.1%	8.6%	4.1%	8.0%	45.4%	100.0%	339
		25-29	7.8%	15.4%	9.5%	6.5%	4.2%	6.8%	49.8%	100.0%	618
		30-34	7.5%	9.2%	8.5%	6.9%	3.9%	11.4%	52.8%	100.0%	828
		35	7.4%	7.4%	7.9%	8.4%	3.5%	8.9%	56.4%	100.0%	202
	合計		7.9%	11.4%	9.7%	7.1%	4.0%	9.0%	50.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.9%	14.0%	8.8%	5.5%	3.0%	2.4%	58.2%	100.0%	328
		20-24	10.0%	9.7%	10.8%	5.7%	3.1%	4.6%	56.2%	100.0%	1073
		25-29	9.6%	10.3%	8.1%	5.3%	3.9%	7.0%	55.8%	100.0%	1916
		30-34	7.3%	10.4%	7.9%	5.1%	2.7%	7.7%	58.9%	100.0%	2265
		35	8.9%	8.3%	5.6%	4.8%	3.2%	7.7%	61.5%	100.0%	496
	合計		8.7%	10.3%	8.4%	5.2%	3.2%	6.6%	57.6%	100.0%	6078
男女計			8.5%	10.5%	8.7%	5.7%	3.4%	7.2%	55.9%	100.0%	8138

表49 (一緒に暮らさなかった親との関係について)私のことをよくわかっている

			あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない		n
男性	年齢階級	18-19	14.0%	36.0%	30.0%	20.0%	100.0%	50
		20-24	22.6%	32.7%	25.7%	19.0%	100.0%	226
		25-29	15.6%	37.9%	27.1%	19.4%	100.0%	391
		30-34	16.4%	34.1%	27.9%	21.6%	100.0%	499
		35	19.6%	38.4%	25.0%	17.0%	100.0%	112
	合計		17.4%	35.4%	27.1%	20.0%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	16.7%	36.2%	24.8%	22.4%	100.0%	210
		20-24	18.6%	33.5%	23.7%	24.2%	100.0%	687
		25-29	20.0%	28.9%	26.8%	24.4%	100.0%	1202
		30-34	15.5%	28.4%	27.3%	28.8%	100.0%	1318
		35	17.2%	23.8%	26.1%	33.0%	100.0%	261
	合計		17.7%	29.6%	26.2%	26.4%	100.0%	3678
男女計			17.7%	31.1%	26.5%	24.8%	100.0%	4956

表50 (一緒に暮らさなかった親との関係について)私の話をきいてくれる

			あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない		n
男性	年齢階級	18-19	28.0%	36.0%	20.0%	16.0%	100.0%	50
		20-24	26.5%	37.2%	22.6%	13.7%	100.0%	226
		25-29	19.2%	40.9%	26.9%	13.0%	100.0%	391
		30-34	20.6%	37.9%	23.4%	18.0%	100.0%	499
		35	19.6%	45.5%	23.2%	11.6%	100.0%	112
	合計		21.4%	39.3%	24.2%	15.1%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	27.1%	35.2%	21.9%	15.7%	100.0%	210
		20-24	30.1%	34.9%	15.9%	19.1%	100.0%	687
		25-29	26.0%	35.7%	18.7%	19.6%	100.0%	1202
		30-34	23.2%	35.3%	20.3%	21.2%	100.0%	1318
		35	20.3%	34.1%	21.8%	23.8%	100.0%	261
	合計		25.4%	35.3%	19.2%	20.1%	100.0%	3678
男女計			24.4%	36.3%	20.5%	18.8%	100.0%	4956

表51 (一緒に暮らさなかった親との関係について)対象者に金銭的な援助をしてくれる

			あてはま る	どちらか といえ ばあて はま る	どちらか といえ ばあて はま らない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	20.0%	36.0%	24.0%	20.0%	100.0%	50
		20-24	28.3%	28.3%	18.6%	24.8%	100.0%	226
		25-29	21.7%	27.9%	23.3%	27.1%	100.0%	391
		30-34	18.4%	33.3%	25.3%	23.0%	100.0%	499
		35	19.6%	27.7%	26.8%	25.9%	100.0%	112
	合計		21.4%	30.4%	23.6%	24.7%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	39.0%	30.0%	16.7%	14.3%	100.0%	210
		20-24	29.1%	28.2%	18.9%	23.7%	100.0%	687
		25-29	24.5%	27.3%	19.9%	28.4%	100.0%	1202
		30-34	20.0%	26.6%	19.7%	33.6%	100.0%	1318
		35	23.4%	21.8%	24.5%	30.3%	100.0%	261
	合計		24.5%	27.0%	19.8%	28.7%	100.0%	3678
男女計			23.7%	27.9%	20.8%	27.7%	100.0%	4956

表52 (一緒に暮らさなかった親との関係について)対象者に助言やアドバイスをしてくれる

			あてはま る	どちらか といえ ばあて はま る	どちらか といえ ばあて はま らない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.0%	46.0%	24.0%	14.0%	100.0%	50
		20-24	26.1%	35.0%	21.7%	17.3%	100.0%	226
		25-29	17.1%	35.8%	27.9%	19.2%	100.0%	391
		30-34	17.0%	31.5%	30.5%	21.0%	100.0%	499
		35	18.8%	25.0%	32.1%	24.1%	100.0%	112
	合計		18.8%	33.4%	28.0%	19.8%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	24.3%	34.8%	21.9%	19.0%	100.0%	210
		20-24	22.6%	31.1%	23.0%	23.3%	100.0%	687
		25-29	20.6%	27.2%	24.9%	27.3%	100.0%	1202
		30-34	14.3%	30.6%	25.2%	29.9%	100.0%	1318
		35	14.6%	25.3%	27.6%	32.6%	100.0%	261
	合計		18.5%	29.4%	24.7%	27.4%	100.0%	3678
男女計			18.6%	30.5%	25.5%	25.4%	100.0%	4956

表53 (一緒に暮らさなかった親との関係について)一緒に楽しく時間を過ごすことができる

			あてはまる	どちらか といえ ばあては まる	どちらか といえ ばあては まらない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	26.0%	42.0%	16.0%	16.0%	100.0%	50
		20-24	32.7%	33.6%	17.7%	15.9%	100.0%	226
		25-29	24.3%	38.9%	20.5%	16.4%	100.0%	391
		30-34	22.4%	37.3%	21.4%	18.8%	100.0%	499
		35	29.5%	29.5%	23.2%	17.9%	100.0%	112
	合計		25.6%	36.6%	20.4%	17.4%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	33.3%	31.0%	20.0%	15.7%	100.0%	210
		20-24	30.9%	34.4%	15.3%	19.5%	100.0%	687
		25-29	28.4%	33.6%	18.4%	19.6%	100.0%	1202
		30-34	22.7%	35.3%	18.9%	23.1%	100.0%	1318
		35	19.2%	34.9%	22.6%	23.4%	100.0%	261
	合計		26.4%	34.3%	18.4%	20.9%	100.0%	3678
男女計			26.2%	34.9%	18.9%	20.0%	100.0%	4956

表54 一緒に暮らさなかった親との交流の有無や頻度等について、当時どのように感じていたか

表34

一緒に暮らさなかつた親との交流の有無や頻度等について、当時このように感じていたが

			満足だ った	もっと交 流した かった	交流を少 なくし た かった	交流し た く な か っ た	特に感想 はな か っ た		n
男性	年齢階級	18-19	17.8%	27.4%	8.2%	11.0%	35.6%	100.0%	73
		20-24	23.3%	20.1%	9.7%	12.7%	34.2%	100.0%	339
		25-29	19.1%	20.2%	6.3%	9.5%	44.8%	100.0%	618
		30-34	15.8%	19.4%	8.8%	11.5%	44.4%	100.0%	828
		35	15.8%	16.3%	6.9%	11.9%	49.0%	100.0%	202
	合計		18.1%	19.8%	8.0%	11.1%	43.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	23.8%	21.6%	4.3%	10.4%	39.9%	100.0%	328
		20-24	23.8%	23.7%	5.1%	10.0%	37.5%	100.0%	1073
		25-29	21.3%	23.4%	4.4%	11.7%	39.1%	100.0%	1916
		30-34	17.8%	22.3%	4.6%	12.4%	42.9%	100.0%	2265
		35	18.8%	21.8%	3.4%	13.1%	42.9%	100.0%	496
	合計		20.4%	22.8%	4.5%	11.7%	40.6%	100.0%	6078
男女計			19.8%	22.0%	5.4%	11.5%	41.2%	100.0%	8138

表55 中学校卒業時、別居親と自由に連絡を取ることができたか

表3-5 中学生半時、別居親と自由に連絡を取ることができたか									
			あてはまる	どちらか と云えば あてはまる	どちらか と云えば あてはま らない	あてはま らない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	26.0%	32.0%	14.0%	14.0%	14.0%	100.0%	50
		20-24	32.7%	27.9%	14.2%	17.7%	7.5%	100.0%	226
		25-29	31.5%	29.9%	13.8%	14.8%	10.0%	100.0%	391
		30-34	28.9%	27.9%	16.0%	19.0%	8.2%	100.0%	499
		35	33.0%	25.9%	15.2%	19.6%	6.3%	100.0%	112
	合計		30.6%	28.5%	14.9%	17.4%	8.7%	100.0%	1278
女性	年齢階級	18-19	50.5%	18.1%	8.1%	14.8%	8.6%	100.0%	210
		20-24	44.4%	18.3%	12.4%	17.2%	7.7%	100.0%	687
		25-29	39.0%	19.3%	11.8%	20.9%	9.0%	100.0%	1202
		30-34	38.8%	23.2%	9.5%	20.3%	8.2%	100.0%	1318
		35	31.4%	26.8%	12.3%	23.0%	6.5%	100.0%	261
	合計		40.1%	21.0%	10.9%	19.8%	8.3%	100.0%	3678
男女計			37.6%	22.9%	11.9%	19.1%	8.4%	100.0%	4956

表56 (両親の別居後に、一番長く一緒に暮らしていた親について) 同居親は別居親との交流を大切なものと考えていたと思う

			あてはま る	どちらか といえば あてはま る	どちらか といえば あてはま らない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	30.1%	17.8%	35.6%	100.0%	73
		20-24	16.8%	26.8%	20.6%	35.7%	100.0%	339
		25-29	13.8%	25.7%	24.9%	35.6%	100.0%	618
		30-34	9.9%	24.3%	23.9%	41.9%	100.0%	828
		35	9.9%	25.2%	25.2%	39.6%	100.0%	202
	合計		12.4%	25.4%	23.6%	38.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	16.5%	25.6%	19.2%	38.7%	100.0%	328
		20-24	13.2%	23.9%	22.7%	40.2%	100.0%	1073
		25-29	14.5%	20.4%	21.3%	43.8%	100.0%	1916
		30-34	11.6%	20.6%	19.9%	47.9%	100.0%	2265
		35	12.1%	17.5%	19.0%	51.4%	100.0%	496
	合計		13.1%	21.1%	20.7%	45.0%	100.0%	6078
男女計			12.9%	22.2%	21.5%	43.4%	100.0%	8138

表57 (両親の別居後に、一番長く一緒に暮らしていた親について) 別居親と会ったときのことを、同居親に話すことができた

			あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはまらない	あてはまらない		n
男性	年齢階級	18-19	19.2%	27.4%	15.1%	38.4%	100.0%	73
		20-24	24.2%	24.5%	19.8%	31.6%	100.0%	339
		25-29	19.4%	27.7%	17.5%	35.4%	100.0%	618
		30-34	16.8%	23.3%	18.5%	41.4%	100.0%	828
		35	15.8%	26.2%	17.3%	40.6%	100.0%	202
	合計		18.8%	25.2%	18.2%	37.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	26.5%	18.9%	16.5%	38.1%	100.0%	328
		20-24	23.6%	21.8%	15.5%	39.1%	100.0%	1073
		25-29	21.8%	21.2%	15.3%	41.7%	100.0%	1916
		30-34	20.6%	19.5%	13.7%	46.2%	100.0%	2265
		35	17.3%	20.0%	16.1%	46.6%	100.0%	496
	合計		21.6%	20.5%	14.9%	43.1%	100.0%	6078
男女計		20.9%	21.7%	15.7%	41.8%	100.0%	8138	

表58 両親の別居後、父親が再婚したか

		再婚した	再婚して いない	わからない		n	
男性	年齢階級	18-19	6.8%	42.5%	50.7%	100.0%	73
		20-24	15.6%	41.0%	43.4%	100.0%	339
		25-29	18.3%	44.0%	37.7%	100.0%	618
		30-34	18.6%	44.7%	36.7%	100.0%	828
		35	27.2%	43.6%	29.2%	100.0%	202
	合計	18.4%	43.7%	37.9%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	13.4%	47.3%	39.3%	100.0%	328
		20-24	20.2%	43.3%	36.4%	100.0%	1073
		25-29	24.8%	43.4%	31.8%	100.0%	1916
		30-34	26.0%	44.8%	29.2%	100.0%	2265
		35	27.2%	45.6%	27.2%	100.0%	496
	合計	24.1%	44.3%	31.7%	100.0%	6078	
男女計		22.6%	44.1%	33.2%	100.0%	8138	

表 5 9 両親の別居後、母親が再婚したか

			再婚した	再婚して いない	わから ない		n
男性	年齢階級	18-19	13.7%	69.9%	16.4%	100.0%	73
		20-24	13.0%	69.0%	18.0%	100.0%	339
		25-29	16.7%	71.2%	12.1%	100.0%	618
		30-34	16.3%	72.3%	11.4%	100.0%	828
		35	18.8%	70.3%	10.9%	100.0%	202
	合計		16.0%	71.2%	12.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.4%	76.2%	6.4%	100.0%	328
		20-24	20.2%	73.1%	6.7%	100.0%	1073
		25-29	22.8%	70.9%	6.3%	100.0%	1916
		30-34	25.7%	68.7%	5.6%	100.0%	2265
		35	26.2%	64.9%	8.9%	100.0%	496
	合計		23.4%	70.3%	6.3%	100.0%	6078
男女計			21.6%	70.5%	8.0%	100.0%	8138

表 6 0 両親の別居以降、別居した親から養育費は支払われていたか

			まったく 滞りなく 支払われ ていた	あまり滞 りなく支 払われて いた	あまり支 払われな かった	まったく 支払われ なかった	わから ない・知 らない		n
男性	年齢階級	18-19	17.8%	19.2%	8.2%	19.2%	35.6%	100.0%	73
		20-24	25.4%	10.6%	10.9%	20.1%	33.0%	100.0%	339
		25-29	14.2%	12.6%	9.1%	20.9%	43.2%	100.0%	618
		30-34	13.3%	10.9%	8.5%	25.2%	42.1%	100.0%	828
		35	15.8%	10.9%	7.4%	23.3%	42.6%	100.0%	202
	合計		16.0%	11.7%	8.9%	22.7%	40.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21.3%	15.5%	12.8%	19.5%	30.8%	100.0%	328
		20-24	20.2%	13.7%	8.4%	24.6%	33.1%	100.0%	1073
		25-29	15.2%	8.9%	8.8%	30.9%	36.2%	100.0%	1916
		30-34	13.2%	6.3%	8.9%	33.8%	37.9%	100.0%	2265
		35	11.7%	9.5%	9.5%	32.5%	36.9%	100.0%	496
	合計		15.4%	9.2%	9.0%	30.4%	36.0%	100.0%	6078
男女計			15.5%	9.8%	9.0%	28.4%	37.2%	100.0%	8138

表 6 1 両親の別居後の暮らし向きについて

			大変ゆと りがあっ た	ややゆと りがあっ た	ふつう	やや苦し かった	大変苦し かった		n
男性	年齢階級	18-19	6.8%	17.8%	38.4%	26.0%	11.0%	100.0%	73
		20-24	5.6%	13.9%	37.5%	25.1%	18.0%	100.0%	339
		25-29	4.0%	11.3%	39.5%	26.7%	18.4%	100.0%	618
		30-34	4.5%	10.5%	35.5%	26.7%	22.8%	100.0%	828
		35	5.0%	6.9%	41.1%	22.8%	24.3%	100.0%	202
	合計		4.7%	11.2%	37.7%	26.0%	20.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.0%	13.7%	37.8%	27.7%	13.7%	100.0%	328
		20-24	6.7%	11.8%	34.9%	28.8%	17.8%	100.0%	1073
		25-29	5.2%	10.9%	33.9%	28.8%	21.3%	100.0%	1916
		30-34	4.6%	8.1%	35.5%	28.8%	23.0%	100.0%	2265
		35	5.2%	8.9%	33.5%	26.0%	26.4%	100.0%	496
	合計		5.3%	10.0%	34.8%	28.5%	21.3%	100.0%	6078
男女計			5.2%	10.3%	35.5%	27.9%	21.1%	100.0%	8138

表 6 2 (両親の別居後から18歳までのことについて) 別居親のところに行く、同居親に申し訳ないと思った

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	11.0%	15.1%	30.1%	43.8%	100.0%	73
		20-24	8.6%	16.8%	28.9%	45.7%	100.0%	339
		25-29	6.3%	15.7%	25.9%	52.1%	100.0%	618
		30-34	8.9%	16.4%	26.4%	48.2%	100.0%	828
		35	8.4%	17.8%	24.8%	49.0%	100.0%	202
	合計		8.1%	16.4%	26.7%	48.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	7.6%	17.7%	18.6%	56.1%	100.0%	328
		20-24	10.4%	15.3%	20.9%	53.4%	100.0%	1073
		25-29	11.1%	16.4%	20.2%	52.2%	100.0%	1916
		30-34	11.0%	18.1%	17.7%	53.2%	100.0%	2265
		35	13.1%	14.1%	19.8%	53.0%	100.0%	496
	合計		10.9%	16.7%	19.2%	53.1%	100.0%	6078
男女計			10.2%	16.6%	21.1%	52.0%	100.0%	8138

表 6 3 (両親の別居後から18歳までのことについて) 別居親が、同居親のことを悪く言うのを聞きたくないと思った

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	16.4%	31.5%	17.8%	34.2%	100.0%	73
		20-24	18.9%	24.2%	24.5%	32.4%	100.0%	339
		25-29	17.3%	23.1%	21.8%	37.7%	100.0%	618
		30-34	20.2%	22.9%	20.9%	36.0%	100.0%	828
		35	23.8%	24.3%	16.3%	35.6%	100.0%	202
	合計		19.3%	23.6%	21.2%	35.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	25.9%	24.1%	14.0%	36.0%	100.0%	328
		20-24	27.0%	21.1%	15.8%	36.2%	100.0%	1073
		25-29	24.1%	21.2%	17.7%	37.0%	100.0%	1916
		30-34	26.0%	20.5%	15.0%	38.5%	100.0%	2265
		35	26.6%	21.0%	15.3%	37.1%	100.0%	496
	合計		25.6%	21.1%	16.0%	37.3%	100.0%	6078
男女計			24.0%	21.7%	17.3%	37.0%	100.0%	8138

表 6 4 (両親の別居後から18歳までのことについて) 同居親が別居親のことを悪く言うと、嫌な気持ちになった

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	21.9%	28.8%	19.2%	30.1%	100.0%	73
		20-24	20.6%	27.7%	21.2%	30.4%	100.0%	339
		25-29	17.5%	26.4%	20.9%	35.3%	100.0%	618
		30-34	17.1%	24.2%	22.5%	36.2%	100.0%	828
		35	19.8%	22.3%	23.3%	34.7%	100.0%	202
	合計		18.3%	25.4%	21.7%	34.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	21.6%	24.1%	14.9%	39.3%	100.0%	328
		20-24	21.9%	22.7%	17.9%	37.5%	100.0%	1073
		25-29	21.2%	22.1%	19.6%	37.1%	100.0%	1916
		30-34	22.2%	21.4%	17.9%	38.6%	100.0%	2265
		35	22.4%	20.6%	18.3%	38.7%	100.0%	496
	合計		21.8%	21.9%	18.3%	38.0%	100.0%	6078
男女計			20.9%	22.8%	19.2%	37.1%	100.0%	8138

表 6 5 (両親の別居後からあなたが18歳までのことについて) 同居親の前では別居親のことには触れない方がよいと感じた

			あてはま る	ややあて はまる	あまりあ てはまら ない	あてはま らない		n
男性	年齢階級	18-19	30.1%	37.0%	11.0%	21.9%	100.0%	73
		20-24	29.2%	28.9%	17.7%	24.2%	100.0%	339
		25-29	24.3%	27.5%	19.6%	28.6%	100.0%	618
		30-34	27.5%	24.6%	18.8%	29.0%	100.0%	828
		35	29.2%	31.7%	16.8%	22.3%	100.0%	202
	合計		27.1%	27.3%	18.4%	27.2%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	28.4%	27.4%	12.8%	31.4%	100.0%	328
		20-24	33.5%	23.1%	14.5%	28.9%	100.0%	1073
		25-29	33.9%	23.2%	16.1%	26.8%	100.0%	1916
		30-34	34.8%	21.5%	14.7%	29.0%	100.0%	2265
		35	32.7%	21.6%	15.9%	29.8%	100.0%	496
	合計		33.8%	22.6%	15.1%	28.5%	100.0%	6078
男女計			32.1%	23.8%	15.9%	28.2%	100.0%	8138

表 6 6 離婚時に家庭裁判所の人に意見や希望、気持ちを聞かれることがあったか

			家庭裁判 所調査官 に聞かれ た	誰かわか らないが 聞かれた	聞かれな かった	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	6.8%	5.5%	45.2%	42.5%	100.0%	73
		20-24	5.6%	9.1%	50.1%	35.1%	100.0%	339
		25-29	3.1%	7.9%	56.6%	32.4%	100.0%	618
		30-34	1.4%	6.9%	60.3%	31.4%	100.0%	828
		35	4.0%	5.9%	59.4%	30.7%	100.0%	202
	合計		3.1%	7.4%	56.9%	32.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	3.0%	5.2%	57.6%	34.1%	100.0%	328
		20-24	2.3%	6.3%	58.6%	32.7%	100.0%	1073
		25-29	2.1%	5.1%	61.2%	31.6%	100.0%	1916
		30-34	2.7%	2.8%	64.6%	29.8%	100.0%	2265
		35	2.6%	2.8%	65.9%	28.6%	100.0%	496
	合計		2.5%	4.3%	62.2%	31.0%	100.0%	6078
男女計			2.6%	5.1%	60.9%	31.4%	100.0%	8138

表 6 7 家庭裁判所の人に聞かれた対象者について、家庭裁判所の方は、なぜ聞くのか、聞いた内容がどうなるかなど説明があったか

			説明を聞いてその意味がわかった	説明を聞いたがよくわからなかった	説明はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19	40.0%	60.0%			100.0%	5
		20-24	63.2%	36.8%			100.0%	19
		25-29	52.6%	26.3%	10.5%	10.5%	100.0%	19
		30-34	83.3%	16.7%			100.0%	12
		35	50.0%	37.5%	12.5%		100.0%	8
	合計		60.3%	31.7%	4.8%	3.2%	100.0%	63
女性	年齢階級	18-19	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	100.0%	10
		20-24	52.0%	36.0%	12.0%		100.0%	25
		25-29	42.5%	35.0%	5.0%	17.5%	100.0%	40
		30-34	35.5%	50.0%	6.5%	8.1%	100.0%	62
		35	46.2%	46.2%		7.7%	100.0%	13
	合計		41.3%	41.3%	7.3%	10.0%	100.0%	150
男女計			46.9%	38.5%	6.6%	8.0%	100.0%	213

表 6 8 家庭裁判所の人に自分の意見・希望を伝えたか

表 6 家庭裁判所の入に自らの意見・希望を伝えたか									
			本心を伝えた	伝えたが、本心ではなかった	意見・希望はあったが、伝えていない	意見・希望はなかった	覚えていない		n
男性	年齢階級	18-19		100.0%				100.0%	5
		20-24	47.4%	42.1%	10.5%			100.0%	19
		25-29	36.8%	26.3%	21.1%	10.5%	5.3%	100.0%	19
		30-34	75.0%	16.7%	8.3%			100.0%	12
		35	87.5%		12.5%			100.0%	8
		合計		50.8%	31.7%	12.7%	3.2%	1.6%	100.0%
女性	年齢階級	18-19	50.0%	30.0%			20.0%	100.0%	10
		20-24	64.0%	8.0%	28.0%			100.0%	25
		25-29	50.0%	20.0%	2.5%	10.0%	17.5%	100.0%	40
		30-34	53.2%	9.7%	17.7%	9.7%	9.7%	100.0%	62
		35	53.8%	15.4%		23.1%	7.7%	100.0%	13
		合計		54.0%	14.0%	12.7%	8.7%	10.7%	100.0%
男女計			53.1%	19.2%	12.7%	7.0%	8.0%	100.0%	213

表 6 9 【【Q39の選択内容】】について、それはどちらかの親に対する配慮か

			父母の双方に対する配慮	父親に対する配慮	母親に対する配慮	親に配慮していない	n	
男性	年齢階級	18-19	80.0%		20.0%		100.0%	5
		20-24	40.0%	50.0%	10.0%		100.0%	10
		25-29	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	100.0%	9
		30-34	66.7%	33.3%			100.0%	3
		35				100.0%	100.0%	1
	合計		50.0%	32.1%	10.7%	7.1%	100.0%	28
女性	年齢階級	18-19	66.7%		33.3%		100.0%	3
		20-24	22.2%	11.1%	55.6%	11.1%	100.0%	9
		25-29	22.2%	33.3%	33.3%	11.1%	100.0%	9
		30-34	58.8%	5.9%	17.6%	17.6%	100.0%	17
		35	50.0%		50.0%		100.0%	2
	合計		42.5%	12.5%	32.5%	12.5%	100.0%	40
男女計			45.6%	20.6%	23.5%	10.3%	100.0%	68

表70 家庭裁判所の人と話をした結果、あなたの意見や希望どおりになったか

			意見・希望通りに はならず、親から説明が あった	意見・希望通りに はならず、親からの説明 もなかった		n
男性	年齢階級	18-19	60.0%	40.0%	100.0%	5
		20-24	52.6%	47.4%	100.0%	19
		25-29	75.0%	25.0%	100.0%	16
		30-34	83.3%	16.7%	100.0%	12
		35	87.5%	12.5%	100.0%	8
	合計		70.0%	30.0%	100.0%	60
女性	年齢階級	18-19	87.5%	12.5%	100.0%	8
		20-24	60.0%	40.0%	100.0%	25
		25-29	65.5%	34.5%	100.0%	29
		30-34	66.0%	34.0%	100.0%	50
		35	88.9%	11.1%	100.0%	9
	合計		67.8%	32.2%	100.0%	121
男女計			68.5%	31.5%	100.0%	181

表71 両親の別居後、姓（名字）を変更したか

			変更した	変更しな かった		n
男性	年齢階級	18-19	20.5%	79.5%	100.0%	73
		20-24	26.5%	73.5%	100.0%	339
		25-29	25.4%	74.6%	100.0%	618
		30-34	23.3%	76.7%	100.0%	828
		35	23.3%	76.7%	100.0%	202
	合計		24.4%	75.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	29.9%	70.1%	100.0%	328
		20-24	33.2%	66.8%	100.0%	1073
		25-29	29.5%	70.5%	100.0%	1916
		30-34	29.6%	70.4%	100.0%	2265
		35	27.4%	72.6%	100.0%	496
	合計		30.0%	70.0%	100.0%	6078
男女計			28.6%	71.4%	100.0%	8138

表72 父母の離婚後のの姓（名字）について、父親又は母親から説明があったか

			説明が あった	説明はな かった	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	15.1%	32.9%	52.1%	100.0%	73
		20-24	22.4%	42.2%	35.4%	100.0%	339
		25-29	22.5%	39.2%	38.3%	100.0%	618
		30-34	22.0%	44.7%	33.3%	100.0%	828
		35	23.8%	45.5%	30.7%	100.0%	202
	合計		22.1%	42.3%	35.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	26.8%	37.8%	35.4%	100.0%	328
		20-24	24.8%	41.8%	33.5%	100.0%	1073
		25-29	23.0%	42.8%	34.2%	100.0%	1916
		30-34	23.1%	44.9%	32.0%	100.0%	2265
		35	24.8%	42.9%	32.3%	100.0%	496
	合計		23.7%	43.1%	33.2%	100.0%	6078
男女計			23.3%	42.9%	33.8%	100.0%	8138

表73 父母の離婚後のの姓（名字）について、父親又は母親に意見・希望を伝えたか

			本心を伝 えた	伝えた が、本心 ではな かった	意見・希望はあつ たが、伝 えていない	意見・希望はな かった	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	12.3%	6.8%	11.0%	27.4%	42.5%	100.0%	73
		20-24	18.0%	5.0%	6.5%	41.6%	28.9%	100.0%	339
		25-29	14.7%	4.9%	9.4%	41.7%	29.3%	100.0%	618
		30-34	13.6%	4.7%	8.5%	45.5%	27.7%	100.0%	828
		35	14.4%	3.5%	11.4%	47.0%	23.8%	100.0%	202
	合計		14.7%	4.8%	8.8%	43.3%	28.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.4%	3.0%	7.9%	40.9%	30.8%	100.0%	328
		20-24	16.3%	4.1%	6.6%	43.6%	29.4%	100.0%	1073
		25-29	15.0%	2.4%	6.6%	45.5%	30.5%	100.0%	1916
		30-34	15.1%	1.2%	6.6%	47.9%	29.1%	100.0%	2265
		35	17.7%	1.4%	8.3%	44.0%	28.6%	100.0%	496
	合計		15.6%	2.2%	6.8%	45.7%	29.6%	100.0%	6078
男女計			15.4%	2.9%	7.3%	45.1%	29.3%	100.0%	8138

表 7 4 父母の離婚後の姓について、対象者の意見、希望通りになったか

			意見・希望通りになった	意見・希望通りにはならず、親から説明があった	意見・希望通りにはならず、親からの説明もなかった		n
男性	年齢階級	18-19	59.1%	27.3%	13.6%	100.0%	22
		20-24	62.0%	28.0%	10.0%	100.0%	100
		25-29	56.4%	26.3%	17.3%	100.0%	179
		30-34	55.4%	28.8%	15.8%	100.0%	222
		35	54.2%	39.0%	6.8%	100.0%	59
	合計		56.9%	28.9%	14.3%	100.0%	582
女性	年齢階級	18-19	60.2%	25.8%	14.0%	100.0%	93
		20-24	66.6%	23.1%	10.3%	100.0%	290
		25-29	65.7%	20.7%	13.7%	100.0%	460
		30-34	66.4%	20.7%	12.9%	100.0%	521
		35	70.6%	13.2%	16.2%	100.0%	136
	合計		66.2%	20.8%	13.0%	100.0%	1500
男女計			63.6%	23.1%	13.4%	100.0%	2082

表 7 5 姓の変更があった対象者は、どのような感じを持ったか

			変わったことに嬉しさを感じた	変わったことに違和感を感じた	今までの自分が失われてしまったような感じを持った	変更を周りに知られることに抵抗を感じた	何も感じなかった		n
男性	年齢階級	18-19	20.0%	33.3%		20.0%	26.7%	100.0%	15
		20-24	10.0%	23.3%	6.7%	14.4%	45.6%	100.0%	90
		25-29	13.4%	21.0%	3.8%	6.4%	55.4%	100.0%	157
		30-34	6.2%	21.8%	4.1%	13.5%	54.4%	100.0%	193
		35	10.6%	23.4%	4.3%	10.6%	51.1%	100.0%	47
	合計		10.0%	22.3%	4.4%	11.4%	52.0%	100.0%	502
女性	年齢階級	18-19	6.1%	27.6%	9.2%	17.3%	39.8%	100.0%	98
		20-24	7.3%	14.6%	5.9%	12.6%	59.6%	100.0%	356
		25-29	8.8%	14.5%	2.8%	14.8%	59.0%	100.0%	566
		30-34	7.0%	16.0%	3.7%	18.5%	54.8%	100.0%	670
		35	9.6%	12.5%	1.5%	19.9%	56.6%	100.0%	136
	合計		7.8%	15.6%	4.0%	16.3%	56.4%	100.0%	1826
男女計			8.2%	17.1%	4.1%	15.2%	55.4%	100.0%	2328

表 7 6 (親の離婚後、両親との関わりについて) 父親が衣食住の面倒をみてくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	87.7%	12.3%	100.0%	73
		20-24	76.4%	23.6%	100.0%	339
		25-29	82.7%	17.3%	100.0%	618
		30-34	83.1%	16.9%	100.0%	828
		35	83.7%	16.3%	100.0%	202
	合計		82.1%	17.9%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	86.6%	13.4%	100.0%	328
		20-24	85.3%	14.7%	100.0%	1073
		25-29	84.1%	15.9%	100.0%	1916
		30-34	82.9%	17.1%	100.0%	2265
		35	81.0%	19.0%	100.0%	496
	合計		83.8%	16.2%	100.0%	6078
男女計			83.3%	16.7%	100.0%	8138

表 7 7 (親の離婚後、両親との関わりについて) 父親が生活費や学費など金銭的に支えてくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	65.8%	34.2%	100.0%	73
		20-24	60.5%	39.5%	100.0%	339
		25-29	68.0%	32.0%	100.0%	618
		30-34	68.7%	31.3%	100.0%	828
		35	68.8%	31.2%	100.0%	202
	合計		67.0%	33.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	58.5%	41.5%	100.0%	328
		20-24	63.0%	37.0%	100.0%	1073
		25-29	68.2%	31.8%	100.0%	1916
		30-34	68.1%	31.9%	100.0%	2265
		35	68.3%	31.7%	100.0%	496
	合計		66.7%	33.3%	100.0%	6078
男女計			66.8%	33.2%	100.0%	8138

表 7 8 (親の離婚後の両親との関わりについて) 父親が相談に乗ってくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	75.3%	24.7%	100.0%	73
		20-24	73.5%	26.5%	100.0%	339
		25-29	79.1%	20.9%	100.0%	618
		30-34	83.5%	16.5%	100.0%	828
		35	84.7%	15.3%	100.0%	202
	合計		80.3%	19.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	83.8%	16.2%	100.0%	328
		20-24	84.6%	15.4%	100.0%	1073
		25-29	85.8%	14.2%	100.0%	1916
		30-34	87.0%	13.0%	100.0%	2265
		35	88.3%	11.7%	100.0%	496
	合計		86.1%	13.9%	100.0%	6078
男女計			84.7%	15.3%	100.0%	8138

表 7 9 (親の離婚後、両親との関わりについて) 父親が心の支えになってくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	76.7%	23.3%	100.0%	73
		20-24	81.4%	18.6%	100.0%	339
		25-29	86.4%	13.6%	100.0%	618
		30-34	88.5%	11.5%	100.0%	828
		35	88.6%	11.4%	100.0%	202
	合計		86.3%	13.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	88.4%	11.6%	100.0%	328
		20-24	87.2%	12.8%	100.0%	1073
		25-29	88.6%	11.4%	100.0%	1916
		30-34	89.4%	10.6%	100.0%	2265
		35	91.3%	8.7%	100.0%	496
	合計		88.9%	11.1%	100.0%	6078
男女計			88.2%	11.8%	100.0%	8138

表 8 0 (親の離婚後、両親との関わりについて) 父親はどれにもあてはまらない

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	56.2%	43.8%	100.0%	73
		20-24	52.2%	47.8%	100.0%	339
		25-29	45.6%	54.4%	100.0%	618
		30-34	44.0%	56.0%	100.0%	828
		35	40.6%	59.4%	100.0%	202
	合計		45.9%	54.1%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	49.4%	50.6%	100.0%	328
		20-24	45.6%	54.4%	100.0%	1073
		25-29	41.2%	58.8%	100.0%	1916
		30-34	40.2%	59.8%	100.0%	2265
		35	41.3%	58.7%	100.0%	496
	合計		42.1%	57.9%	100.0%	6078
男女計			43.0%	57.0%	100.0%	8138

表 8 1 (親の離婚後、両親との関わりについて) 母親は衣食住の面倒をみてくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	32.9%	67.1%	100.0%	73
		20-24	34.2%	65.8%	100.0%	339
		25-29	34.0%	66.0%	100.0%	618
		30-34	34.5%	65.5%	100.0%	828
		35	30.2%	69.8%	100.0%	202
	合計		33.8%	66.2%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	22.0%	78.0%	100.0%	328
		20-24	24.8%	75.2%	100.0%	1073
		25-29	24.7%	75.3%	100.0%	1916
		30-34	26.5%	73.5%	100.0%	2265
		35	31.7%	68.3%	100.0%	496
	合計		25.8%	74.2%	100.0%	6078
男女計			27.8%	72.2%	100.0%	8138

表 8 2 (親の離婚後、両親との関わりについて) 母親は生活費や学費など金銭的に支えてくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	41.1%	58.9%	100.0%	73
		20-24	44.2%	55.8%	100.0%	339
		25-29	42.7%	57.3%	100.0%	618
		30-34	45.5%	54.5%	100.0%	828
		35	47.5%	52.5%	100.0%	202
	合計		44.5%	55.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	35.4%	64.6%	100.0%	328
		20-24	35.8%	64.2%	100.0%	1073
		25-29	39.0%	61.0%	100.0%	1916
		30-34	38.5%	61.5%	100.0%	2265
		35	44.4%	55.6%	100.0%	496
	合計		38.5%	61.5%	100.0%	6078
男女計			40.0%	60.0%	100.0%	8138

表 8 3 (親の離婚後、両親との関わりについて) 母親は相談に乗ってくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	43.8%	56.2%	100.0%	73
		20-24	50.1%	49.9%	100.0%	339
		25-29	53.9%	46.1%	100.0%	618
		30-34	53.9%	46.1%	100.0%	828
		35	56.4%	43.6%	100.0%	202
	合計		53.2%	46.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	43.0%	57.0%	100.0%	328
		20-24	44.5%	55.5%	100.0%	1073
		25-29	44.8%	55.2%	100.0%	1916
		30-34	50.1%	49.9%	100.0%	2265
		35	54.8%	45.2%	100.0%	496
	合計		47.5%	52.5%	100.0%	6078
男女計			48.9%	51.1%	100.0%	8138

表 8 4 (親の離婚後、両親との関わりについて) 母親は心の支えになってくれた

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	54.8%	45.2%	100.0%	73
		20-24	51.6%	48.4%	100.0%	339
		25-29	54.5%	45.5%	100.0%	618
		30-34	57.6%	42.4%	100.0%	828
		35	58.4%	41.6%	100.0%	202
	合計		55.7%	44.3%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	49.1%	50.9%	100.0%	328
		20-24	46.0%	54.0%	100.0%	1073
		25-29	48.7%	51.3%	100.0%	1916
		30-34	53.8%	46.2%	100.0%	2265
		35	59.5%	40.5%	100.0%	496
	合計		51.0%	49.0%	100.0%	6078
男女計			52.2%	47.8%	100.0%	8138

表 8 5 (親の離婚後、両親との関わりについて) 母親はどれにもあてはまらない

			非該当	該当		n
男性	年齢階級	18-19	84.9%	15.1%	100.0%	73
		20-24	83.2%	16.8%	100.0%	339
		25-29	80.1%	19.9%	100.0%	618
		30-34	80.6%	19.4%	100.0%	828
		35	82.2%	17.8%	100.0%	202
	合計		81.2%	18.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	89.3%	10.7%	100.0%	328
		20-24	86.0%	14.0%	100.0%	1073
		25-29	85.4%	14.6%	100.0%	1916
		30-34	82.4%	17.6%	100.0%	2265
		35	81.9%	18.1%	100.0%	496
	合計		84.3%	15.7%	100.0%	6078
男女計			83.5%	16.5%	100.0%	8138

表 8 6 (あなた自身について) S1自分には長所があると感じている

			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない		n
男性	年齢階級	18-19	28.8%	28.8%	19.2%	23.3%	100.0%	73
		20-24	28.9%	31.0%	21.2%	18.9%	100.0%	339
		25-29	25.2%	34.8%	20.9%	19.1%	100.0%	618
		30-34	26.4%	33.9%	20.9%	18.7%	100.0%	828
		35	24.8%	37.6%	23.8%	13.9%	100.0%	202
	合計		26.4%	33.9%	21.2%	18.5%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	26.2%	34.1%	21.0%	18.6%	100.0%	328
		20-24	28.7%	31.2%	19.5%	20.6%	100.0%	1073
		25-29	25.9%	35.8%	21.7%	16.6%	100.0%	1916
		30-34	25.8%	35.0%	21.5%	17.7%	100.0%	2265
		35	23.2%	34.5%	22.8%	19.6%	100.0%	496
	合計		26.2%	34.5%	21.3%	18.1%	100.0%	6078
男女計			26.2%	34.3%	21.2%	18.2%	100.0%	8138

表 8 7 (あなた自身について) S2自分は役に立たないと強く感じることもある

			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない		n
男性	年齢階級	18-19	21.9%	37.0%	24.7%	16.4%	100.0%	73
		20-24	29.2%	35.4%	20.4%	15.0%	100.0%	339
		25-29	27.5%	35.1%	21.7%	15.7%	100.0%	618
		30-34	26.6%	31.0%	24.9%	17.5%	100.0%	828
		35	20.8%	33.2%	25.2%	20.8%	100.0%	202
	合計		26.6%	33.4%	23.2%	16.8%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	40.9%	34.1%	16.5%	8.5%	100.0%	328
		20-24	36.4%	33.8%	17.0%	12.8%	100.0%	1073
		25-29	32.6%	35.3%	21.0%	11.1%	100.0%	1916
		30-34	32.5%	32.9%	21.5%	13.2%	100.0%	2265
		35	34.1%	34.5%	19.6%	11.9%	100.0%	496
	合計		33.8%	34.0%	20.1%	12.1%	100.0%	6078
男女計			31.9%	33.9%	20.9%	13.3%	100.0%	8138

表 8 8 小学校・中学校の時、欠席が最も多かった学年における1学年間で欠席日数

			30日未満					30日以上 90日未満					90日以上 180日未満					180日以上 240日未満					240日以上						
			30日未満		30日以上 90日未満		90日以上 180日未満		180日以上 240日未満		240日以上												n						
男性	年齢階級	18-19	67.1%		67.1%	6.8%		11.0%	5.5%		9.6%		100.0%										73						
		20-24	69.9%		69.9%	13.0%		6.2%	2.9%		8.0%		100.0%										339						
		25-29	71.7%		71.7%	13.1%		6.8%	1.6%		6.8%		100.0%										618						
		30-34	79.7%		79.7%	11.2%		3.1%	1.2%		4.7%		100.0%										828						
		35	73.8%		73.8%	10.9%		6.4%	3.5%		5.4%		100.0%										202						
	合計		74.7%		74.7%	11.9%		5.3%	2.0%		6.1%		100.0%										2060						
女性	年齢階級	18-19	70.1%		70.1%	13.7%		7.3%	2.7%		6.1%		100.0%										328						
		20-24	72.3%		72.3%	11.5%		7.6%	2.4%		6.2%		100.0%										1073						
		25-29	74.5%		74.5%	11.0%		5.6%	2.8%		6.1%		100.0%										1916						
		30-34	75.2%		75.2%	10.9%		5.7%	2.3%		6.0%		100.0%										2265						
		35	73.4%		73.4%	12.3%		5.4%	3.6%		5.2%		100.0%										496						
	合計		74.0%		74.0%	11.3%		6.1%	2.6%		6.0%		100.0%										6078						
男女計				74.2%		74.2%	11.4%		5.9%	2.5%		6.0%		100.0%									8138						

表 8 9 両親の別居前、父親が母親に、または母親が父親に暴力を振るったりものを壊したりする

		あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n	
男性	年齢階級	18-19	19.2%	45.2%	5.5%	30.1%	100.0%	73
		20-24	18.6%	52.2%	7.1%	22.1%	100.0%	339
		25-29	17.0%	45.6%	14.1%	23.3%	100.0%	618
		30-34	22.0%	47.6%	9.3%	21.1%	100.0%	828
		35	17.3%	55.0%	5.9%	21.8%	100.0%	202
	合計	19.4%	48.4%	9.9%	22.3%	100.0%	2060	
女性	年齢階級	18-19	16.5%	49.4%	9.5%	24.7%	100.0%	328
		20-24	24.0%	47.4%	6.2%	22.4%	100.0%	1073
		25-29	22.2%	51.1%	6.4%	20.3%	100.0%	1916
		30-34	26.0%	50.1%	4.9%	19.0%	100.0%	2265
		35	26.4%	49.2%	4.2%	20.2%	100.0%	496
	合計	24.0%	49.8%	5.8%	20.4%	100.0%	6078	
男女計		22.8%	49.5%	6.8%	20.9%	100.0%	8138	

表 9 0 両親の別居前、暴言をはいたり、どなったりする

			あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	23.3%	39.7%	11.0%	26.0%	100.0%	73
		20-24	25.1%	44.0%	10.9%	20.1%	100.0%	339
		25-29	24.6%	39.8%	11.8%	23.8%	100.0%	618
		30-34	30.7%	41.8%	6.9%	20.7%	100.0%	828
		35	29.2%	46.5%	6.4%	17.8%	100.0%	202
	合計		27.5%	41.9%	9.1%	21.4%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	29.0%	37.2%	8.5%	25.3%	100.0%	328
		20-24	34.9%	38.4%	6.2%	20.6%	100.0%	1073
		25-29	32.1%	41.1%	5.9%	20.9%	100.0%	1916
		30-34	36.6%	38.8%	4.9%	19.8%	100.0%	2265
		35	37.9%	38.9%	4.0%	19.2%	100.0%	496
	合計		34.6%	39.4%	5.5%	20.5%	100.0%	6078
男女計			32.8%	40.0%	6.5%	20.8%	100.0%	8138

表 9 1 両親の別居前、父親が母親に、または母親が父親に、生活費を渡さなかったりお金を取り上げたりする

			あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	21.9%	43.8%	9.6%	24.7%	100.0%	73
		20-24	13.9%	54.6%	6.5%	25.1%	100.0%	339
		25-29	14.1%	49.2%	8.7%	28.0%	100.0%	618
		30-34	17.1%	49.5%	5.8%	27.5%	100.0%	828
		35	17.8%	50.5%	4.0%	27.7%	100.0%	202
	合計		15.9%	50.1%	6.7%	27.2%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	17.4%	54.3%	5.2%	23.2%	100.0%	328
		20-24	17.8%	50.6%	5.0%	26.6%	100.0%	1073
		25-29	16.7%	49.8%	4.7%	28.8%	100.0%	1916
		30-34	18.7%	48.9%	3.4%	29.0%	100.0%	2265
		35	17.7%	49.4%	3.4%	29.4%	100.0%	496
	合計		17.8%	49.8%	4.2%	28.2%	100.0%	6078
男女計			17.3%	49.9%	4.8%	28.0%	100.0%	8138

表 9 2 両親の別居前、父親が母親に、または母親が父親に性的な暴力やいやがらせをする

			あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	8.2%	58.9%	9.6%	23.3%	100.0%	73
		20-24	7.1%	60.8%	6.5%	25.7%	100.0%	339
		25-29	9.1%	56.0%	9.2%	25.7%	100.0%	618
		30-34	5.7%	62.6%	5.6%	26.2%	100.0%	828
		35	3.5%	64.4%	7.4%	24.8%	100.0%	202
	合計		6.8%	60.3%	7.1%	25.7%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	5.5%	63.4%	5.8%	25.3%	100.0%	328
		20-24	5.7%	64.2%	4.7%	25.4%	100.0%	1073
		25-29	4.5%	63.3%	4.7%	27.4%	100.0%	1916
		30-34	4.5%	65.6%	3.6%	26.3%	100.0%	2265
		35	3.4%	67.1%	3.2%	26.2%	100.0%	496
	合計		4.7%	64.6%	4.2%	26.4%	100.0%	6078
男女計			5.2%	63.5%	5.0%	26.2%	100.0%	8138

表 9 3 両親の別居前、両親の間に会話がなかった

			あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	19.2%	43.8%	12.3%	24.7%	100.0%	73
		20-24	23.9%	39.2%	9.1%	27.7%	100.0%	339
		25-29	24.4%	30.7%	10.8%	34.0%	100.0%	618
		30-34	25.4%	37.2%	5.9%	31.5%	100.0%	828
		35	27.2%	37.6%	7.4%	27.7%	100.0%	202
	合計		24.8%	35.9%	8.3%	31.0%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	22.6%	37.2%	5.8%	34.5%	100.0%	328
		20-24	26.8%	34.4%	4.7%	34.1%	100.0%	1073
		25-29	27.7%	33.9%	4.4%	34.1%	100.0%	1916
		30-34	29.1%	31.7%	2.9%	36.3%	100.0%	2265
		35	30.2%	33.1%	2.6%	34.1%	100.0%	496
	合計		28.0%	33.3%	3.8%	34.9%	100.0%	6078
男女計			27.2%	33.9%	5.0%	33.9%	100.0%	8138

表 9 4 両親の別居前、両親に不仲な様子はなかった

			あてはま る	あてはま らない	答えたく ない	覚えてい ない		n
男性	年齢階級	18-19	26.0%	42.5%	5.5%	26.0%	100.0%	73
		20-24	15.9%	40.7%	11.5%	31.9%	100.0%	339
		25-29	12.0%	45.5%	10.5%	32.0%	100.0%	618
		30-34	13.5%	48.4%	5.9%	32.1%	100.0%	828
		35	11.9%	51.0%	7.4%	29.7%	100.0%	202
	合計		13.7%	46.3%	8.3%	31.6%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	15.2%	46.0%	6.4%	32.3%	100.0%	328
		20-24	15.6%	48.5%	4.8%	31.1%	100.0%	1073
		25-29	13.6%	47.5%	4.9%	34.0%	100.0%	1916
		30-34	11.4%	49.8%	4.0%	34.7%	100.0%	2265
		35	12.7%	50.0%	3.2%	34.1%	100.0%	496
	合計		13.2%	48.7%	4.5%	33.7%	100.0%	6078
男女計			13.3%	48.1%	5.5%	33.1%	100.0%	8138

表 9 5 インタビュー調査への協力意思

			協力して もいい	協力した くない		n
男性	年齢階級	18-19	56.2%	43.8%	100.0%	73
		20-24	49.3%	50.7%	100.0%	339
		25-29	50.6%	49.4%	100.0%	618
		30-34	47.5%	52.5%	100.0%	828
		35	44.6%	55.4%	100.0%	202
	合計		48.7%	51.3%	100.0%	2060
女性	年齢階級	18-19	48.8%	51.2%	100.0%	328
		20-24	45.9%	54.1%	100.0%	1073
		25-29	47.1%	52.9%	100.0%	1916
		30-34	44.8%	55.2%	100.0%	2265
		35	40.9%	59.1%	100.0%	496
	合計		45.6%	54.4%	100.0%	6078
男女計			46.4%	53.6%	100.0%	8138

親子の別居経験についてのアンケート調査 報告書

2026 年 6 月 10 日発行

著者：藤間公太・稲葉昭英・野沢慎司・菊地真理・永井暁子